

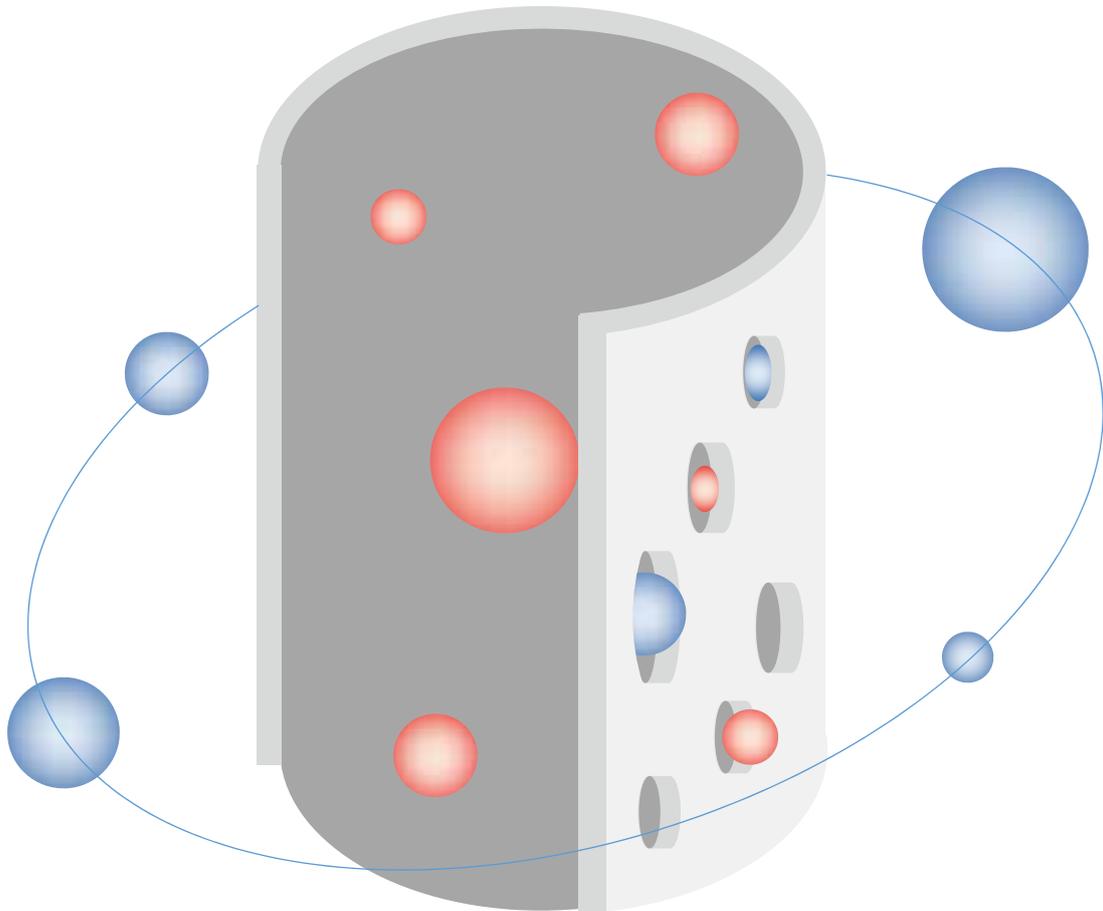
ISSN2185-5927 JSTB



日本血液浄化技術学会雑誌

Journal of Japanese society for Technology of Blood purification

第47回 学術大会プログラム・抄録集



第29巻 Supplement
2021年4月

一般社団法人 日本血液浄化技術学会
<https://jstb.jp/>

The 47th Annual Meeting of Japanese Society for Technology of Blood purification

第47回日本血液浄化技術学会 学術大会・総会

プログラム・抄録集

新時代の探究 ～ The way for advance ～

会 期

2021年4月16日(金)～18日(日)

会 場

WEB会場 (Zoom)

大会長

宮本 照彦 (医療法人中央内科クリニック)

実行委員長

松田 政二 (特定医療法人あかね会 中島土谷クリニック)

大会HP

<https://jstb47.secand.net/>

主催：一般社団法人 日本血液浄化技術学会

大会長挨拶

第47回日本血液浄化技術学会学術大会・総会を 開催するにあたり



第47回日本血液浄化技術学会学術大会・総会
大会長 宮本 照彦 中央内科クリニック

2020年4月に開催予定であった第47回日本血液浄化技術学会学術大会・総会(第47回大会)は、新型コロナウイルス感染症パンデミックのために、一年延期して完全WEBで開催いたします。中止という選択肢もあったなかで、学術大会の2020年開催をスキップする形で、予定されていた第47回大会以降の学術大会においても繰り下げ開催することに、ご理解を賜りました関係各位の皆さまには、衷心より深謝申し上げます。

さて、昨年11月末までに第47回大会は、完全WEBで開催することを決定致しました。会期5か月前という早い時期の決定には、ご参加いただく先生方の講演準備やご協力いただく協賛社の準備に配慮することが重要と考えていたところに、11月中旬から感染者数が急拡大したことが判断に大きく影響することになりました。コロナ禍での学会開催は、新たな形態を模索しながら、WEBを併用するハイブリット開催やWEB開催であっても発表方法の選択は様々であり、主催団体の特徴が表れているように思います。

第47回大会では、WEB開催であっても、学会のあるべき姿を見失うことのない方法での運営が極めて重要と考え、双方向対話ができるZoomミーティングを用いてライブ配信いたします。良い意味での緊張感を保ちつつ、演者が口述する臨場感を感じられる学術大会にしたいと考えています。

今後、学会などの開催形態が、コロナ前と全く同じ状態に戻ることはないと思われ、視点を変えれば、第47回大会の取り組みは、多様性へのチャレンジでもあるように感じます。従来の開催形態では学会参加が難しかった方々にも、リモート接続する通信環境があれば、世界中どこからでも参加できる利点があります。また、ライブ開催後には、プログラムごとに収録した講演動画をオンデマンド配信します。時間を問わず、繰り返しご視聴いただけますので、聞きたいときに、聞きたい講演を、時には一時停止したりしながら視聴可能です。

チャレンジという意味では、演題登録の際に演者名・所属・演題名を英語併記としたことで、抄録集の製作にあたる我々にとっては、苦勞もありながら実り多い経験となりました。さらに、学術大会の英語セッションでご発表いただく演者の英語発表を支援します(国際委員会の取り組みを活用)。学会の国際化に向けた取り組みが活性化するきっかけとなり、会員が学術活動においても国際化を意識する機会になることを願います。

第47回日本血液浄化技術学会学術大会・総会は、テーマである「新時代の探究～The way for advance～」を変更することなく、2021年4月16日～18日に完全WEB開催となりますが、令和という時代に学術団体として進むべき道、進化への方法がどうあるべきかを考える機会にしたいと思っています。

関係各位の皆さまには、新たな形態で開催する第47回大会を盛り上げていただきますよう、ご支援ご協力を賜りたく宜しく申し上げます。

令和3年3月 吉日

理事長挨拶

新たな開催様式の門出に際して

一般社団法人 日本血液浄化技術学会
理事長 山家 敏彦



ヒトと感染症の歴史に関する書籍を読むと多くの学者たちは、「歴史的に大量の死者が出ている感染症が多くあるものの医学が進歩した現在においては、早々にワクチンや治療薬が開発され、新しい感染症に人類が敗北することはない」と記しています。確かに天然痘はワクチンができて200年かかった撲滅宣言が、SARS では数年で宣言が出されるほど素早い封じ込めに成功しました。科学技術の発達には感染症の制圧戦略を常に見いだし、スーパーコンピュータ富岳によるシミュレーションは、飛沫対策に向けた理解を広く普及させることが出来た代表例として挙げることが出来ます。同時にワクチンの開発がこれまでの史上に無い早さで接種可能となり、90%以上の効果に大きな期待が寄せられています。

このような感染対策が進む中で学術大会の準備も確実に進められ、昨年予定されていた第47回日本血液浄化技術学会学術大会(大会長：宮本照彦先生)は、延期から満を持しての開催となりました。WEB上での開催は、これこそが日本血液浄化技術学会が設立当初より掲げてきた「いつでも、どこでも、誰もが参加できる」大会の実現となります。宮本大会長を筆頭に実行委員会の方々におかれましては、当学会の新たな開催様式の門出に大変な苦勞があったことと拝察します。設立当初から目指してきた「いつでも、どこでも、誰もが参加できる」JSTBは、歴史的ウイルス蔓延によりそのモットーを実現することとなりました。新型コロナ禍の不安な状況においてより柔軟に対応され、開催に向けたあらゆる困難に立ち向かった宮本大会長に心より敬意を表したいと思います。

広島実行委員会による新たな日本血液浄化技術学会学術大会の一步を会員諸兄姉ともども踏みしめ、新型コロナに負けなかった学術大会として心に刻んで参りたいと思います。

最後に、新たな開催様式にご協力を頂いた参加者各位に心より感謝申し上げます。

令和3年3月 吉日

参加者の皆様へ

第47回学術大会は、全てのセッションを Zoom ミーティングを用いたライブ配信にて、WEB 開催いたします。

■ 開催概要

(1) ライブ配信

日程：2021年4月16日(金)～18日(日) ※16日(金)は社員総会などを開催します。

原則、すべてのプログラムをライブ配信にて行います。別途プログラムおよびタイムテーブルをご参照ください。

なお、台湾透析技術學會・日本血液浄化技術学会ジョイントセッションは、台湾からリモート参加される先生方に限り、事前に収録された講演動画を用いて、ディスカッションはライブにて行います。

(2) オンデマンド配信

日程：2021年5月10日(月)～5月21日(金)

ライブ配信当日の様子を後日ご視聴いただけるよう、セッションごとに録画・編集してオンデマンド配信いたします。なお、一部の主要セッションおよび企業共催セミナーは、演者・共催社の都合によりオンデマンド配信されないものもございますので予めご了承ください。オンデマンド配信期間中は、時間を問わず、何度でもご視聴いただけますので、聞きたいときに、聞きたい講演を、時には一時停止したりしながらご視聴ください。

■ 参加登録

(1) 参加費

正会員	施設会員	賛助会員	非会員	学 生
8,000円	8,000円	8,000円	9,000円	2,000円

※非会員の方は抄録集が含まれません。抄録集をご入用の方は、参加登録手続き時に一部1,000円にて販売致します。部数に限りがございますので、売り切れの際はご容赦ください。

※学生区分での登録の際には、学生証(2021年度有効)の写しの提出が必要です。

下記の通り、申込期間および決済完了日によって視聴内容が異なります。

申込期間	2/1(月)～ 3/26(金)	3/27(土)～ 4/13(火)正午	4/13(火)正午～ 4/18(日)	4/19(月)～ 5/21(金)23:59
支払方法	クレジットカード コンビニ決済 銀行振込	クレジットカード コンビニ決済 銀行振込	クレジットカード コンビニ決済	クレジットカード コンビニ決済
視聴可能 内容	ライブ配信 オンデマンド配信	ライブ配信 オンデマンド配信	ライブ配信 オンデマンド配信 ※ライブ配信が視聴 できるのは開催中 に決済完了の場合	オンデマンド配信のみ

(2) 参加登録手続

学術大会参加登録は、学術大会ホームページの参加登録から新規利用登録の手続きをお願いします。新規利用登録の際に入力いただく E-mail アドレス (ログイン ID) とパスワードは、WEB 開催視聴サイト (バーチャル会場) へのアクセスに必要です。オンデマンド配信終了まで保管・管理には十分ご注意くださいようお願い申し上げます。

【WEB 開催視聴サイト (バーチャル会場) へのアクセス】

- ① 大会ホームページ「参加登録」をクリックして参加登録ページへ
- ② 「ログイン」または「WEB 会場へGO」をクリック
- ③ ログイン ID とパスワードを入力 (参加登録がまだの方は、新規利用登録へ)
- ④ 参加費のお支払いが確認できている方は、バーチャル会場へのアクセス

学生の方は、新規利用登録手続きの際に、お名前と E-mail アドレス (ログイン ID) を記載のうえ、学生証の写しを参加登録デスク (wj_gakkai@nta.co.jp) まで E-mail にてご送付ください^{*1}。

※1 参加費をお支払いいただく前にご送付ください。ただし、会期直前の場合はお支払い後でも結構です。

(3) お支払い方法

クレジットカード (一括払いのみ)、コンビニ決済、銀行振込が利用可能です。

参加登録の申込期間によって、利用可能なお支払方法が異なりますので、詳細は参加登録時にご確認ください。

(4) 注意事項

参加費のお支払い完了をもって正式に参加登録完了となります。新規利用登録後、速やかに決済をお願いします。

一部のフリーメールおよびキャリアメールにおきましては、迷惑メールに振り分けられているか、ご利用のメールサーバーの機能により、自動返信メールが届かない場合がございます (yahoo、hotmail、gmail の一部、および docomo、ezweb、softbank など)。予め、「@nta.co.jp」からのメールが受信できるよう、ドメイン設定をご確認ください。ドメイン設定の方法は、各種フリーメール、携帯電話キャリアにお問合せください。

(5) 領収書および参加証明書

参加費の領収書は会期後、参加登録システムにて印刷可能になります。

コンビニ決済の場合は、コンビニにて発行される領収書 (受領書) が正式な領収書となります。

参加証明書は大会当日以降、「WEB 会場へGO」のページにて印刷可能になります。

(6) 抄録集

正会員・施設会員^{*1}・賛助会員^{*1}および演者・座長の方には、ライブ配信日までにお手元 (会員情報で確認された住所) に届くよう発送いたします。

非会員でご希望の方は、参加登録時に購入手続きをお願いします。ご指定の住所に発送いたします^{*2*3}。

なお会員の方で別途追加分をご購入希望の方は、参加登録システムよりご購入ください。

1部：1,000円 (部数に限りがございますので、売り切れの際はご容赦ください)。

※1 代表者または企業へ1部を発送いたします。

※2 購入手続き時期によっては、ライブ配信後のお届けになる場合がございます。

※3 部数に限りがございますので、売り切れの際はご容赦ください。

■ BPA 表彰式・情報交換会

下記の日程でBPA 表彰式を行います。その際、参加者の皆様にはお手元にドリンクやお食事などご用意いただきご自由にお召し上がりながらご参加ください。また、情報交換の場としてもご活用ください。

BPA 表彰式

日時：4月17日(土)17:30～

■ 理事会・社員総会・各委員会※関係者のみ。

社員総会は4月16日(金)に開催されます。

理事会・各委員会は総務委員会から別途案内がございます。

■ WEB 会場内でのお願い

以下の注意事項を厳守いただきますようお願いいたします。

- 本講演の内容を無断で複写・複製・編集・録画・録音・転用(本講演のスクリーンショット・写真撮影・ダウンロード・他のサイトへのアップロードを含む)など著作権、肖像権の侵害、および不当な権利侵害を行わないこと
- ログインIDやパスワードを他者に知らせたり、共有することのないよう管理すること
- 不当な権利侵害を行うことにより生じた損害を賠償すること

(1) Zoom ミーティングルームに入りましたら、「スピーカとマイクの音声をテストする」をクリックして、音声が聞こえるか、自分の声が聞こえているか、接続状態を確認してください。

(2) Zoom ミーティング内での「名前」の表示は、「お名前_ご所属」に変更してください。

例) 宮本照彦_中央内科クリニック

本学術大会は参加費をお支払いされた方に限り参加可能です。従いましてお名前とご所属が確認できない場合は、ご参加をお断りさせていただくことがございます。

ご理解ご協力のほど宜しくお願いいたします。

(3) 質問等がある場合は、ビデオ(カメラ)およびマイクをONにして、座長に質問等の意思をお伝えください。タイミングが難しい場合はZoom 画面下の「挙手ボタン」を利用してお知らせください。

座長から指名されましたら、最初に所属と氏名を明らかにしたうえで、質問・コメントをお願いします。

(4) 講演中は音声が入らないよう、音声はミュートに設定してください。

■ 単位取得

第47回日本血液浄化技術学会学術大会への出席により、以下のポイントが取得できます。

- 5学会合同認定「透析技術認定士」の更新ポイント5単位。
- (公社)日本臨床工学技士会認定「血液浄化専門臨床工学技士」の新規申請時および認定更新のポイント5単位。
- 日本腎不全看護学会主催、5学会合同認定「慢性腎臓病療養指導看護師」の資格ポイント6単位取得。
- (社)透析技能検定試験制度協議会認定「透析技能1級、2級」の更新ポイント10単位。
- 参加証明書は、新規申請または更新時に必要となりますので、大切にご自身でお手元に保管してください。
- 尚、参加証明書の再発行は致しませんので、あらかじめご了承ください。

座長、演者の皆様へ

■ 接続環境の準備

以下の物品をご用意ください。

● 端末

インターネット接続が可能な PC、スマートフォン、タブレット

● ネットワーク

LAN ケーブルによるネットワークへの有線接続を推奨します。また、安定した WiFi 回線であることが望ましいです。リモート接続されるネットワークの通信状況を事前にご確認いただきますようご協力お願いします。

● スピーカ（聞く）

ヘッドセット、イヤホン、外部接続スピーカ（マイク兼用のもの）

PC の内部スピーカはハウリングが起こることがあります。ハウリングが起こった場合には、必ずマイクをミュートにしてご参加ください。

● マイク（話す）

ヘッドセット、マイク付きイヤホン、マイク（スピーカ兼用のもの）

PC に備え付けのものでも可能ですが、よりクリアな音声伝わるようヘッドセットやマイクの使用にご協力ください。

● カメラ

パソコン内蔵カメラ、WEB カメラなど

WEB 会場に Zoom の練習サイトをオープンしますので、Zoom での操作、発表時のセットアップなど、事前にご確認ください。

■ 座長のみなさまへ

Zoom ミーティング内での「名前」の表示は、「お名前_ご所属」に変更してください。

例) 宮本照彦_中央内科クリニック

接続状況の確認のため、Zoom ミーティングへの入室時間にご協力ください。

演者が2名以内の場合

セッション開始 15分前 からミーティングルームをオープンします。必ず 10分前まで にご入室ください。

演者が3名以上の場合

セッション開始 30分前 からミーティングルームをオープンします。必ず 20分前まで にご入室ください。

設定された時間を超過することがないように、セッションのスムーズな進行をお願いします。

なお、発表時間および討論時間については、事前にお知らせしておりますが、接続が不安定などの状況がありましたら、臨機応変にご対応くださいますようお願いいたします。

■ 演者のみなさまへ

(1) 発表形式

Zoom ミーティング(双方向対話)を用いたライブ口演です。

あらかじめ録音したスライドや動画をご提出いただく必要はありません。

ただし、どうしても安定した通信環境が確保できないため、接続が心配な方は事前にご相談ください。対応を検討いたします。

(2) 発表方法

- Zoom ミーティングにて、ご自身の PC の画面を共有してご発表いただきます。座長より指示がありましたら、画面共有して、発表を始めてください。画面共有の際には、使用するプレゼンテーション作成ソフトをあらかじめ立ち上げておく必要があります。
- 発表終了後は、次の発表者が共有できるように、画面共有を解除してください。
- PC1台でご発表される場合には、Power Point の発表者ツール機能を使用すると発表者ビュー(メモ)側が画面共有されてしまいます。発表者ツール機能はオフにしてご発表ください。PC2台を用いて発表者ツールを使用されたい場合は、ご自身の責任において必ず事前に設定をご確認ください。
- タイマーを用意しますので、画面上にタイマーを表示した状態でご発表ください。
- 台湾透析技術學會の先生方は、事前に準備いただく講演動画を運営側から配信いたします。

(3) 発表データ作成方法

• ご発表時間

一般演題は、発表7分、討論3分となります。

指定演題は、あらかじめお知らせした時間でお願いします。

- 筆頭演者・共同演者の利益相反状態を、スライドの2枚目(タイトルスライドの後)もしくは最後に開示してください。
- プレゼンテーション作成ソフトについての指定はありません。普段ご使用のソフトをお使いいただけます。画面共有時の表示方法については、あらかじめご確認をお願いします。
- 動画データも使用可能です。その際、動画音声を使用する場合は、「コンピュータの音声を共有」をチェックしてご使用ください。ただし、お使いの PC のスペックや通信速度によっては、動画がスムーズに流れない可能性があることにご留意ください。

(4) 発表準備(セッション開始前)

- 接続状況の確認のため、Zoom ミーティングへの入室時間にご協力ください。

演者が2名以内の場合

セッション開始15分前からミーティングルームをオープンします。必ず10分前までにご入室ください。

演者が3名以上の場合

セッション開始30分前からミーティングルームをオープンします。必ず20分前までにご入室ください。

- Zoom ミーティングルームに入りましたら、「スピーカーとマイクの音声をテストする」をクリックして、音声が聞こえるか、自分の声が聞こえているか、接続状態を確認してください。
- Zoom ミーティング内での「名前」の表示は、「お名前_ご所属」に変更してください。

例) 宮本照彦_中央内科クリニック

- ビデオ(カメラ)およびマイクを ON にして、スタッフに発表者であることをお伝えください。順番に、画面共有・解除の確認をしていただきます。

■利益相反(COI)について

当日の発表時に利益相反についての情報開示をお願いいたします。

発表スライドの2枚目が最後に利益相反自己申告に関するスライドを加えてください。

利益相反自己申告に関するスライド例

1. 申告すべき COI 状態がない場合



2. 申告すべき COI 状態がある場合



日本血液浄化技術学会 第47回学術大会発表論文寄稿のお願い

日本血液浄化技術学会では発表論文集(日本血液浄化技術学会雑誌 第29巻)掲載用の論文の寄稿をお願いしております。2021年6月末日までに下記送付先までご提出をお願い致します。

発表論文掲載規定

◆原稿の作成

- 1) 原則としてパーソナルコンピュータを使用し、文字のみの本文を Word で作成してください。
- 2) 文字数は2,000字以内とし、図表は3点までとしてください(多い場合は削除を依頼致しますので了承ください)。ただし、やむを得ず図表が3点を超える場合は1点につき400字前後を減じてください。また本文には頁をつけてください。逆に、図表が前述よりも少ない場合は、図表1点につき400字増やしても構いません。文字数のカウントは、Wordの文字カウント(単語数)でチェックしてください。

- 3) ① 図表は Power Point で作成してください。図表1点の分量は、とくに複数組み合わせた図を掲載したい場合は、組み合わせた枚数×400字とお考えください。掲載は原則的に白黒印刷となりますので、カラーで提出される場合は印刷時のコントラストにご配慮ください。
- ② 他誌書から図表を転載利用する場合は、著者ならびに出版元の許諾が必要です。自著からの再使用についても出版元の許諾が必要となりますのでご注意願います。
- 4) 文献は主要なもののみ10点以内とし、文中の引用箇所、半角上付で引用順に1), 2) 3~5) のように記載してください。文中に引用箇所のない文献は認めません。著者4名以上の場合は3名まで記載して“…; 他”“…; et al”としてください。
- ①雑誌の場合
著者名(4名以上いる場合は3名まで記載)：論文名. 雑誌名 巻：頁初め-頁終わり, 西暦年
- ②書籍の場合
著者名：論文名. 書籍名, 頁(初め-終わり), 出版社名, 所在地, 西暦年
- ③誌名を略記する場合
出版雑誌の定める略名を使用し、また外国のものは Index Medicus の略称に準じてください。
- ④「孫引き」を避け、必ず原典にさかのぼって出処を明示してください。
- 5) 個人情報保護に配慮して執筆願います。

◆ 原稿の体裁

- 1) 表題頁、本文、図表の順にまとめてください。
- 2) 表題頁には①題名、②著者および共同著者、③所属施設名、④連絡先(筆頭者の所属 郵便番号、住所、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス)をかならず記載ください。
- 3) 本文は I. 緒言(はじめに、まえがき)、II. 研究方法(対象、症例、方法)、III. 研究結果(結果)、IV. 考察、V. 結論(結語、まとめ、おわりに)、参考文献の順序で記述してください。

◆ 利益相反(COI)について

投稿時に学会 HP の『日本血液浄化技術学会における利益相反(COI)に関する指針』および『同取り扱い細則』に従い、全著者の COI の有無を本文末尾の文献前に記載してください。

例文① 著者の利益相反開示：本論文発表内容に関連して特に申請なし。

例文② 著者の利益相反開示：著者(〇〇)は〇〇株式会社より寄付を得ている。それ以外の開示すべき利益相反状態はない。

※利益相反(COI)に関する指針：https://jstb.jp/pdf/jstb_coi_ver1.0.pdf

※利益相反(COI)に関する取り扱い細則：https://jstb.jp/pdf/jstb_coi_detail_ver1.0.pdf

◆ 校正

寄稿頂いた原稿の校正は当会編集委員が校閲し著者に依頼しますが、著者校正は原則1回とします。

◆ 発表論文集用原稿の送付先

Email：edit@jstb.jp

JCHO 東京山手メディカルセンター 臨床工学部 中井 歩 宛

1日目 4月17日(土)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00
Zoom 第1会場	9:00~10:00 IT委員会企画(ITP) サイバーセキュリティ× ビッグデータ×AI ～未来を見据える～ 司会：大水 剛、守田 憲崇 演者：川崎 路浩、石田 幸広 内山 巧、金井 孝三 肥田 泰幸		10:30~11:30 特別講演 1 生体内輸送現象と生体 機能の模倣が導くもの とは 司会：真下 泰 演者：山下 明泰		12:00~13:00 大会長招聘講演 1 広島酒の酒造り 司会：宮本 照彦 演者：山岡 洋
Zoom 第2会場	9:00~11:00 シンポジウム 2 Inter-Professional Work ～透析患者への多角的アプローチ～ 司会：川岡 孝一郎、坂上 貴光 演者：西澤 欣子、安部 貴之、矢部 広樹 北島 幸枝、高柳 麻紀			11:30~12:30 企業共催セミナー L1 新規クリニック開設の経験 ～ニプロ社製透析装置導 入経験と今後の展望～ 司会：松岡 哲平 演者：吉田 功樹 共催：ニプロ株式会社	
Zoom 第3会場	9:00~10:00 Best Presentation Award (BPA) 座長：深澤 瑞也 柴田 昌典		10:30~11:00 ベーシック セミナー 2 血圧コント ロール 司会： 若山 功治 演者： 青木 弘之		12:00~13:00 企業共催セミナー L2 透析医療の高齢化を 考える 司会：川合 徹 演者：小川 智也 共催：協和キリン株式会社
Zoom 第4会場	9:00~9:30 ベーシック セミナー 3 透析液清浄化 司会： 本田 和美 演者： 小野 信行		10:30~12:00 パネルディスカッション 1 急性血液浄化：各施設における ヘモフィルターの使い分け 司会：廣橋 伸之、峰松 佑輔 演者：塚本 功、相馬 泉 山香 修、道越 淳一		12:30~13:30 企業共催セミナー L3 リアルタイムで分かる 再循環率と透析量 司会：森上 辰哉 演者：福村 宏 共催：日機装株式会社
Zoom 第5会場	8:55 開 会 式		10:00~11:30 日本血液浄化技術学会-台湾透析 技術学会 合同企画 日本と台湾の血液浄化技術の未来に向けて Towards future collaboration in blood purification technology between Japan and Taiwan 司会：郭 麗雀、陳 莉薇 演者：趙 美貞、山家 敏彦 曾 達權、小久保 謙一		12:00~13:00 企業共催セミナー L4 透析アミロイド症の 予防とその対策 司会：正木 崇生 演者：倉賀野 隆裕 共催：扶桑薬品工業株式会社
Zoom 第6会場	9:00~9:50 一般演題 1 VA ① 座長：人見 泰正 藤谷 晃		10:40~11:30 一般演題 2 災害対策 ① 座長：氏家 憲一 松田 卓也		12:10~12:40 ベーシック セミナー 5 末梢循環評価・ フットケア 司会：小野 淳一 演者：長尾 尋智
Zoom 第7会場		9:50~10:30 一般演題 6 HDF & IHDF ① 座長：神戸 幸司 北原 大		11:30~12:20 一般演題 7 アフエシス 座長：江間 信吾 藤井 彩	
Zoom 第8会場	9:00~10:00 一般演題 10 性能評価 ① 座長：中井 歩 仙頭 正人			11:10~11:50 英語演題 1 座長：前田 兼徳 松原 弘和	

14:00		15:00		16:00		17:00		18:00	
13:40～14:40 教育講演 1 透析に関わる 医療経済と診療報酬 司会：村上 淳 演者：山川 智之				15:30～17:30 シンポジウム 1 VA 関連手術・治療における医療スタッフの役割 -医療スタッフの業務拡大を目指して- 司会：人見 泰正、小川 智也 演者：廣谷 紗千子、原 正彦、岩下 廉史 千葉 康雄、渡邊 弘一					
13:30～15:00 ワークショップ 1 多職種が取り組む透析運動療法 ～現状と今後の展望～ 司会：鈴木 一裕、柴田 昌典 演者：山口 智也、佐野 可奈、森山 善文 佐藤 みのり、黒田 沙織				16:00～16:30 ベーシック セミナー 1 栄養管理 司会： 濱田 あすか 演者： 朝倉 洋平				17:30～ BPA 表彰式 (予定)	
13:40～15:10 大会長特別企画 学会の国際化推進を考える！ 司会：安藤 勝信、小久保 謙一 演者：吉岡 淳、大塚 勝二 長沼 俊秀、山家 敏彦				16:00～17:30 国際委員会企画(ICP) 会員の国際化を目指す国際委員会の取り組み 司会：山本 裕子、宮本 照彦 演者：黒田 沙織、佐藤 幸博、小久保 謙一 矢部 広樹、栗原 佳孝、小林 こぞ恵 齋藤 慎					
		14:30～16:00 企業コラボセッション 各社が考える透析装置に備え付けるべき 機器と危機管理 司会：瀧澤 亜由美、松岡 哲平 演者：永井 翔、伴 拓弥 村上 智也、野村 光男				16:30～17:00 ベーシック セミナー 4 DWT 設定 司会： 岡村 龍也 演者： 岡澤 圭祐			
14:00～15:00 医療安全委員会企画(MSP) 医療安全対策の 各方面の取組 司会：小野 信行、芝田 正道 演者：金子 恵美子、鮎澤 純子				16:00～17:30 災害対策委員会企画(DCP) 透析室 BCP を考えた災害対策マニュアルの 作成について 司会：森上 辰哉、横山 敏幸 演者：秋山 勝俊、岡本 裕美 守澤 隆仁、中村 寛					
13:20～14:10 一般演題 3 災害対策 ② 座長：中村 寛 西村 典史				15:00～15:50 一般演題 4 VA ② 座長：南 伸治 豊田 昌光				16:40～17:30 一般演題 5 治療条件・設定 座長：森實 篤司 森 拓人	
		14:10～15:00 一般演題 8 HDF & IHDF ② 座長：星野 武俊 長岡 高広				15:50～16:40 一般演題 9 栄養 座長：佐野 可奈 輪内 敬三			
13:20～14:10 英語演題 2 座長：張 同輝 浦辺 俊一郎				15:00～15:50 一般演題 11 災害・医療安全 座長：小俣 利幸 中下 清文				16:40～17:30 一般演題 12 教育・連携・情報共有 座長：荒川 昌洋 星子 清貴	

2日目 4月18日

	9:00	10:00	11:00	12:00
Zoom 第1会場	8:30~10:00 ワークショップ 2 バスキュラーアクセスにおける 手技と管理の標準化 司会：川原田 貴士、松田 政二 演者：北村 健太郎、椛澤 麻美 川上 崇志、人見 泰正			11:00~12:00 教育講演 2 透析効率の適正評価法を考える 司会：山下 芳久 演者：村上 淳
Zoom 第2会場	8:30~9:10 一般演題 13 海外 座長：山本 裕子 高根 麻央		10:00~11:00 特別講演 2 血液浄化療法が目指すべき未来 ～技術の探求と進化～ 司会：山家 敏彦 演者：川西 秀樹	
Zoom 第3会場	8:30~10:00 学術委員会企画(SCP) 研究活動を活性化するには何が必要か?! 司会：村上 淳、小久保 謙一 演者：酒井 清孝、小川 智也 宮川 浩之、小久保 謙一			11:00~12:00 特別企画 透析と新型コロナウイルスの実情 司会：小俣 利幸 演者：竜崎 崇和
Zoom 第4会場	8:30~9:30 一般演題 14 急性血液浄化・CART 座長：小島 萌 西江 和夫		10:00~11:00 大会長招聘講演 2 自ら積極的に行動する力を 育むボトムアップ理論 司会：宮本 照彦 演者：畑 喜美夫	
Zoom 第5会場	8:30~10:30 シンポジウム 3 日本腎不全看護学会 ジョイントセッション 透析の見合わせに係る問題への対応を考える 司会：水内 恵子、長尾 尋智 演者：倉賀野 隆裕、岡田 一義 船越 哲、阿部 利恵			11:00~11:30 ベーシック セミナー 9 感染対策 司会： 浦辺 俊一郎 演者： 谷口 弘美
Zoom 第6会場	8:30~9:10 一般演題 16 透析運動療法・他 座長：五十嵐 洋行 平 ひとみ		10:00~10:30 企業共催 セミナー S1 臨床工学技士が知って おきたいCKD-MBD における最近の話題 司会：高橋 直子 演者：土井 盛博 共催：キッセイ薬品工業 株式会社	11:20~12:10 一般演題 17 HDF & IHDF ③ 座長：近藤 隆司 岩田 康伸
Zoom 第7会場		9:00~10:00 一般演題 20 モニタリング ① 座長：関根 広介 栗原 大典		10:50~11:50 一般演題 21 モニタリング ② 座長：岡本 裕美 木船 和弥
Zoom 第8会場	8:30~9:20 英語演題 3 座長：長沼 俊秀 齋藤 慎		10:10~10:50 英語演題 4 座長：テレシア マリアトジピオ 徳田 勝哉	

12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
	12:30~13:30 企業共催セミナー L5 透析患者における腎性貧血と その対応 ~低栄養・消耗を認 める高齢患者への対応 司会：友 雅司 演者：花房 規男 共催：中外製薬株式会社		14:20~15:50 ワークショップ 3 オンライン HDF, IHDF の 条件設定を考察する 司会：植村 友隆、菅沼 信也 演者：常喜 信彦、大澤 貞利 江口 圭	
12:00~13:00 企業共催セミナー L6 透析患者の心疾患を再考する 司会：岡田 一義 演者：常喜 信彦 共催：小野薬品工業株式会社		13:30~14:00 ベーシック セミナー 6 研究倫理 司会： 堀内 勇人 演者： 五条 敏和	14:50~15:20 ベーシック セミナー 7 研究統計 司会： 佐々木 裕介 演者： 宮田 賢宏	16:00 閉 会 式
	12:30~13:30 企業共催セミナー L7 HDF 療法を活用した患者 QOL 向上への治療戦略 ~かゆみをはじめ とする愁訴改善と栄養管理の考え方~ 司会：森石 みさき 演者：高橋 直子 共催：株式会社ジェイ・エム・エス 旭化成メディカル株式会社		14:00~16:00 パネルディスカッション 2 腎代替療法の選択肢と Shared Decision Making 司会：川合 徹、宮川 浩之 演者：内田 明子、高橋 俊介、井手 健太郎 前田 兼徳、森實 篤司、道脇 宏行	
12:00~13:00 企業共催セミナー L8 透析患者のポリファーマシーに ついて考える —CKD-MBD 薬を中心に— 司会：土井 盛博 演者：川合 徹 共催：バイエル薬品株式会社		13:30~14:00 ベーシック セミナー 8 透析患者の 心電図の読み方 司会： 金山 由紀 演者： 松崎 尚康	14:50~15:40 一般演題 15 その他 ① 座長：稲葉 光史 小野 裕明	
12:00~12:30 企業プレゼン テーション 1 演者： 永井 翔 共催： ニプロ株式会社		13:10~13:40 企業プレゼン テーション 2 演者： 浅野 信一 共催： ニプロ株式会社	14:30~16:00 ワークショップ 4 各治療法におけるアフレシスの 役割と施行条件 司会：花房 規男、岩本 ひとみ 演者：鶴田 友加里、大久保 淳 松崎 圭祐、時任 義臣	
		13:30~14:10 一般演題 18 VA ③ 座長：佐久間 宏治 兼長 貴祐		15:00~15:50 一般演題 19 VA ④ 座長：安部 貴之 新宅 究典
		13:20~14:20 一般演題 22 透析液 ① / 性能評価 ② 座長：加藤 泰之 上野 幸司		15:10~15:50 一般演題 23 その他 ② 座長：栗原 佳孝 伊豆元 勇樹
11:50~12:50 企業共催セミナー S2 これからの CART 治療を考える 司会：山家 敏彦 演者：鈴木 祥仁、福原 正史 共催：株式会社カネカメディックス		13:30~14:10 英語演題 5 座長：小久保 謙一 栗原 佳孝	15:00~16:00 一般演題 24 洗浄消毒 / 排水 / 透析液 ② 座長：橋口 誠一 白石 理	

A series of horizontal dashed lines for writing.

プログラム

プログラム

開会式

4月17日(土) 8:55～9:00 (第5会場)

大会長招聘講演1

4月17日(土) 12:00～13:00 (第1会場)

司会：宮本 照彦(中央内科クリニック)

IL-1 広島酒造り

Sake Brewing in Hiroshima

山岡 洋(やまおか ひろし)

Yamaoka Hiroshi

賀茂鶴酒造株式会社

Kamotsuru Sake Brewing Co., Ltd

大会長招聘講演2

4月18日(日) 10:00～11:00 (第4会場)

司会：宮本 照彦(中央内科クリニック)

IL-2 自ら積極的に行動する力を育むボトムアップ理論

Bottom-up theory that fosters the ability to act positively

畑 喜美夫(はた きみお)

Hata Kimio

一般社団法人ボトムアップパーソンズ協会 代表理事
株式会社 You Home 人財育成・組織構築部 代表

General Incorporated Association Bottom-up Persons Association
You Home Co., Ltd. Human Resources Development and Organization
Building Department

特別講演1

4月17日(土) 10:30～11:30 (第1会場)

司会：真下 泰(JCHO 札幌北辰病院)

SL-1 生体内輸送現象論から見える血液浄化法

Blood Purification Treatment from the Transport Phenomena point of view

山下 明泰(やました あきひろ)

Yamashita Akihiro

法政大学生命科学部 環境応用化学科

Department of Chemical Science and Technology, Faculty of Bioscience
and Applied Chemistry, Hosei University

特別講演2

4月18日(日) 10:00～11:00 (第2会場)

司会：山家 敏彦(神奈川工科大学 健康医療科学部 臨床工学科)

SL-2 血液浄化療法が目指すべき未来 ～技術の探求と進化～

The future of blood purification therapy

川西 秀樹(かわにし ひでき)

Kawanishi Hideki

土谷総合病院

Tsuchiya General Hospital

SP 透析と新型コロナウイルス感染症の実情

Present status of COVID-19 in dialysis patients in Japan

竜崎 崇和 (りゅうざき むねかず)

東京都済生会中央病院 腎臓内科

Ryuzaki Munekazu

Department of Nephrology Tokyo Saiseikai Central Hospital

教育講演 1

4月17日(土) 13:40～14:40 (第1会場)

司会：村上 淳 (東京女子医科大学 臨床工学部 血液浄化療法科)

EL-1 透析に関わる医療経済と診療報酬

Medical economics and medical fee related to dialysis

山川 智之 (やまかわ ともゆき)

特定医療法人仁真会 白鷺病院

Yamakawa Tomoyuki

Kidney Center, Shirasagi Hospital

教育講演 2

4月18日(日) 11:00～12:00 (第1会場)

司会：山下 芳久 (埼玉医科大学 保健医療学部 臨床工学科)

EL-2 透析効率の適正評価法を考える

Consideration for appropriate evaluation of dialysis efficiency

村上 淳 (むらかみ じゅん)

東京女子医科大学 臨床工学部

Murakami Jun

Department of Clinical Engineering, Tokyo Womens Medical University

大会長特別企画

4月17日(土) 13:40～15:10 (第3会場)

司会：安藤 勝信 ((公社)地域医療振興協会 練馬光が丘病院 臨床工学室)

小久保 謙一 (北里大学 医療衛生学部)

[学会の国際化推進を考える!]

PSL-1 国際活動ならびに学会に参加した経験から気付く国際化の必要性

The necessity of internationalization of Japanese clinical engineers

○吉岡 淳 (よしおか じゅん)

群馬パース大学 保健科学部 臨床工学科

○Yoshioka Jun

Gunma Paz University, Faculty of Health Science, School of Clinical Engineering

PSL-2 何故?! いまさら国際学会発表?!

Why is a presentation made at an international conference now ?

- 大塚 勝二(おおつか かつじ)¹⁾、石川 実穂¹⁾²⁾、杉田 このみ¹⁾²⁾、今山 史教¹⁾²⁾、宮川 貴之¹⁾²⁾、小原 大輔¹⁾²⁾、山本 達郎¹⁾

1) 熊本大学病院 医療技術部 ME 機器技術部門、2) 熊本大学病院 血液浄化療法部

- Otsuka Katsuji¹⁾, Ishikawa Miho¹⁾²⁾, Sugita Konomi¹⁾²⁾, Imayama Fuminori¹⁾²⁾, Miyagawa Takayuki¹⁾²⁾, Obara Daisuke¹⁾²⁾, Yamamoto Tatsuo¹⁾

1) Kumamoto University Hospital MEequipment technology section

2) Kumamoto University Hospital Blood purification therapy department

PSL-3 血液浄化技術の国際展開活動から得られるもの

Outcome of overseas support activity for dialysis therapy

- 長沼 俊秀(ながぬま としひで)

大阪市立大学大学院 医学研究科 泌尿器病態学

- Naganuma Toshihide

Department of Urology, Osaka City University

PSL-4 学会の国際化推進への提言

Recommendations for promoting the global activities of academic society

- 山家 敏彦(やまか としひこ)

神奈川工科大学 健康医療科学部 臨床工学科

- Yamaka Toshihiko

Department of Clinical Engineering in Faculty of Health and Medical Sciences, Kanagawa Institute of Technology

シンポジウム1

4月17日(日) 15:30～17:30 (第1会場)

司会：人見 泰正(特定医療法人 桃仁会病院)

小川 智也(埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科)

[VA 関連手術・治療における医療スタッフの役割

—医療スタッフの業務拡大を目指して—]

SY1-1 VAIVT 分野における医療スタッフの役割

Role of medical staff in vascular access intervention therapy

- 廣谷 紗千子(ひろたに さちこ)

医療法人社団 蒼紫会 森下記念病院

- Hirotsani Sachiko

Morishita Memorial Hospital

SY1-2 ダブルライセンスにおける VAIVT 関連業務

VAIVT related business in double license

- 原 正彦(はら まさひこ)、沼岡 興治、宮島 さや子、向山 佳宏、蒲谷 堯

南千住病院 VA センター

- Hara Masahiko, Numaoka Kouji, Miyajima Sayako, Mukaiyama Yoshihiro, Kabaya Takashi

minamisenju hospital vascular access center

SY1-3 VAVIT に臨床工学技士が関わることで得られる効果

Clinical engineer effects acquired by involved in vascular access intervention therapy

- 岩下 廉史(いわした やすふみ)、久保 哲也、上野 庸介、川原田 貴士、谷口 英治、松岡 一江、梶本 宗孝、安田 透、池田 潔

医療法人心信会 池田バスキュラーアクセス・透析・内科

- Iwashita Yasufumi, Kubo Tetuya, Ueno Yousuke, Kawarada Takashi, Taniguchi Eiji, Matuoka Kazue, Kajimoto Munetaka, Yasuda Tooru, Ikeda Kiyoshi

Ikeda vascular access touseki naika

SY1-4 当院でのバスキュラーアクセス(VA)関連手術における臨床工学技士の関わりについて Clinical engineer's involvement in vascular access-related surgery in our hospital

- 千葉 康雄(ちば やすお)

医療法人社団嬉泉会 嬉泉病院 臨床工学科

- Chiba Yasuo

kisen hospital

SY1-5 VA スペシャリストの役割

The role of VA specialist

- 渡邊 弘一(わたなべ ひろかず)¹⁾、吉岡 友基²⁾、横山 築¹⁾、青柳 貴洋¹⁾、赤澤 隆一¹⁾、酒巻 裕一²⁾、青柳 竜治²⁾

1) 医療法人 立川メディカルセンター 立川総合病院 腎センター、

2) 医療法人 立川メディカルセンター 立川総合病院 腎臓内科

- Watanabe Hirokazu¹⁾, Yoshioka Yuuki²⁾, Yokohama Kizuku¹⁾, Aoyagi Takahiro¹⁾, Akazawa Ryuichi¹⁾, Sakamaki Yuuichi²⁾, Aoyagi Ryuji²⁾

1) Medical Corporation Tachikawa Medical Center Tachikawa General Hospital Kidney Center

2) Medical Corporation Tachikawa Medical Center Tachikawa General Hospital Nephrology

シンポジウム2

4月17日(土) 9:00~11:00 (第2会場)

司会：川岡 孝一郎(国家公務員共済組合連合会 呉共済病院)

坂上 貴光(地方独立行政法人 大牟田市立病院)

[Inter-Professional Work ～透析患者への多角的アプローチ～]

SY2-1 Inter-Professional Work における慢性腎不全患者システムの役割

Role of the system for patients with chronic renal failure in inter professional work

- 西澤 欣子(にしざわ よしこ)

一陽会 原田病院 腎臓内科

- Nishizawa Yoshiko

Ichiyokai Harada Hospital Nephrology

SY2-2 透析治療における臨床工学技士が担う役割

Role of clinical engineer in dialysis treatment

- 安部 貴之(あべ たかゆき)¹⁾、石森 勇¹⁾、村上 淳¹⁾、花房 規男²⁾、新田 孝作²⁾、土谷 健²⁾

1) 東京女子医科大学 臨床工学部、2) 東京女子医科大学 腎臓病総合医療センター

- Abe Takayuki¹⁾, Ishimori Isamu¹⁾, Murakami Jun¹⁾, Hanafusa Norio²⁾, Nitta Kosaku²⁾, Tsuchiya Ken²⁾

1) Department of Clinical Engineering, Tokyo Women's Medical University

2) Department of Medicine, Kidney Center, Tokyo Women's Medical University

SY2-3 理学療法士が考える透析医療へのアプローチ

Therapeutic approaches for hemodialysis patients by physical therapist

○矢部 広樹(やべ ひろき)

聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 理学療法学科

○Yabe Hiroki

Department of physical therapy, School of Rehabilitation Sciences, Seirei Christopher University

SY2-4 管理栄養士が考える透析患者への治療アプローチ

Dietitian's treatment approach for dialysis patients

○北島 幸枝(きたじま ゆきえ)

東京医療保健大学 医療保健学部 医療栄養学科

○Kitajima Yukie

Tokyo Healthcare University

SY2-5 透析患者へのケアアプローチ ～看護師の役割～

Care approach to dialysis patients -the role of nurses-

○高柳 麻紀(たかやなぎ まき)

広島大学病院 看護部

○Takayanagi Maki

Hiroshima university hospital nursing department

シンポジウム3：日本腎不全看護学会ジョイントセッション

4月18日(日) 8:30～10:30 (第5会場)

司会：水内 恵子(医療法人心信会 池田バスキュラーアクセス・透析・内科)
長尾 尋智(知邑舎 メディカルサテライト岩倉)

[透析の見合わせに係る問題への対応を考える]

SY3-1 透析見合わせ・中断に関して：日本透析医学会拡大倫理委員会を通じて

Withdrawal of maintenance hemodialysis: The opinion of Ethical Review Board of JSOT

○倉賀野 隆裕(くらがの たかひろ)

兵庫医科大学

○Kuragano Takahiro

Hyogo College of Medicine

SY3-2 「透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言」について

Proposal for the shared decision-making process regarding with initiation and continuation of dialysis

○岡田 一義(おかだ かずよし)

社会医療法人川島会 川島病院

○Okada Kazuyoshi

Social Medical Corporation, Kawashimakai, Kawashima hospital

SY3-3 超高齢者の血液透析

Hemodialysis for extreme elderly

○船越 哲(ふなこし さとし)

長崎腎病院

○Funakoshi Satoshi

Nagasaki Kidney Center

SY3-4 透析見合わせを考える患者へのアドバンス・ケア・プランニングと家族への支援
Advanced Care Planning for Patients Considering Dialysis Withdrawal and Support for Family

- 阿部 利恵(あべ りえ)
NPO 法人 日本看護キャリア開発センター
- Abe Rie
Japan Nursing Career Development Center

日本血液浄化技術学会 – 台湾透析技術学会 合同企画

4月17日(土) 10:00～11:30 (第5会場)

司会： 兪 静儀 (台湾透析技術学会 理事長)
陳 莉薇 (医新クリニック 人工透析内科)

[日本と台湾の血液浄化技術の未来に向けて

Towards future collaboration in blood purification technology between Japan and Taiwan]

JS-1 Activities and goals of Taiwan Society of Dialysis Technology

- 趙 美貞 (Chao Mei Chen)¹⁾²⁾
1) Division of Nephrology, Department of Internal Medicine, Kaohsiung Chang Gung Memorial Hospital
2) Chang Gung University College of Medicine

JS-2 Activities of Japanese Society for Technology of Blood Purification

- 山家 敏彦(やまか としひこ)¹⁾²⁾
1) 神奈川工科大学、2) 日本血液浄化技術学会
- Yamaka Toshihiko¹⁾²⁾
1) Kanagawa Institute of Technology
2) Japanese Society for Technology of Blood Purification

JS-3 COVID-19 in Dialysis Centres: Current Strategy in Taiwan and Recommendations for Prevention the pandemic

- 傅 崇銘 (Fu Chung-Ming)¹⁾²⁾
1) Division of Nephrology, Department of Internal Medicine, Kaohsiung Chang Gung Memorial Hospital
2) Chang Gung University College of Medicine, Kaohsiung, Taiwan

JS-4 Current topics and future challenges in the technologies for blood purification in Japan

- 小久保 謙一(こくぼ けんいち)¹⁾²⁾
1) 北里大学 医療衛生学部、2) 日本血液浄化技術学会 国際委員会
- Kokubo Kenichi¹⁾²⁾
1) Kitasato University School of Allied Health Sciences
2) Japanese Society for Technology of Blood Purification, Committee on International Affairs

セッション後半30分は、講演後に台湾透析技術学会からご参加いただいた先生方のご紹介、ご挨拶などを予定しています。

司会：廣橋 伸之(広島大学病院 広島大学原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療開発研究分野)
峰松 佑輔(大阪大学医学部附属病院 臨床工学部(医療技術部臨床工学部門))

[急性血液浄化：各施設におけるヘモフィルターの使い分け]

PD1-1 CRRT における PS 系膜 hemofilter の役割はどこにあるか？

Where is the role of PS membrane hemofilter in CRRT ?

○塚本 功(つかもと いさお)

埼玉医科大学国際医療センター ME サービス部

○Tsukamoto Isao

Department of Medical Engineering, International Medical Center, Saitama Medical University

PD1-2 UT フィルター(CTA 膜)の臨床使用例

Clinical experience of UT-Filter (CTA: cellulose triacetate membrane)

○相馬 泉(そうま いずみ)

東京女子医科大学 臨床工学部

○Soma Izumi

Department of Clinical Engineering Tokyo Women's University

PD1-3 当院の敗血症性 AKI 患者におけるヘモフィルターの使い分け

Proper use of hemofilters in patients with septic AKI at our hospital

○山香 修(やまが おさむ)、吉田 圭介、内村 湧一、今井 徹朗

久留米大学病院 臨床工学センター

○Yamaga Osamu, Yoshida Keisuke, Uchimura Hirokazu, Imai Tetsurou

Clinical engineering center, Kurume University Hospital

PD1-4 敗血症性ショック症例に対する AN69ST-CHDF の有用性に関する検討

Study on usefulness of AN69ST-CHDF for septic shock patients

○道越 淳一(みちこし じゅんいち)¹⁾、森田 真¹⁾、宮脇 宏²⁾、丹生 治司¹⁾、松本 重清³⁾、北野 敬明³⁾

1)小倉記念病院 検査技師部 工学課、2)小倉記念病院 麻酔・集中治療部、3)大分大学医学部 麻酔学講座

○Michikoshi Junichi¹⁾, Morita Makoto¹⁾, Miyawaki Hiroshi²⁾, Niu Harushi¹⁾, Matsumoto Shigekiyo³⁾, Kitano Takaaki³⁾

1) Department of Medical Technologists, Kokura Memorial Hospital

2) Department of Anesthesiology and Intensive Care Medicine, Kokura Memorial Hospital

3) Department of Anesthesiology and Intensive Care, Faculty of Medicine, Oita University

司会：川合 徹(医療法人中央内科クリニック)

宮川 浩之(日本赤十字社医療センター 医療技術部 臨床工学技術課)

[腎代替療法の選択肢と Shared Decision Making]

PD2-1 腎代替療法選択の支援における看護者の役割 ～人権尊重と Shared Decision Making～

The role of nurses in supporting choice of renal replacement therapy
- Respect for human rights and SDM -

○内田 明子(うちだ あきこ)

聖隷横浜病院

○Uchida Akiko

Seirei Yokohama Hospital

PD2-2 Shared Decision Making と腹膜透析 Shared Decision Making and Peritoneal Dialysis

○高橋 俊介(たかはし しゅんすけ)

国立病院機構 呉医療センター 腎臓内科

○Takahashi Shunsuke

Nephrology, National Hospital Organization Kure Medical Center

PD2-3 SDM 実践のために知っておきたい腎移植の現状 Current status of kidney transplantation for SDM practice

○井手 健太郎(いで けんたろう)、大段 秀樹

広島大学病院 消化器外科 移植外科

○Ide Kentaro, Ohdan Hideki

Hiroshima University Hospital

PD2-4 長時間透析、頻回透析の選択と適応について再考する Examination on selection and adaptation of Long-time hemodialysis and Frequent hemodialysis

○前田 兼徳(まえだ かねのり)、鶴田 耕一郎、今田 真里、前田 由紀

医療法人社団 兼愛会 前田医院

○Maeda Kanenori, Tsuruta Kouichiro, Imada Mari, Maeda Yuki

Maeda clinic, Department of Urology, Nephrology and Dermatology

PD2-5 在宅透析の選択と適応について再考する Rethinking the Choice and Adaptation of Home Dialysis

○森實 篤司(もりざね あつし)

新生会第一病院

○Morizane Atshushi

shinseikai

PD2-6 オンライン HDF の選択と適応について再考する

Reconsideration of the choice and adaptation of online hemodiafiltration

○道脇 宏行(みちわき ひろゆき)、廣瀬 大輔、田尾 知浩、岡田 一義、水口 潤
社会医療法人川島会 川島病院

○Michiwaki Hiroyuki, Hirose Daisuke, Tao Tomohiro, Okada Kazuyoshi, Minakuchi Jun
Kawashima Hospital

ワークショップ1

4月17日(土) 13:30～15:00 (第2会場)

司会：鈴木 一裕(医療法人援腎会)

柴田 昌典(医療法人光寿会 光寿会リハビリテーション病院)

[多職種が取り組む透析運動療法～現状と今後の展望～]

WS1-1 理学療法士による透析運動療法の関わり

Involvement in exercise therapy during dialysis by physical therapists

○山口 智也(やまぐち ともや)¹⁾、矢部 広樹²⁾

- 1) 社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院 リハビリテーション室、
- 2) 聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 理学療法学科

○Yamaguchi Tomoya¹⁾, Yabe Hiroki²⁾

- 1) Department of Rehabilitation, Seirei Sakura Citizen Hospital, Seirei Social Welfare Community
- 2) Department of Physical Therapy, School of Rehabilitation Sciences, Seirei Christopher University

WS1-2 臨床工学技士による透析運動療法の関わり

Involvement of Exercise Therapy by CE

○佐野 可奈(さの かな)¹⁾、森永 美加²⁾、田中 秀憲³⁾、岩本 ひとみ⁴⁾、古賀 伸彦⁵⁾

- 1) 社会医療法人天神会 野伏間クリニック 臨床工学課、
- 2) 社会医療法人天神会 野伏間クリニック 通所リハビリテーション、
- 3) 社会医療法人天神会 野伏間クリニック 内科、
- 4) 社会医療法人天神会 法人本部、
- 5) 社会医療法人天神会 新古賀病院 循環器内科

○Sano Kana¹⁾, Morinaga Mika²⁾, Tanaka Hidenori³⁾, Iwamoto Hitomi⁴⁾, Koga Nobuhiko⁵⁾

- 1) Social Medical Corporation tenjinkai NobusumaClinic Clinical Department of Clinical Engineering
- 2) Social Medical Corporation tenjinkai NobusumaClinic Clinical Hospital rehabilitation
- 3) Social Medical Corporation tenjinkai NobusumaClinic Internal medicine
- 4) Social Medical Corporation tenjinkai Corporate Headquarters
- 5) Social Medical Corporation tenjinkai Shinkoga Hospital Cardiovascular Medicine

WS1-3 健康運動指導士による透析運動療法の関わり

Involvement of Intradialytic Exercise therapy by a health fitness programmer

○森山 善文(もりやま よしふみ)

医療法人偕行会 名古屋共立病院

○Moriyama Yoshifumi

Kaikoukai Healthcare Group Nagoya kyoritsu hospital

WS1-4 透析運動療法における薬剤師のかかわり

The role of pharmacists in exercise therapy during hemodialysis

- 佐藤 みのり(さとう みのり)¹⁾、山本 彩²⁾、井本 洋史⁴⁾、佐々木 妙¹⁾、岡本 梓¹⁾、山本 美和子¹⁾、佐々木 緑³⁾

1) 創和会 重井医学研究所附属病院 薬剤部、2) 創和会 重井医学研究所附属病院 リハビリテーション部、
3) 創和会 しげい病院 薬剤部、4) 創和会 しげい病院 リハビリテーション部

- Sato Minori¹⁾, Yamamoto Aya²⁾, Imoto Hiroshi⁴⁾, Sasaki Tae¹⁾, Okamoto Azusa¹⁾, Yamamoto Miwako¹⁾, Sasaki Midori³⁾

1) Department of Pharmacy, Shigei Medical Reserch Hospital
2) Department of Rehabilitation, Shigei Medical Reserch Hospital
3) Department of Pharmacy, Shigei Hospital
4) Department of Rehabilitation, Shigei Hospital

WS1-5 透析導入時の運動療法の取り組み

～在宅療養へのスムーズな移行にむけて

Efforts for exercise therapy at the time of introduction of dialysis

-Toward a smooth transition to home care

- 黒田 沙織(くろだ さおり)¹⁾、菊田 功人¹⁾、齋藤 李香¹⁾、永田 有沙²⁾、池野 慧²⁾

1) 社会福祉法人恩賜財団 静岡済生会総合病院 透析室、
2) 社会福祉法人恩賜財団 静岡済生会総合病院 リハビリテーション科

- Kuroda Saori, Kikuta Yoshito, Saitou Rika, Nagata, Arisa, Ikeno Kei

1) Shizuoka Saiseikai General Hospital of Dialysis center
2) Shizuoka Saiseikai General Hospital of Rehabilitation unit

ワークショップ2

4月18日回 8:30～10:00 (第1会場)

司会：川原田 貴士(池田バスキュラーアクセス透析・内科)
松田 政二(中島土谷クリニック)

[バスキュラーアクセスにおける手技と管理の標準化]

WS2-1 臨床工学技士による VA 術前・術後管理の有用性とその展望

Usefulness and prospect of VA preoperative and postoperative management by clinical engineers

- 北村 健太郎(きたむら けんたろう)¹⁾、丸山 和葵¹⁾、増村 貴義¹⁾、中島 拓也¹⁾、山田 裕也¹⁾、関原 宏幸¹⁾、長澤 正樹²⁾、穴山 万理子²⁾、牧野 靖²⁾、田村 克彦²⁾

1) JA 長野厚生連 南長野医療センター 篠ノ井総合病院 臨床工学科、
2) JA 長野厚生連 南長野医療センター 篠ノ井総合病院 腎臓内科

- Kitamura Kentarou¹⁾, Maruyama Kazuki¹⁾, Masumura Takayoshi¹⁾, Nakajima Takuya¹⁾, Yamada Yuya¹⁾, Sekihara Hiroyuki¹⁾, Nagasawa Masaki²⁾, Anayama Mariko²⁾, Makino Yasushi²⁾, Tamura Katuhiko²⁾

1) Department of Clinical Engineering, Shinonoi General Hospital
2) Department of Nephrology, Shinonoi General Hospital

WS2-2 VA 機能評価におけるエコー手技の標準化に向けた取り組み

Efforts for standardizing echo procedures in VA function evaluation

- 椛澤 麻美¹⁾、吉岡 友基²⁾、赤澤 隆一¹⁾、青柳 貴洋¹⁾、渡邊 弘一¹⁾、横山 築¹⁾、酒巻 裕一²⁾、青柳 竜治²⁾

1) 医療法人 立川メディカルセンター 立川総合病院 腎センター、

2) 医療法人 立川メディカルセンター 立川総合病院 腎臓内科

- Kabasawa Mami¹⁾, Yoshioka Yuuki²⁾, Akazawa Ryuichi¹⁾, Aoyagi Takahiro¹⁾, Watanabe Hirokazu¹⁾, Yokoyama Kizuku¹⁾, Sakamaki Yuuichi²⁾, Aoyagi Ryuji²⁾

1) Medical Corporation Tachikawa Medical Center Tachikawa General Hospital Kidney Center

2) Medical Corporation Tachikawa Medical Center Tachikawa General Hospital Nephrology

WS2-3 バスキュラーアクセスによる末梢循環への影響を考える

～各種検査装置を用いた評価法の検討～

Consider the effects of vascular access on peripheral circulation

～Examination of evaluation method using various inspection devices～

- 川上 崇志^(かわかみ たかし)

新都市医療研究会『君津』会 玄々堂君津病院 臨床工学科

- Kawakami Takashi

New City Medical Research Society Kimitsu Meeting Gengendo Kimitsu Hospital Department of Clinical Engineering

WS2-4 エコー下穿刺技術の標準化

Standardization of Vascular access puncture method with guidance by a portable ultrasonographic device

- 人見 泰正^(ひとみ やすまさ)

桃仁会病院 臨床工学部

- Hitomi Yasumasa

Department of Clinical Engineering TOJINKAI Hospital

ワークショップ3

4月18日(日) 14:20～15:50 (第1会場)

司会： 梶村 友隆 (倉敷芸術科学大学 生命科学科)
菅沼 信也 (腎内科クリニック世田谷)

[オンライン HDF, IHDF の条件設定を考察する]

WS3-1 最適な透析液組成を考察する

Optimum dialysis fluid for cardiovascular events in ESKD patients

- 常喜 信彦^(じょうき のぶひこ)

東邦大学医療センター大橋病院 腎臓内科

- Joki Nobuhiko

Division of Nephrology, Toho University Ohashi Medical Center

WS3-2 HDF に最適な補液量、補液方法を考察する

Consideration of the optimal volume and method of fluid replacement in hemodiafiltration

- 大澤 貞利^(おおさわ さだとし)

釧路泌尿器科クリニック

- Osawa Sadatoshi

Kushiro Urology Clinic

WS3-3 I-HDF の補充設定を考察する Consider infusion setting of I-HDF

○江口 圭(えぐち けい)

東北医科薬科大学病院 臨床工学部

○Eguchi Kei

TOHOKU MEDICAL AND PHARMACEUTICAL UNIVERSITY HOSPITAL

ワークショップ4

4月18日(日) 14:30～16:00 (第5会場)

司会：花房 規男(東京女子医科大学病院 腎臓病総合医療センター 血液浄化療法科)
岩本 ひとみ(社会医療法人天神会法人本部 人事総務部)

[各治療法におけるアフェレシスの役割と施行条件]

WS4-1 新鮮凍結血漿とアルブミン溶液を併用した単純血漿交換療法について

Therapeutic plasma exchange using albumin solution/fresh frozen plasma combination as replacement fluids

○鶴田 友加里(つるた ゆかり)¹⁾、河野 圭志²⁾、加藤 博史¹⁾、西 慎一²⁾

1) 神戸大学医学部附属病院 医療技術部 臨床工学部門、2) 神戸大学医学部附属病院 腎臓内科

○Tsuruta Yukari¹⁾, Kono Keiji²⁾, Kato Hiroshi¹⁾, Nishi Shinichi²⁾

1) Kobe University Hospital, Department of Clinical Engineering

2) Kobe University Hospital, Division of Nephrology

WS4-2 選択的血漿交換法の適応と臨床例

The method of selective plasma exchange

○大久保 淳(おおくぼ あつし)

東京医科歯科大学医学部附属病院 ME センター

○Ohkubo Atsushi

Medical Engineering Center, Medical Hospital of Tokyo Medical and Dental University

WS4-3 CART の基本の理解が臨床に役立つ！

～安全で効果的な患者ファーストの CART を目指して～

Understanding the basics of CART is useful for clinical practice!

-Aiming for the safe and effective patient-first CART-

○松崎 圭祐(まつさき けいすけ)

要町病院 腹水治療センター

○Matsusaki Keisuke

Kanamecho Hospital, Ascites Treatment Center

WS4-4 LDL 吸着療法

LDL adsorption therapy

○時任 義臣(ときとう よしおみ)¹⁾、岩本 ひとみ²⁾、古賀 伸彦³⁾

1) 社会医療法人天神会 新古賀クリニック 臨床工学課、2) 社会医療法人天神会 法人本部、

3) 社会医療法人天神会 新古賀病院 循環器内科

○Tokito Yoshiomi¹⁾, Iwamoto Hitomi²⁾, Koga Nobuhiko³⁾

1) Department of Clinical Engineering, Shin-Koga Clinic, Medical Corporation Tenjinkai

2) Corporate sector, Medical Corporation Tenjinkai

3) Cardiology, Shin-Koga Hospital, Medical Corporation Tenjinkai

司会：大水 剛(あけぼのクリニック)
守田 憲崇(北里大学 医療衛生学部)

[サイバーセキュリティ×ビッグデータ×AI ～未来を見据える～]

ITP-1 臨床工学技士のサイバーセキュリティ対策

Cyber security for clinical engineers

○川崎 路浩(かわさき みちひろ)¹⁾²⁾、石田 幸広²⁾、西方 健一²⁾、肥田 泰幸²⁾

1) 神奈川工科大学 健康医療科学部 臨床工学科、2) 日本臨床工学技士会 サイバーセキュリティ対策検討委員会

○Kawasaki Michihiro¹⁾²⁾, Ishida Yukihiko²⁾, Nishikata Kenichi²⁾, Suzuki Ichiro²⁾, Hida Yasuyuki²⁾

1) Kanagawa Institute of Technology,

2) Japan Association for Clinical Engineers Cyber security measures review committee

ITP-2 在宅医療におけるサイバーセキュリティの考え方

Concept of cyber security in home medical care

○石田 幸広(いしだ ゆきひろ)

医療法人なごみ会 大正くすのきクリニック

○Ishida Yukihiko

Medical corporation Nagomikai Taisho Kusunoki clinic

ITP-3 システムのライフサイクルから考えるセキュリティ

Security from the perspective of system lifecycle

○内山 巧(うちやま たくみ)

国立大学法人信州大学

○Uchiyama Takumi

Shinshu University

ITP-4 院内に接続された ICT 機器の全数把握の重要性

Importance of knowing the total number of in-hospital information and communication technology devices connected to one another

○金井 孝三(かない こうそう)

Sky 株式会社

○Kanai Kouzou

Sky Co., Ltd.

ITP-5 臨床工学技士と病院情報との関わり

Relationship between clinical engineer and hospital information

○肥田 泰幸(ひだ やすゆき)

長門総合病院

○Hida Yasuyuki

NAGATO General Hospital

司会：小野 信行 (社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院)
芝田 正道 (東京女子医科大学東医療センター 臨床工学部)

[医療安全対策の各方面の取組]

MSP-1 チーム医療と医療安全

Medical team and risk management

- 金子 恵美子(かねこ えみこ)
東京女子医科大学東医療センター 医療安全対策部
- Kaneko Emiko
women medical university east hospital center

MSP-2 医療安全：いま考えておきたいこと、準備しておきたいこと

Medical Safety: Things to think now and things to prepare

- 鮎澤 純子(あゆざわ じゅんこ)¹⁾²⁾
1)九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学講座 准教授、2)九州大学病院 病院長補佐
- Ayuzawa Junko¹⁾²⁾
1) Department of Health Care Administration and Management, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University
2) Executive to the director, Kyushu University Hospital

司会：山本 裕子 (東京医科歯科大学医学部附属病院 ME センター)
宮本 照彦 (中央内科クリニック)

[会員の国際化を目指す国際委員会の取り組み]

ICP-1 ミャンマーでの国際活動から感じた透析医療の現状と今後の課題

Current status and future issues of dialysis medical treatment as felt from international activities in Myanmar

- 黒田 沙織(くろだ さおり)
社会福祉法人恩賜財団 静岡済生会総合病院
- Kuroda Saori
Shizuoka Saiseikai General Hospital

ICP-2 ボランティア参加で海外活動を経験して

Experience of Overseas Activities in Myanmar as Volunteers

- 佐藤 幸博(さとう ゆきひろ)¹⁾、小久保 謙一²⁾、張 同輝²⁾、宮本 照彦²⁾、徳田 勝哉²⁾、
矢部 広樹²⁾、黒田 沙織²⁾、星子 清貴²⁾
1) IMS グループ 板橋中央総合病院、2) 日本血液浄化技術学会 国際委員会
- Sato Yukihiro¹⁾, Kokubo Kenichi²⁾, Chang Tung-Huei²⁾, Miyamoto Teruhiko²⁾, Tokuda Katsuya²⁾,
Yabe Hiroki²⁾, Kuroda Saori²⁾, Hoshiko Kiyotaka²⁾
1) Itabashi chuo medical center
2) Division of foreign of affairs of JSTB

ICP-3 発展途上国における透析技術の向上を目指した活動はスキルアップに有効か？
Are activities aimed at improving dialysis technology in developing countries effective for developing personal skills?

○小久保 謙一(こくぼ けんいち)¹⁾²⁾

1) 北里大学 医療衛生学部、2) 日本血液浄化技術学会 国際委員会

○Kokubo Kenichi¹⁾²⁾

1) Kitasato University School of Allied Health Sciences

2) Committee on International Affairs, Japanese Society for Technology of Blood Purification

ICP-4 国際学会で発表してみよう① EDTA 編
Experience of presentation at an international conference of EDTA

○矢部 広樹(やべ ひろき)

聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 理学療法学科

○Yabe Hiroki

Department of physical therapy, School of Rehabilitation Sciences, Seirei Christopher University

ICP-5 国際学会(ヨーロッパ人工臓器学会)で発表してみよう
Presentation at the European Society for Artificial Organs (ESAO)

○栗原 佳孝(くりはら よしたか)、小林 こず恵、小久保 謙一、久保田 勝

北里大学大学院 医療系研究科

○Kurihara Yoshitaka, Kobayashi Kozue, Kokubo Kenichi, Kubota Masaru

Kitasato University Graduate School of Medical Sciences

ICP-6 国際学会での発表促進を目指した国際委員会の取り組み
The International Committee's efforts to promote presentations at international conferences

○小林 こず恵(こばやし こずえ)、栗原 佳孝、浦邊 俊一郎、桜沢 貴俊、齋藤 慎、小久保 謙一
一般社団法人日本血液浄化技術学会 国際委員会

○Kobayashi Kozue, Kurihara Yoshitaka, Urabe Shunichiro, Sakurazawa Takatoshi, Saito Makoto, Kokubo Kenichi

International Committee of Japanese Society for Technology of Blood purification

ICP-7 英語論文作成支援プログラムについて
English Dissertation Writing Support Program

○齋藤 慎(さいとう まこと)¹⁾、小久保 謙一²⁾

1) 公立富岡総合病院 臨床工学科、2) 日本血液浄化技術学会 国際委員会

○Saito Makoto¹⁾, Kokubo Kenichi²⁾

1) Public Tomioka General Hospital Departments of Clinical Engineering

2) Japanese Society for Technology of Blood Purification

司会：森上 辰哉(五仁会 元町HDクリニック)
横山 敏幸(医療法人社団守成会 広瀬病院)

[透析室 BCP を考えた災害対策マニュアルの作成について]

DCP-1 はじめよう、透析室でのBCPの作成

Let's get started, BCP in the dialysis room

○秋山 勝俊(あきやま かつとし)¹⁾²⁾、中村 寛²⁾、植木 隼人²⁾³⁾、高根 麻央²⁾、上田 晃²⁾

1) 多賀城腎・泌尿器クリニック、2) 日本血液浄化技術学会 災害対策委員会、
3) 医療法人 博文会 児玉病院 医療技術部 透析室

○Akiyama Katsutoshi¹⁾²⁾, Nakamura Kan²⁾, Ueki Hayato²⁾³⁾, Takane Mao²⁾, Ueda Akira²⁾

1) Tagajo Kidney & Urology Clinic
2) Japanese Society for Technology of Blood purification
3) iryouhoujinn hakubunnkai kodamabyouin

DCP-2 フローシートを活用した透析室BCPの考え方！

～ひろがれ・つながれ災害対策マニュアルの輪～

Dialysis room BCP concept using flow sheet !

～ Hirogare / Tsunagare Disaster Countermeasures Manual Circle ～

○岡本 裕美(おかもと ひろみ)¹⁾²⁾、佐野 可奈²⁾、中野 達也²⁾、橋口 誠一²⁾、長尾 尋智²⁾

1) 東邦大学医療センター大橋病院 臨床工学部、2) 日本血液浄化技術学会 災害対策委員会

○Okamoto Hiromi¹⁾²⁾, Sano Kana²⁾, Nakano Tatsuya²⁾, Hashiguchi Seichi²⁾, Nagao Tomohiro²⁾

1) Toho University Medical Center Ohashi Hospital
2) Japanese Society for Technology of Blood purification

DCP-3 BCPのessenceに基づいた

「透析室BCPを考えた災害対策マニュアル」の作成

Preparation of "Disaster Countermeasures Manual for Dialysis Room BCP" based on the essence of BCP

○守澤 隆仁(もりさわ たかひと)¹⁾²⁾、小川 晋平²⁾、佐久間 宏治²⁾、竹内 正志²⁾、武安 美希子²⁾、
横山 敏幸²⁾

1) 医療法人あけぼの会 花園病院 透析センター、2) 一般社団法人 日本血液浄化技術学会 災害対策委員会

○Morisawa Takahito¹⁾²⁾, Ogawa Shinpei²⁾, Sakuma Kouji²⁾, Takeuchi Masashi²⁾, Takeyasu Mikiko²⁾,
Yokoyama Toshiyuki²⁾

1) Akebono Medical Association Hanazono Hospital Dialysis Center
2) Japanese Society for Technology of Blood purification

DCP-4 受援 ～適切な支援を受ける為に～

How to get a proper support

○中村 寛(なかむら かん)¹⁾²⁾、森上 辰哉²⁾³⁾

1) 医療法人社団順江会 江東病院、2) 日本血液浄化技術学会 災害対策委員会、3) 五仁会 元町クリニック

○Nakamura Kan, Morigami Tatsuya

1) Koto Hospital
2) Japanese Society for Technology of Blood purification
3) Motomachi HD Clinic

司会：村上 淳(東京女子医科大学 臨床工学部 血液浄化療法科)
小久保 謙一(北里大学 医療衛生学部)

[研究活動を活性化するには何が必要か?!]

SCP-1 研究する上で大切なこと
Important Things to Study

- 酒井 清孝(さかい きよたか)
早稲田大学 名誉教授
- Sakai Kiyotaka
Waseda University, Professor Emeritus

SCP-2 臨床と研究をつなぐためには? (今だから必要な事)
How to connect the clinical side and the research side

- 小川 智也(おがわ ともなり)
埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科、血液浄化センター
- Ogawa Tomonari
Saitama Medical Center, Department of Nephrology and Bloodpurification

SCP-3 臨床研究関連法令を踏まえた研究立案
Study plan in accordance with the Clinical Trials Act laws and ordinances

- 宮川 浩之(みやかわ ひろゆき)
日本赤十字社医療センター 臨床工学技術課
- Miyakawa Hiroyuki
Japanese red cross medical center

SCP-4 研究活動活性化にむけた学術委員会の取り組み
Initiatives of Scientific Committee of Japanese Society for Technology of Blood Purification
on Revitalizing Research Activities

- 小久保 謙一(こくぼ けんいち)、村上 淳
日本血液浄化技術学会 学術委員会
- Kokubo Kenichi, Murakami Jun
Scientific Committee, Japanese Society for Technology of Blood Purification

ベーシックセミナー1

4月17日(土) 16:00～16:30 (第2会場)

司会：濱田 あすか(医療法人尚腎会 高知高須病院 臨床工学部)

BS-1 透析患者の栄養評価
～たんぱく質・エネルギー栄養障害を中心に～
Nutritional assessment of dialysis patients

- 朝倉 洋平(あさくら ようへい)
特定医療法人 衆済会 増子記念病院 臨床栄養課
- Asakura Yohei
Masuko Memorial Hospital

ベーシックセミナー2

4月17日(土) 10:30～11:00 (第3会場)

司会：若山 功治(わかやま透析クリニック中野南台)

BS-2 適正な透析患者の血圧コントロール Proper dialysis patient blood pressure control

- 青木 弘之(あおき ひろゆき)
医療法人財団 百葉の会 上野透析クリニック
- Aoki Hiroyuki
ueno dialysis clinic

ベーシックセミナー3

4月17日(土) 9:00～9:30 (第4会場)

司会：本田 和美(医療法人信英会 越谷大袋クリニック)

BS-3 透析液清浄化に必要なシステムと管理方法 ～事例から学ぶ清浄化管理～ Necessary system and management method for purification of dialysate ～ Purification management learned from examples ～

- 小野 信行(おの のぶゆき)
社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 臨床工学室
- Ono Nobuyuki
Our Lady of Snow Medical Corporation St. Maly's Hospital

ベーシックセミナー4

4月17日(土) 16:30～17:00 (第4会場)

司会：岡村 龍也(社会医療法人 白光会 白石病院)

BS-4 透析患者のDWの設定方法 How to set up DW for dialysis patients

- 岡澤 圭祐(おかざわ けいすけ)¹⁾、安部 貴之¹⁾、荒井 祐人¹⁾、石井 貴文¹⁾、石森 勇¹⁾、村上 淳¹⁾、
花房 規男²⁾、峰島 三千男³⁾、新田 孝作⁴⁾、土谷 健²⁾
1) 東京女子医科大学 臨床工学部、2) 東京女子医科大学 血液浄化療法科、3) 東京女子医科大学 臨床工学科、
4) 東京女子医科大学 第四内科
- Okazawa Keisuke¹⁾, Abe Takayuki¹⁾, Arai Yuto¹⁾, Ishii Takafumi¹⁾, Ishimori Isamu¹⁾,
Murakami Jun¹⁾, Hanafusa Norio²⁾, Mineshima Michio³⁾, Nitta Kousaku⁴⁾, Tsuchiya Ken²⁾
1) Tokyo Women's Medical University, Faculty of Clinical Engineering
2) Department of Blood Purification Therapy, Tokyo Women's Medical University
3) Department of Clinical Engineering, Tokyo Women's Medical University
4) Tokyo Women's Medical University, Department of Internal Medicine

ベーシックセミナー5

4月17日(土) 12:10～12:40 (第6会場)

司会：小野 淳一(川崎医療福祉大学 医療技術学部 臨床工学科)

BS-5 透析患者の下肢末梢循環の評価と管理 Evaluation and management of lower limb peripheral circulation in dialysis patients

- 長尾 尋智(ながお ひろとも)、武安 美希子、神崎 将克、伊神 隆介、小川 あかし
医療法人知恵舎 メディカルサテライト岩倉
- Nagao Hiroto, Takeyasu Mikiko, Kannzaki Masakatu, Igami Ryusuke, Ogawa Akashi
Tiousya Medical satellite Iwakura

ベーシックセミナー6

4月18日回 13:30～14:00 (第2会場)

司会：堀内 勇人(国立研究開発法人 国立成育医療研究センター)

BS-6 知っていますか研究倫理 Do you know research ethics

- 五条 敏和(ごじょう としかず)
医療法人社団天成会 天野医院
- Gojo Toshikazu
Medical Corporation Tenseikai Amano Clinic

ベーシックセミナー7

4月18日回 14:50～15:20 (第2会場)

司会：佐々木 裕介(埼玉医科大学総合医療センター 臨床工学部)

BS-7 学会発表や論文執筆に必要な統計(学) Statistical analysis for Scientific Presentations and Papers

- 宮田 賢宏(みやた まさひろ)
帝京大学 福岡医療技術学部
- Miyata Masahiro
Teikyo University Faculty of Fukuoka Medical Technology

ベーシックセミナー8

4月18日回 13:30～14:00 (第4会場)

司会：金山 由紀(埼玉医科大学総合医療センター 臨床工学部)

BS-8 もっと早く知っておきたかった心電図の読み方 How to read an ECG that I wanted to know quickly

- 松崎 尚康(まつざき ひさやす)
広島大学病院 診療支援部 臨床工学部門
- Matsuzaki Hisayasu
Hiroshima university hospital

ベーシックセミナー9

4月18日回 11:00～11:30 (第5会場)

司会：浦辺 俊一郎(医療法人倉田会 えいじんクリニック)

BS-9 透析室の感染対策 ～立場や見方によって違う？ 感染のとらえ方～ Infection control in dialysis rooms

- 谷口 弘美(たにぐち ひろみ)
特定医療法人財団松園会 東葛クリニック病院
- Taniguchi Hiromi
Tokatsu-Clinic Hospital

企業共催セミナー L1

4月17日(土) 11:30～12:30 (第2会場)

共催：ニプロ株式会社

司会：松岡 哲平(医療法人社団 大誠会)

L1 新規クリニック開設の経験 ～ニプロ社製透析装置導入経験と今後の展望～

吉田 功樹(よしだ こうき)
医療法人社団 清永会 南陽矢吹クリニック

企業共催セミナー L2

4月17日(土) 12:00～13:00 (第3会場)

共催：協和キリン株式会社

司会：川合 徹(医療法人中央内科クリニック)

L2 透析医療の高齢化を考える

小川 智也(おがわ ともなり)
埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科 准教授 血液浄化センター長

企業共催セミナー L3

4月17日(土) 12:30～13:30 (第4会場)

共催：日機装株式会社

司会：森上 辰哉(特定医療法人五仁会 元町 HD クリニック 臨床工学部 技師長)

L3 リアルタイムで分かる再循環率と透析量

福村 宏(ふくむら ひろし)
医療法人 姫野クリニック 顧問

企業共催セミナー L4

4月17日(土) 12:00～13:00 (第5会場)

共催：扶桑薬品工業株式会社

司会：正木 崇生(広島大学病院 腎臓内科 教授)

L4 透析アミロイド症の予防とその対策

倉賀野 隆裕(くらながの たかひろ)
兵庫医科大学 腎・透析内科 教授

企業共催セミナー L5

4月18日(日) 12:30～13:30 (第1会場)

共催：中外製薬株式会社

司会：友 雅司(大分大学医学部附属臨床医工学センター 診療教授)

L5 透析患者における腎性貧血とその対応～低栄養・消耗を認める高齢患者への対応

花房 規男(はなぶさ のりお)
東京女子医科大学病院 腎臓病総合医療センター 血液浄化療法科 准教授

企業共催セミナー L6

4月18日回 12:00～13:00 (第2会場)

共催：小野薬品工業株式会社

司会：岡田 一義(社会医療法人川島会 川島病院 腎臓内科 副院長)

L6 透析患者の心疾患を再考する

常喜 信彦(じょうき のぶひこ)

東邦大学医療センター大橋病院 腎臓内科 教授

企業共催セミナー L7

4月18日回 12:30～13:30 (第3会場)

共催：株式会社ジェイ・エム・エス/旭化成メディカル株式会社

司会：森石 みさき(あかね会 中島土谷クリニック)

L7 HDF療法を活用した患者 QOL 向上への治療戦略 ～かゆみをはじめとする愁訴改善と栄養管理の考え方～

高橋 直子(たかはし なおこ)

あかね会 大町土谷クリニック

企業共催セミナー L8

4月18日回 12:00～13:00 (第4会場)

共催：バイエル薬品株式会社

司会：土井 盛博(広島大学病院)

L8 透析患者のポリファーマシーについて考える —CKD-MBD薬を中心に—

川合 徹(かわい とおる)

医療法人 中央内科クリニック

企業共催セミナー S1

4月18日(日) 10:00～10:30 (第6会場)

共催：キッセイ薬品工業株式会社

司会：高橋 直子(あかね会 大町土谷クリニック)

S1 臨床工学技士が知っておきたいCKD-MBDにおける最近の話題

土井 盛博(どい しげひろ)
広島大学病院 透析内科 診療准教授

企業共催セミナー S2

4月18日(日) 11:50～12:50 (第8会場)

共催：株式会社カネカメディックス

司会：山家 敏彦(神奈川工科大学 健康医療科学部臨床工学科)

[これからのCART治療を考える]

S2-1 腹水濾過・濃縮フィルタ「マスキュア」と当院のCART

鈴木 祥仁(すずき よしひと)
新城市民病院 医療技術部 臨床工学課

S2-2 誰にでもできるCARTの最適化を考える ～標準化の確立に向けて～

福原 正史(ふくはら まさし)
公立学校共済組合四国中央病院 医務局 透析センター

企業コラボセッション

4月17日(土) 14:30～16:00 (第4会場)

司会：瀧澤 亜由美(東京女子医科大学 臨床工学部)
松岡 哲平(医療法人社団 大誠会)

[各社が考える透析装置に備え付けるべき機器と危機管理]

CCS-1 弊社が考える危機管理

河村 拓矢(かわい たくや)
ニプロ株式会社

CCS-2 透析治療における危機管理に対する当社の取り組み

伴 拓弥(ばん たくや)
東レ・メディカル株式会社

CCS-3 日機装 Si シリーズのモニタリング機能

村上 智也(むらかみ ともや)
日機装株式会社メディカル事業本部 マーケティング企画室

CCS-4 弊社が考える透析装置の安全機能

野村 光男(のむら みつお)
株式会社ジェイ・エム・エス 血液浄化営業部

企業プレゼンテーション P1

4月18日(日) 12:00～12:30 (第5会場)

共催：ニプロ株式会社

P1 今だからこそ提案したいニプロの新たな遠隔支援保守サービス・DiaXrs

永井 翔(ながい しょう)

ニプロ株式会社 企画開発技術事業部 国内商品開発・技術営業本部 医療器械開発・技術営業部一課

企業プレゼンテーション P2

4月18日(日) 13:10～13:40 (第5会場)

共催：ニプロ株式会社

P2 目指せ！透析室のシステム化で働き方改革を ～ニプロ透析情報管理システム DiaCom iP の運用提案～

浅野 信一(あさの しんいち)

ニプロ株式会社 企画開発技術事業部 医療器械開発・技術営業部

BPA 表彰式

4月17日(土) 17:30～ (第2会場)

閉会式

4月18日(日) 16:00～ (第2会場)

一般演題プログラム

BPA

4月17日(土) 9:00～10:00 (第3会場)

座長：深澤 瑞也(山梨大学医学部附属病院 血液浄化療法部)

柴田 昌典(医療法人光寿会 光寿会リハビリテーション病院)

BPA-1 CART 用装置 (M-CART) による腹水濾過器の自動リークチェック

Automatic leak check of ascites filtration filter by CART dedicated equipment (M-CART)

- 緒方 良輔(おがた りょうすけ)¹⁾、佐藤 翔平¹⁾、坂東 直紀¹⁾、小林 誠司¹⁾、大西 芳明¹⁾、
田中 克哉²⁾、宮本 弘志²⁾、高山 哲治²⁾、曾我部 正弘²⁾³⁾、岡久 稔也²⁾³⁾

1) 徳島大学病院 診療支援部 臨床工学技術部門、2) 徳島大学病院 消化器内科、

3) 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 地域総合医療学

- Ogata Ryosuke¹⁾, Sato Shohei¹⁾, Bando Naoki¹⁾, Kobayashi Seiji¹⁾, Ohnishi Yoshiaki¹⁾,
Tanaka Katsuya²⁾, Miyamoto Hiroshi²⁾, Takayama Tetsuji²⁾, Sogabe Masahiro²⁾³⁾, Okahisa Toshiya²⁾³⁾

1) Department of Clinical Engineering, Division of Clinical Technology, Tokushima University Hospital

2) Gastroenterology, Internal medicine, Tokushima University

3) Department of General Medicine and Community Health Science, Institute of Biomedical Sciences, Tokushima University Graduate School

BPA-2 5年間の運動テストと InBody-S10 (S10) 使用での体液量測定からの一考察

Consideration from 5 years of exercise test and measurement of body fluid volume using InBody-S10[®] (S10)

- 上野 幸司(うえの こうし)¹⁾、河西 由香里¹⁾、大山 彩香¹⁾、菊地 孝典¹⁾、白石 武¹⁾、吉村 章¹⁾、
齋藤 孝子¹⁾、井上 真²⁾、齋藤 修²⁾、長田 太助²⁾

1) 医療法人社団弘会 かわしま内科クリニック、2) 自治医科大学 腎臓内科

- Ueno Koshi¹⁾, Kasai Yukari¹⁾, Oyama Ayaka¹⁾, Kikuchi Takahiro¹⁾, Shiraishi Takeshi¹⁾,
Yoshimura Akio¹⁾, Saito Takako¹⁾, Inoue Makoto²⁾, Saito Osamu²⁾, Nagata Daisuke²⁾

1) Kawashima Medical Clinic

2) Division of Nephrology, Department of Internal Medicine, Jichi Medical University

BPA-3 Rest Pause を付加した前希釈オンライン HDF は治療中の血圧を安定させる

Pre dilution on-line HDF with rest pause stabilizes blood pressure during treatment

- 五十嵐 一生(いがらし かずなり)¹⁾、中山 恭子²⁾、小池 錬¹⁾、池田 奈摘¹⁾、白崎 康之¹⁾、
舟生 広幸¹⁾、大場 奈津美¹⁾、宮下 智¹⁾、青塚 美貴¹⁾、本間 修¹⁾

1) 医療法人健友会 本間なかまちクリニック 透析センター、2) 医療法人健友会 本間病院 腎臓内科

- Igarashi Kazunari¹⁾, Nakayama Kyoko²⁾, Koike Ren¹⁾, Ikeda Natsumi¹⁾, Shirasaki Yasuyuki¹⁾,
Hunyu Hiroyuki¹⁾, Oba Natsumi¹⁾, Miyashita Satoshi¹⁾, Aotsuka Miki¹⁾, Honma Syu¹⁾

1) Department of Hemodialysis center, Honma nakamachi clinic

2) Department of Internal medicine, Nephrology, Honma hospital

BPA-4 携帯型近赤外線組織酸素モニタを用いた透析中における前頭葉組織酸素飽和度の測定

Measurement of regional oxygen saturation in the frontal lobe during dialysis using a portable near-infrared tissue oxygen monitor

- 竹田 優希(たけだ ゆうき)、鈴木 尚紀、武内 崇、仲村 悠、延命寺 俊哉、人見 泰正
特定医療法人 桃仁会病院 臨床工学部

- Takeda Yuki, Suzuki Naoki, Takeuchi Takashi, Nakamura Yu, Emmeiji Toshiya, Hitomi Yasumasa
The Clinical Engineering Department in Tojinkai Hospital

BPA-5 透析回路静脈圧波形の傾斜 (Pressure Waveform slope) を用いた抜針検知法の考案
Detection of Venous Needle Dislodgment based on the Slope of Venous Pressure Waveform in Hemodialysis Circuit

○小野 淳一(おの じゅんいち)¹⁾²⁾、小笠原 康夫¹⁾

1)川崎医療福祉大学 医療技術学部 臨床工学科、2)川崎医科大学附属病院 ME センター

○Ono Junichi¹⁾²⁾, Ogasawara Yasuo¹⁾

1) Department of Medical Engineering, Kawasaki University of Medical Welfare

2) Medical Engineering Center, Kawasaki Medical School Hospital

BPA-6 大量濾過前置換 On-line HDF・後置換 On-line HDF・HD のアミノ酸漏出の検討
A study of amino acid leakage in high-volume pre-dilution on-line HDF/post-dilution on-line HDF/hemodialysis (HD)

○加藤 基子(かとう もとこ)¹⁾、浦辺 俊一郎¹⁾、深澤 桃子¹⁾、松沢 翔平¹⁾、栗井 阿佐美¹⁾、
兵藤 透¹⁾、北村 真²⁾、飛田 美穂²⁾、倉田 康久²⁾、小久保 謙一³⁾

1)医療法人財団倉田会 えいじんクリニック、2)医療法人財団倉田会 くらた病院、3)北里大学 医療衛生学部

○Kato Motoko¹⁾, Urabe Shunichiro¹⁾, Fukazawa Momoko¹⁾, Matsuzawa Shohei¹⁾, Kurii Asami¹⁾,
Hyodo Toru¹⁾, Kitamura Makoto²⁾, Hida Miho²⁾, Kurata Yasuhisa²⁾, Kokubo Kenichi³⁾

1) Eijin Clinic

2) Kurata Hospital

3) Kitasato University School of Allied Health Sciences

一般演題1 [VA-1]

4月17日(土) 9:00~9:50 (第6会場)

座長：人見 泰正(特定医療法人 桃仁会病院 臨床工学科)
藤谷 晃(県立広島病院 臨床工学科)

O1-1 当院におけるエコー下穿刺時の針選択に関する検証
Study on needle lengths for echo-guided cannulation at our hemodialysis clinic

○木谷 博之(きたに ひろゆき)¹⁾、昌木 秀介¹⁾、中村 直正²⁾、齋藤 智子²⁾、錦郡 司¹⁾、本丸 忠生³⁾、
加藤 曜子⁴⁾、内藤 隆之⁴⁾

1)医療法人一陽会 横川クリニック 血液浄化部、2)医療法人一陽会 横川クリニック 看護部、

3)医療法人一陽会 原田病院 血液浄化部、4)医療法人一陽会 横川クリニック 医局

○Kitani Hiroyuki¹⁾, Masaki Syusuke¹⁾, Nakamura Naomasa²⁾, Saitoh Tomoko²⁾, Nishikigohri Tukasa¹⁾,
Honmaru Tadao³⁾, Katoh youko⁴⁾, Naitoh Takayuki⁴⁾

1) Department of Blood Purification Medical Corporation Ichiyokai Yokogawa Clinic

2) Department of Nursing Medical Corporation Ichiyokai Yokogawa Clinic

3) Department of Blood Purification Medical Corporation Ichiyokai Harada Hospital

4) Department of Medical Office Medical Corporation Ichiyokai Yokogawa Clinic

O1-2 エコーガイド下穿刺におけるニプロ社製 IP エコーの使用経験について
Clinical usability of NIPRO-IP echogram in echo-guided shunt puncture for patients with hemodialysis

○前田 哲典(まえだ てつなり)、坊 勇佑、藤井 裕也、山口 朗誉、堀江 雄世、黒崎 竜太、水野 勝成、
奥田 理恵、橋本 昌美

医療法人永元会 はしもとじんクリニック

○Maeda Tetsunori, Bou Yuusuke, Fujii Yuuya, Yamaguchi Akitaka, Horie Yuusei, Kurosaki Ryuuta,
Mizuno Katsunari, Okuda Rie, Hashimoto Masami

Medical corporation Eigenkai Hasimotojin clinic

O1-3 VAの長期開存を目指して —エコー下穿刺の有用性—

Aiming for the long-term existence of vascular access—Usefulness of US
—guided vessel puncture—

- 下池 英明(しもいけ えいめい)、花田 真一、乙藤 徳人、長嶺 裕介、平山 遼一、筋田 剛、藤田 晃弘、真崎 優樹
医療法人 高橋内科クリニック

- Shimoike Eimei, Hanada Shinichi, Otofujii Norihito, Nagamine Yusuke, Hirayama Ryoichi, Sujita Tsuyoshi, Fujita Akihiro, Masaki Yuki
Medical corporation Takahashi Internal Medicine Clinic

O1-4 VAの長期開存を目指して —VAIVT 第一での治療成績—

Aiming at long-term vascular access patency : Treatment results primarily using vascular access intervention therapy

- 下池 英明(しもいけ えいめい)、花田 真一、乙藤 徳人、長嶺 裕介、平山 遼一、筋田 剛、藤田 晃弘、真崎 優樹
医療法人 高橋内科クリニック

- Shimoike Eimei, Hanada Shinichi, Otofujii Norihito, Nagamine Yusuke, Hirayama Ryoichi, Sujita Tsuyoshi, Fujita Akihiro, Masaki Yuki
Medical corporation Takahashi Internal Medicine Clinic

O1-5 形態評価を治療に繋げるために ～治療戦略の検討～

Linking up Morphological Assessment with Treatment –A Evaluation of Strategic Medical Treatment

- 乙藤 徳人(おとふじ のりひと)
医療法人 高橋内科クリニック

- Otofujii Norihito
Medical corporation Takahashi Internal Medicine Clinic

一般演題2 [災害対策-1]

4月17日(日) 10:40～11:30 (第6会場)

座長：氏家 憲一(公益財団法人 星総合病院)
松田 卓也(医療法人 仁栄会 島津病院 臨床工学室)

O2-1 台風15号被害における当院の対応と問題点

Responses and problems associated with Typhoon No. 15 damage

- 須鎌 香里(すがま かおり)、土屋 智一、原 隆雄、森 信洋、関根 広介
亀田総合病院

- Sugama Kaori, Tuchiya Tomokazu, Hara Takao, Mori Nobuhiro, Sekine Kosuke
Kameda Medical Center

O2-2 令和元年台風15号における他院透析患者受け入れの経験と今後の課題

Experience of receiving hemodialysis patients from other hospitals after Typhoon No. 15 in 2019 and future issues

- 古屋 淳子(ふるや じゅんこ)、高梨 有史、阿部 拓馬、高岡 伸次
聖隷佐倉市民病院

- Furuya Junko, Takanashi Yuuji, Abe Takuma, Takaoka Shinji
Seirei Sakura Citizen Hospital

O2-3 災害時における施設間災害用緊急時データ共有システムの構築

Construction of a system for emergency sharing of data among facilities during disasters

- 川上 大(かわかみ ひろし)¹⁾、岡本 和成¹⁾、鬼頭 伸幸¹⁾、尾関 佑介¹⁾、内山 春奈¹⁾、
金田一 彰洋¹⁾、森實 篤司¹⁾、太田 圭洋²⁾、小川 洋史²⁾

1) 社会医療法人 名古屋記念財団 新生会第一病院 臨床工学部、
2) 社会医療法人 名古屋記念財団 新生会第一病院 内科

- Kawakami Hiroshi¹⁾, Okamoto Kazunari¹⁾, Kitou Nobuyuki¹⁾, Ozeki Yuusuke¹⁾, Uchiyama Haruna¹⁾,
Kindaichi Akihiro¹⁾, Morizane Atushi¹⁾, Oota Yoshihiro²⁾, Ogawa Hiroshi²⁾

1) Nagoya Memorial Foundation, Department of Clinical Engineering, Shinseikai Daiichi Hospital
2) Nagoya Memorial Foundation, Department of Internal Medicine, Shinseikai Daiichi Hospital

O2-4 災害を考慮した透析施設の設計

Dialysis facility design considering disaster situations

- 虫賀 督幸(むしが まさゆき)¹⁾、伊藤 拓也¹⁾、砂野 裕美¹⁾、藤川 淳子¹⁾、加藤 碧¹⁾、
佐藤 眞由美¹⁾、田島 智之¹⁾、上野 彰之¹⁾、田岡 正宏²⁾、佐藤 隆¹⁾

1) 医療法人偕行会 偕行会セントラルクリニック、2) 医療法人偕行会 名港共立クリニック

- Mushiga Masayuki¹⁾, Ito Takuya¹⁾, Isano Hiromi¹⁾, Fujikawa Junko¹⁾, Kato Midori¹⁾, Sato Mayumi¹⁾,
Tajima Tomoyuki¹⁾, Ueno Akiyuki¹⁾, Taoka Masahiro²⁾, Sato Takashi¹⁾

1) Kaikoukai Central Clinic
2) Meikou kyouritu Clinic

O2-5 オーバーナイト透析患者を交えた災害図上訓練の実施と今後の展望

The future and implementation of disaster map training with overnight dialysis patients

- 古賀 幸雄(こが さちお)

医療法人幸善会 前田病院

- Koga Sachio

Medical Corporation Kouzenkai Maeda Hospital

一般演題3 [災害対策 - 2]

4月17日土 13:20~14:10 (第6会場)

座長：中村 寛(医療法人社団順江会 江東病院)
西村 典史(医療法人如水会 嘉島クリニック)

O3-1 災害時透析医療確保に関する施設調査結果

Survey results of facilities on securing dialysis medical care in the event of a disaster

- 重松 武史(しげまつ たけし)、岸本 佳久、秋山 茂雄、三井 友成、森上 辰哉

兵庫県臨床工学技士会 災害対策委員会

- Shigematsu Takeshi, Kishimoto Yoshihisa, Akiyama Shigeo, Mitsui Tomonari, Morigami Tatsuya

Hyogo Association of Clinical Engineering Technologists

O3-2 災害時透析医療リエゾンの配置とその活動経過

Arrangement of dialysis medical liaison during disaster and progress of its activities

- 森上 辰哉(もりがみ たつや)¹⁾、秋山 茂雄¹⁾、岸本 佳久¹⁾、三井 友成¹⁾、重松 武史¹⁾、
赤塚 東司雄²⁾

1) 兵庫県臨床工学技士会、2) 兵庫県透析医会

- Morigami Tatsuya¹⁾, Akiyama Shigeo¹⁾, Kishimoto Yoshihisa¹⁾, Mitsui Tomoshige¹⁾,
Shigematsu Takeshi¹⁾, Akatsuka Toshio²⁾

1) Hyogo Clinical Engineering Association
2) Hyogo Dialysis Medical Association

O3-3 大阪府臨床工学技士会の役割と今後の展望 ～災害時における透析医療を継続するために～

Osaka Prefecture Clinical Engineering Engineers Association Role and future prospects At the time of disaster To continue dialysis medical care

- 宮野 伸也(みやの しんや)¹⁾²⁾、奥田 重之²⁾、石田 幸広²⁾、今村 雅一²⁾、安浦 孝²⁾、東下 裕保²⁾、安田 栄吉²⁾、荒尾 正²⁾、奥野 竜弥²⁾、田原 一樹²⁾、阿部 靖弘²⁾

1) 社会医療法人同仁会 耳原総合病院、2) 大阪府臨床工学技士会 災害対策推進委員会

- Miyano Shinya¹⁾²⁾, Okuda Shigeyuki²⁾, Ishida Yukihiko²⁾, Imamura Masakazu²⁾, Yasuura Takashi²⁾, Hiagashishita Hiroyasu²⁾, Yasuda Eikichi²⁾, Arai Tadashi²⁾, Okuno Tatsuya²⁾, Tahara Kazuki²⁾, Abe Yasuhiro²⁾

1) Mimihara General Hospital

2) Osaka Prefecture Clinical Engineering Engineers Association Disaster Countermeasures Promotion Committee

O3-4 防災意識改革を目指した当院の取り組み ～ commander を動かす図上訓練～

Activities of our hospital aimed at raising awareness about disaster prevention: Tabletop exercises to move the commander

- 藤井 功(ふじい いさお)、宮本 智彦、細谷 陽子、本藤 秀樹、水口 潤

社会医療法人 川島会 川島病院

- Fujii Isao, Miyamoto Tomohiko, Hosotani Yoko, Hondou Hideki, Minakuchi Jun

Kawashima Hospital

O3-5 本学血液浄化療法部における災害対策訓練の現状と課題

Current status and issues of natural disaster measures in the hemopurification center of our hospital

- 山本 裕子(やまもと ひろこ)¹⁾、保科 欄²⁾、関口 真紀²⁾、諏訪辺 久子²⁾、岩田 詩紋¹⁾、干川 祐樹¹⁾、桜沢 貴俊¹⁾、板垣 紋子¹⁾、大久保 淳¹⁾³⁾、岡戸 丈和³⁾

1) 東京医科歯科大学 医学部附属病院 ME センター、2) 東京医科歯科大学 医学部附属病院 看護部、

3) 東京医科歯科大学 医学部附属病院 血液浄化療法部

- Yamamoto Hiroko¹⁾, Hoshina Ran²⁾, Sekiguchi Maki²⁾, Suwabe Hisako²⁾, Iwata Shimon¹⁾, Hoshikawa Yuki¹⁾, Sakurasawa Takatoshi¹⁾, Itagaki Ayakao¹⁾, Okubo Atsushi¹⁾³⁾, Okado Tomokazu³⁾

1) Medical Engineering Center, Medical Hospital of Tokyo Medical and Dental University

2) Department of Nursing, Medical Hospital of Tokyo Medical and Dental University

3) Hemopurification Center, Medical Hospital of Tokyo Medical and Dental University

一般演題4 [VA-2]

4月17日土 15:00～15:50 (第6会場)

座長：南 伸治(医療法人社団 日翔会 生野愛和透析クリニック)

豊田 昌充(医療法人 中央内科クリニック)

O4-1 VA マップを用いた穿刺改善への取り組み

A trial to improve cannulation technique by vascular access mapping

- 谷口 正顕(たにくち まさあき)

医療法人社団 みめぐみ会 サンククリニック

- Taniguchi Masaaki

Sunclinic

O4-2 透析室におけるエコー機器の使い分け
～ノート型エコーとハンディ型エコーの検討より～
Differentiation of use of ultrasonic equipment in dialysis chamber

○平山 遼一(ひらやま りょういち)、花田 真一、長嶺 裕介、乙藤 徳人、藤田 晃弘、真崎 優樹、
下池 英明

医療法人 高橋内科クリニック

○Hirayama Ryoichi, Hanada Shinichi, Nagamine Yusuke, Otofujii Norihito, Fujita Akihiro,
Masaki Yuki, Shimoike Eimei

Medical corporation Takahashi Internal Medicine Clinic

O4-3 エコーガイド下穿刺不成功症例の検討
Consideration of US-guided vessel puncture in unsuccessful cases

○平山 遼一(ひらやま りょういち)、花田 真一、長嶺 裕介、乙藤 徳人、藤田 晃弘、真崎 優樹、
下池 英明

医療法人 高橋内科クリニック

○Hirayama Ryoichi, Hanada Shinichi, Nagamine Yusuke, Otofujii Norihito, Fujita Akihiro,
Masaki Yuki, Shimoike Eimei

Medical corporation Takahashi Internal Medicine Clinic

O4-4 VA エコー導入における当院のVA管理
Vascular access management at our hospital after introduction of vascular access
ultrasonography

○長松 剛史(ながまつ たけし)、半田 浩子、伊藤 佳苗、宮川 文里、堀田 佳芳子、河崎 由希乃、
吉本 則子、朝枝 正江、原 和子、片山 恵之

医療法人 片山クリニック

○Nagamatsu Takeshi, Handa Hiroko, Ito Kanae, Miyakawa Yasunori, Horita Kayoko, Kawasaki Yukino,
Yosimoto Noriko, Asaeda Masae, Hara Kazuko, Katayama Sigeyuki

Medical corporation katayama clinic

O4-5 バスキュラーアクセス(VA)トラブルにおける対処方法の検討
Examination of coping method for vascular access trouble

○内海 展子(うちうみ のぶこ)、佐久間 宏治、川鍋 雄司、石塚 俊治、佐藤 純彦

医療法人社団クレド さとうクリニック

○Uchiumi Nobuko, Sakuma Koji, Kawanabe Yuji, Isizuka Toshiharu, Sato Sumihiko

Credo Sato Clinic

一般演題5 [治療条件・設定]

4月17日(日) 16:40～17:30 (第6会場)

座長：森實 篤司(社会医療法人名古屋記念財団 新生会第一病院 臨床工学部)

森 拓人(公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 臨床工学部)

O5-1 終末期血液透析患者の最終透析日までの経過・透析条件・実測データの関連
Relationships between progress, dialysis conditions, and actual measurement data until final
dialysis date in terminal hemodialysis patients

○前田 直樹(まえだ なおき)¹⁾、木村 淳¹⁾、立川 洋平¹⁾、船本 千恵²⁾、篠原 謙太³⁾

1) 安芸市民病院 診療技術課、2) 安芸市民病院 看護部、3) 土谷総合病院 看護部

○Maeda Naoki¹⁾, Kimura Atusi¹⁾, Tatekawa Yohei¹⁾, Funamoto Chie²⁾, Shinohara Kenta³⁾

1) Aki Hospital

2) nursing department

3) Tsuchiya general hospital nursing department

05-2 東レ社製 NV シリーズのダイアライザーから他社製の PS 系膜に変更して起きたアレルギーショックの1症例

A case of allergic shock caused by switching from a NV series dialyzer to a PS made by another company

○木村 絵美(きむら えみ)¹⁾、深堀 祥子¹⁾、金井 克好¹⁾、青木 理香¹⁾、小林 和正¹⁾、高柴 國治¹⁾、渡辺 誠²⁾

1) 社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 CE 部、2) 社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 腎臓内科

○Kimura Emi¹⁾, Fukahori Sachiko¹⁾, Kanai Katuyoshi¹⁾, Aoki Rika¹⁾, Kobayashi Kazumasa¹⁾, Takashiba Kuniharu¹⁾, Watanabe Makoto²⁾

1) Makita General Hospital

2) Makita General Hospital Kidney medicine

05-3 透析液流量変更による Kt/V と透析液使用量の検討

Consideration on Kt/V and dialysis fluid usage with a flow rate change of the dialysis fluid

○中澤 貴広(なかざわ たかひろ)¹⁾、細川 和宣¹⁾、山本 加奈¹⁾、濱田 あすか¹⁾、仙頭 正人¹⁾、大田 和道²⁾

1) 医療法人尚腎会 高知高須病院 臨床工学部、2) 医療法人尚腎会 高知高須病院 泌尿器科

○Nakazawa Takahiro¹⁾, Hosokawa Kazunori¹⁾, Yamamoto Kana¹⁾, Hamada Asuka¹⁾, Sentou Masato¹⁾, Ota Kazumiti²⁾

1) Syoujinkai Medical Corporation Kochi Takasu Hospital Faculty of Clinical Engineering

2) Syoujinkai Medical Corporation Kochi Takasu Hospital Urology

05-4 HES 製剤がアルブミン低下症例のブラッドボリュームに与える影響について

The effect of hydroxyethyl starch (HES) on the blood volume in patients with decreased serum albumin levels

○小川 晋平(おがわ しんぺい)¹⁾、水田 星矢¹⁾、濱田 あすか¹⁾、仙頭 正人¹⁾、大田 和道²⁾

1) 医療法人尚腎会 高知高須病院 臨床工学部、2) 医療法人尚腎会 高知高須病院 泌尿器科

○Ogawa Shimpei¹⁾, Mizuta Seiya¹⁾, Hamada Asuka¹⁾, Sentou Masato¹⁾, Ota Kazumiti²⁾

1) Syoujinkai Medical Corporation Kochi Takasu Hospital Faculty of Clinical Engineering

2) Syoujinkai Medical Corporation Kochi Takasu Hospital Urology

05-5 前希釈オンライン HDF の治療開始 60 分間を低血流量にすると治療中の血圧変動が小さくなる

Low blood flow for the first 60 minutes of pre dilution on-line HDF reduces blood pressure variability during treatment

○五十嵐 一生(いがらし かずなり)¹⁾、中山 恭子²⁾、小池 錬¹⁾、石垣 開¹⁾、加藤 恵理奈¹⁾、今野 忍¹⁾、斎藤 稔也¹⁾、岡崎 一樹¹⁾、青塚 美貴¹⁾、本間 修¹⁾

1) 医療法人健友会 本間なかもちクリニック 透析センター、2) 医療法人健友会 本間病院 腎臓内科

○Igarashi Kazunari¹⁾, Nakayama Kyoko²⁾, Koike Ren¹⁾, Ishigaki Kai¹⁾, Kato Erina¹⁾, Konno Shinobu¹⁾, Saito Toshiya¹⁾, Okazaki Kazuki¹⁾, Aotsuka Miki¹⁾, Honma Syu¹⁾

1) Department of Hemodialysis center, Honma nakamachi clinic

2) Department of Internal medicine, Nephrology, Honma hospital

座長：神戸 幸司(小牧市民病院 臨床工学科)
北原 大(昭和大学横浜市北部病院 臨床工学室)

O6-1 Hot shot I-HDF の血圧上昇効果の考察

Consideration of the hypertensive effect of hot shot intermittent infusion hemodiafiltration

○岩尾 昌之(いわお まさゆき)

さかいクリニック

○Iwao Masayuki

Sakai clinic

O6-2 ABH-22LA が栄養状態および自覚症状に与える影響についての48週間の検討

48 weeks study of ABH-22LA effects on nutritional status and subjective symptom

○宗美 淳志(そうみ じゅんじ)¹⁾、内田 賢太¹⁾、三原 和樹¹⁾、原田 義規¹⁾、山岡 真治¹⁾、真野 純¹⁾、熊谷 純子²⁾、高橋 直子²⁾

1) 医療法人あかね会 大町土谷クリニック 透析室、2) 医療法人あかね会 大町土谷クリニック 内科

○Soumi Junji¹⁾, Uchida Kenta¹⁾, Mihara Kazuki¹⁾, Harada Yoshiki¹⁾, Yamaoka Shinji¹⁾, Mano Jun¹⁾, Kumagai Junko²⁾, Takahashi Naoko²⁾

1) akane-foundation omachitsuchiya clinic

2) akane-foundation omachitsuchiya clinic

O6-3 オンライン HDF の尿量維持効果

Maintenance effect of urine volume for hemodiafiltration

○佐藤 眞由美(さとう まゆみ)¹⁾、加藤 碧¹⁾、虫賀 督幸¹⁾、田島 智之¹⁾、上野 彰之¹⁾、田岡 正宏²⁾、佐藤 隆¹⁾

1) 医療法人偕行会 偕行会セントラルクリニック、2) 医療法人偕行会 名港共立クリニック

○Satou Mayumi¹⁾, Katou Midori¹⁾, Musiga Masayuki¹⁾, Tajima Tomoyuki¹⁾, Ueno Akiyuki¹⁾, Taoka Masahiro²⁾, Satou Takashi¹⁾

1) Medical corporation Kaikoukai Central Clinic

2) Medical corporation Kaikoukai Meikoukyouritu Clinic

O6-4 Polyflux-H は I-HDF に適したヘモダイアフィルタである

The hemodiafilter Polyflux-H is suitable for intermittent infusion hemodiafiltration

○齋藤 慎(さいとう まこと)¹⁾²⁾、神宮 宏臣¹⁾、大山 裕亮²⁾、田中 俊之²⁾、塩野 昭彦²⁾

1) 公立富岡総合病院 臨床工学科、2) 公立富岡総合病院 泌尿器科

○Saito Makoto¹⁾²⁾, Jingu Hiroomi¹⁾, Oyama Yusuke²⁾, Tanaka Toshiyuki²⁾, Shiono Akihiko²⁾

1) Public Tomioka General Hospital Departments of Clinical Engineering

2) Public Tomioka General Hospital Departments of Urology

座長：江間 信吾(浜松医科大学附属病院 血液浄化療法部)
藤井 彩(順天堂大学医学部付属練馬病院 臨床工学室)

07-1 当院における遠心分離血漿交換療法の経験と膜分離血漿交換との比較

Clinical experience with centrifuge therapeutic plasma exchange compared to that with membrane therapeutic plasma exchange

- 鶴田 友加里(つるた ゆかり)¹⁾、河野 圭志²⁾、加藤 博史¹⁾、藤田 耕平¹⁾、石原 宗太郎¹⁾、
佐伯 早耶香¹⁾、矢野 博子¹⁾、西川 諒¹⁾、鷹野 弘典¹⁾、西 慎一²⁾

1) 神戸大学医学部附属病院 医療技術部臨床工学部門、2) 神戸大学医学部 腎臓内科

- Tsuruta Yukari¹⁾, Kono Keiji²⁾, Kato Hiroshi¹⁾, Fujita Kohei¹⁾, Ishihara Sotaro¹⁾, Saiki Sayaka¹⁾,
Yano Hiroko¹⁾, Nishikawa Ryo¹⁾, Takano Hironori¹⁾, Nishi Shinichi²⁾

1) Kobe University Hospital Department of Clinical Engineering

2) Kobe University Hospital Division of Nephrology

07-2 CART 専用血液浄化装置 Plasauto μ の使用評価

Evaluation of CART Blood Purification System, Plasauto μ

- 柿本 苗世(かきもと みつよ)¹⁾、源 早紀²⁾、時任 義臣¹⁾、岩本 ひとみ³⁾、古賀 伸彦⁴⁾

1) 社会医療法人天神会 新古賀クリニック 臨床工学課、2) 古賀病院21 臨床工学課、3) 新古賀病院、
4) 新古賀病院 循環器内科

- Kakimoto Mitsuyo¹⁾, Minamoto Saki²⁾, Tokitou Yoshiomi¹⁾, Iwamoto Hitomi³⁾, Koga Nobuhiko⁴⁾

1) Social Medical Corporation tenjinkai shinkogaclinic Department of Medical Engineering

2) Koga Hospital21 Department of Medical Engineering

3) Shinkoga Hospital

4) Shinkoga Hospital Cardiology

07-3 CART 用チューブホルダー型回路セットの開発と視線解析による評価

Development of tube holder-type circuit set for CART and its evaluation by new lines analysis

- 佐藤 翔平(さとう しょうへい)¹⁾、緒方 良輔¹⁾、坂東 直紀¹⁾、大西 芳明¹⁾、田中 克哉¹⁾、友成 哲²⁾、
宮本 弘志²⁾、高山 哲治²⁾、曾我部 正弘²⁾³⁾、岡久 稔也²⁾³⁾

1) 徳島大学病院 医療技術部 臨床工学技術部門、2) 徳島大学病院 消化器内科、

3) 徳島大学大学院医歯薬学研究部 地域総合医療学

- Sato Shohei¹⁾, Ogata Ryosuke¹⁾, Bando Naoki¹⁾, Onishi Yoshiaki¹⁾, Tanaka Katsuya¹⁾,
Tomonari Tetsu²⁾, Miyamoto Hiroshi²⁾, Takayama Tetsuji²⁾, Sogabe Masahiro²⁾³⁾, Okahisa Toshiya²⁾³⁾

1) Department of Clinical Engineering, Division of Clinical Technology, Tokushima University Hospital,

2) Gastroenterology, Internal medicine, Tokushima University Hospital

3) Department of General Medicine and Community Health Science, Institute of Biomedical Sciences, Tokushima University Graduate School

07-4 ABO 不適合生体腎移植の減感作療法にて

PE と DFPP を併用した症例についての検討

Study of plasma exchange in combination with double-filtration plasmapheresis for desensitization therapy in ABO-incompatible living-donor kidney transplantation

- 藤谷 晃(ふじたに あきら)¹⁾、札幌 保宏²⁾、石本 達郎²⁾

1) 県立広島病院 臨床工学科、2) 県立広島病院 移植外科

- Fujitani Akira¹⁾, Fudaba Yasuhiro²⁾, Ishimoto Tatsurou²⁾

1) Hiroshima Prefectural Hospital Department of Clinical Engineering

2) Hiroshima Prefectural Hospital Transplant surgery

07-5 ANCA 関連血管炎に対し施行したアフェレシス療法の経験

Experience of apheresis therapy for ANCA-related vasculitis

○齊藤 徳(さいとう あつし)、高根 麻央、真下 泰

JCHO 札幌北辰病院 ME 部

○Saito Atsushi, Takane Mao, Makka Yasushi

JCHO Sapporo Hokushin Hospital

一般演題8 [HDF & IHDF-2]

4月17日(日) 14:10~15:00 (第7会場)

座長：星野 武俊(明理会中央総合病院 臨床工学科)

長岡 高広(医療法人 さとに田園クリニック)

08-1 OHDF にて予期せぬ低分子蛋白大量漏出を経験した症例

A case of unpredictable leak of low molecular weight protein during OHDF

○岩田 康伸(いわた やすのぶ)¹⁾、橋本 春那¹⁾、石川 尚輝¹⁾、川原 勁介¹⁾、平井 沙季¹⁾、
山崎 さおり¹⁾、松原 啓介²⁾

1) KKR 高松病院 血液浄化センター、2) KKR 高松病院 腎臓内科

○Iwata Yasunobu¹⁾, Hashimoto Haruna¹⁾, Ishikawa Naoki¹⁾, Kawahara Kyouzuke¹⁾, Hirai Saki¹⁾,
Yamasaki Saori¹⁾, Matsubara Keisuke²⁾

1) KKR Takamatsu hospital blood purification center

2) KKR Takamatsu hospital Nephrology

08-2 前希釈オンライン血液透析濾過の臨床効果と中分子量物質除去特性

Clinical efficacy and medium molecular weight removal characteristics of prediluted online hemodiafiltration

○山下 翔(やました しょう)、田中 悠作、道脇 宏行、田尾 知浩、岡田 一義、水口 潤

社会医療法人川島会 川島病院

○Yamashita Sho, Tanaka Yusaku, Mitawaki Hiroyuki, Tao Tomohiro, Okada Kazuyoshi, Minaguti Jun

Social Medical Corporation Kawashimakai Kawashima Hospital

08-3 日機装社製 DCS-200Si の間歇補充型血液透析濾過プログラムと

BVplus についての検討

Examination of Nikkiso DCS-200Si intermittent Infusion hemodiafiltration program and BVplus

○小町 敏弘(こまち としひろ)、南出 仁、木村 健児、古橋 諭司、斎藤 寛太、横山 郁真、楠瀬 由佳、
影原 彰人、矢野 清崇、佐藤 幹生

医療法人社団ふけ会 富家千葉病院

○Komachi Toshihiro, Minamide Hitoshi, Kimura Kenji, Furuhashi Satoshi, Saitou Kanta,
Yokoyama Ikuma, Kusunose Yuka, Kagehara Akihito, Yano Kiyotaka, Satou Mikio

Medical corporation Fuke association Fukechiba Hospital

08-4 I-HDF が循環動態に与える影響について

Effects of I-HDF on circulatory dynamics

- 伊藤 靖(いとう やすし)¹⁾、福井 滉人¹⁾、田代 健策¹⁾、北口 雅敏¹⁾、小熊 博康²⁾、浅井 寿教³⁾、森實 篤司⁴⁾、木村 友佳理⁵⁾、高山 公洋⁵⁾、杉山 敏⁵⁾

- 1) 社会医療法人名古屋記念財団 金山クリニック 臨床工学部、
- 2) 社会医療法人名古屋記念財団 平針記念クリニック 臨床工学部、
- 3) 社会医療法人名古屋記念財団 鳴海クリニック 臨床工学部、
- 4) 社会医療法人名古屋記念財団 新生会第一病院 臨床工学部、
- 5) 社会医療法人名古屋記念財団 金山クリニック 内科

- Ito Yasushi¹⁾, Fukui Hiroto¹⁾, Tashiro Kensaku¹⁾, Kitaguchi Masatoshi¹⁾, Oguma Hiroyasu²⁾, Asai Toshinori³⁾, Morizane Atushi⁴⁾, Kimura Yukari⁵⁾, Takayama Kimihiro⁵⁾, Sugiyama Satoshi⁵⁾

- 1) Department of clinical engineering kanayama clinic
- 2) Department of clinical engineering hirabari memorial clinic
- 3) Department of clinical engineering narumi clinic
- 4) Department of clinical engineering shinseikai daiichi hospital
- 5) Department of internal medicine kanayama clinic

08-5 透析時血圧低下に I-HDF (プログラム補液) が有効だった 3 症例

Three cases in which intermittent infusion hemodiafiltration (programmed infusion) was effective for reduced blood pressure during hemodialysis

- 岡田 祐(おかだ ゆう)、前浜 佑太、木村 玲子、日野 直紀、岩藤 知義

医療法人社団尚志会 福山城西病院

- Okada Yu, Maehama Yuta, Kimura Reiko, Hino Naoki, Iwado Tomoyoshi

Medical corporation Shoshikai Fukuyamajosei Hospital

一般演題9 [栄養]

4月17日(土) 15:50~16:40 (第7会場)

座長：佐野 可奈(社会医療法人天神会 野伏間クリニック 臨床工学課)
輪内 敬三(医療法人 JR 広島病院 診療支援部 臨床工学室)

09-1 新規に対するエボカルセトの使用経験

New experienced of using evocalcet

- 嶋村 和敏(しまむら かずとし)

特定医療法人あかね会 阿品土谷病院

- Shimamura Kazutoshi

Azinatuchiya hospital

09-2 当院透析患者の血中カルニチン濃度測定

Measurement of the blood carnitine levels in hemodialysis patients at our hospital

- 松田 卓也(まつだ たくや)、仙波 大英

医療法人仁栄会 島津病院

- Matsuda Takuya, Semba Hirohide

Shimazu Hospital

09-3 透析患者における複合的栄養評価

Composite nutritional assessment of hemodialysis patients

- 小松 晋也(こまつ しんや)、松田 卓也

医療法人仁栄会 島津病院

- Komatsu Shinya, Matsuda Takuya

Shimazu Hospital

O9-4 3年間の患者指導における指導効果
Effect of patient guidance by medical engineers for 3 years

○山崎 さおり (やまさき さおり)

KKR 高松病院 血液浄化センター 臨床工学科

○Yamasaki Saori

KKR Takamatsu Hospital

O9-5 低体重・低栄養透析患者に総合アミノ酸製剤の経口補給と透析量の減量が功を奏した1例
Case study of Amino acid supplementation and reduced hemodialysis dose improved nutrient metabolism in underweight and malnutrition hemodialysis patients

○野口 亜梨沙(のぐち ありさ)¹⁾、神宮 宏臣¹⁾、齋藤 慎¹⁾、大山 裕亮²⁾、田中 俊之²⁾、塩野 昭彦²⁾

1) 公立富岡総合病院 臨床工学科、2) 公立富岡総合病院 泌尿器科

○Noguchi Arisa¹⁾, Jingu Hiroomi¹⁾, Saito Makoto¹⁾, Oyama Yusuke²⁾, Tanaka Toshiyuki²⁾, Shiono Akihiko²⁾

1) Public Tomioka General Hospital Departments of Clinical Engineering

2) Public Tomioka General Hospital Departments of Urology

一般演題 10 [性能評価-1]

4月17日(日) 9:00~10:00 (第8会場)

座長：中井 歩(独立行政法人地域医療機能推進機構 東京山手メディカルセンター 臨床工学部)
仙頭 正人(医療法人尚腎会 高知高須病院)

O10-1 アルブミンの漏出が内部濾過量に及ぼす影響(解析)
Effect of albumin leakage on internal filtration volume (Analysis)

○工藤 哲(くどう さとる)、石原 国彦

徳島文理大学 保健福祉学部 臨床工学科

○Kudo Satoru, Ishihara Kunihiko

Tokushima Bunri University Department of Clinical Engineering

O10-2 臨床工学技士が腎代替療法選択のための情報提供を行う意義
Significance of providing information for selection of renal replacement therapy by clinical engineers

○阿部 政利(あべ まさとし)¹⁾、山中 昇¹⁾、沓澤 和佳子¹⁾、赤木 翔²⁾、平出 裕紀²⁾、風間 千佳²⁾

1) 医療法人社団 聖医会 池永腎内科クリニック、2) 医療法人社団 聖医会 ことうだ腎クリニック

○Abe Masatoshi¹⁾, Yamanaka Noboru¹⁾, Kutuzawa Wakako¹⁾, Akaki Shou²⁾, Hiraide Hiroki²⁾, Kazama Chika²⁾

1) Ikenagajinnaika clinic

2) Kotoudajin clinic

O10-3 日機装社製血液量モニタとJMS社製クリットラインモニタの比較
BV MONITOR Made in Nikkiso Company and Comparison of CRIT-LINE MONITOR Made in JMS Company

○功力 未夢(くぬぎ みむ)¹⁾、岩崎 良太¹⁾、佐川 竜馬¹⁾、高梨 隼一¹⁾、齋藤 拓郎¹⁾、岡本 裕美¹⁾、別所 郁夫¹⁾、小竹 良文²⁾、林 俊秀³⁾、常喜 信彦³⁾

1) 東邦大学医療センター大橋病院 臨床工学部、2) 東邦大学医療センター大橋病院 麻酔科、

3) 東邦大学医療センター大橋病院 腎臓内科

○Kunugi Mimu¹⁾, Iwasaki Ryouta¹⁾, Sagawa Ryouma¹⁾, Takanashi Syunnichi¹⁾, Saito Takuro¹⁾, Okamoto Hiromi¹⁾, Bessho Ikuo¹⁾, Kotake Yoshifumi²⁾, Hayashi Toshihide³⁾, Joki Nobuhiko³⁾

1) Toho University Ohashi Medical Center clinical engineering department

2) Toho University Ohashi Medical Center Anesthesia department

3) Toho University Ohashi Medical Center Division of Nephrology

O10-4 NF-U は高齢者の栄養状態を改善する

NF-U improve the nutritional status of the elderly

○千田 哲郎(ちだ てつろう)¹⁾、五十嵐 洋行¹⁾、政金 生人²⁾

1) 医療法人清永会 天童温泉矢吹クリニック 臨床工学部、2) 矢吹病院 内科

○Chida Tetsuro¹⁾, Igarashi Hiroyuki¹⁾, Masakane Ikuto²⁾

1) tendo onsen Yabuki clinic

2) Yabuki hospital

O10-5 Urea reduction rate (URR) と clear space rate (CSR) についての理論的考察

Theoretical consideration for urea reduction rate and clear space rate in hemodialysis

○坂下 恵一郎(さかした けいいちろう)

透析医療・技術研究所

○Sakashita Keiichiro

Laboratory of Dialysis Medical Care and Technology

O10-6 Clear space rate (CSR) と urea reduction rate (URR) についての臨床的考察

Clinical consideration for clear space rate and urea reduction rate in hemodialysis

○坂下 恵一郎(さかした けいいちろう)

透析医療・技術研究所

○Sakashita Keiichiro

Laboratory of Dialysis Medical Care and Technology

一般演題 11 [災害・医療安全]

4月17日(日) 15:00～15:50 (第8会場)

座長：小俣 利幸 (JA 神奈川県厚生連 相模原協同病院 臨床工学室)

中下 清文 (独立行政法人 国立病院機構 東広島医療センター)

O11-1 井水処理装置を導入して ～熊本地震から学んだこと～

Introduction of a well water treatment system

-What we learned from the Kumamoto earthquake-

○橋口 誠一(はしぐち せいいち)¹⁾、前田 哲也¹⁾、西本 幸司¹⁾、石上 洸¹⁾、田島 陽介¹⁾、別府 好則¹⁾、成松 悠士郎¹⁾、水田 哲史¹⁾、梅崎 麗依弥¹⁾、野村 和史²⁾

1) 国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院 臨床工学科、2) 国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院 腎臓内科

○Hashiguchi Seiichi¹⁾, Maeda Tetuya¹⁾, Nishimoto Kouzi¹⁾, Isigami Hiroshi¹⁾, Tashima Yousuke¹⁾, Betupu Yoshinori¹⁾, Narimatu Yushirou¹⁾, Mizuta Satoshi¹⁾, Umesaki Reimi¹⁾, Nomura Kazuhumi²⁾

1) Federation of National Public Service Mutual Aid Associations Kumamoto Central Hospital Department of Clinical Engineering

2) Federation of National Public Service Mutual Aid Associations Kumamoto Central Hospital Nephrology

O11-2 災害アンケートから見た災害対応力の課題

Issues of disaster response capabilities revealed by a disaster questionnaire

○加藤 碧(かとう みどり)¹⁾、伊藤 拓也¹⁾、砂野 裕美¹⁾、藤川 淳子¹⁾、虫賀 督幸¹⁾、佐藤 真由美¹⁾、田島 智之¹⁾、上野 彰之¹⁾、田岡 正宏²⁾、佐藤 隆¹⁾

1) 医療法人偕行会 セントラルクリニック、2) 医療法人偕行会 名港共立クリニック

○Katou Midori¹⁾, Ito Takuya¹⁾, Isano Hiromi¹⁾, Hujikawa Junnko¹⁾, Musiga Tisiyuki¹⁾, Satou Mayumi¹⁾, Tajima Tomoyuki¹⁾, Ueno Akiyuki¹⁾, Taoka Masahiro²⁾, Satou Takasi¹⁾

1) Medical corporation Kaikoukai Central Clinic

2) Medical corporation Kaikoukai Meikoukyouritu Clinic

O11-3 透析センター穿刺業務の医療安全対策

Medical safety measures during puncture procedures at a hemodialysis center

○岸上 敏郎(きしがみ としろう)、福井 将雄

医療法人協和会 第二協立病院

○Kishigami Toshirou, Fukui Masao

Dainikyouritu hospital

O11-4 当院透析室におけるインシデント・アクシデント報告を通じて検討した成果について

Results of utilizing incident reports in our dialysis room

○鈴木 万恭子(すずき まきこ)¹⁾、石森 勇¹⁾、村上 淳¹⁾、酒井 基広¹⁾、花房 規男⁴⁾、寺崎 仁³⁾、市場 晋吾²⁾、土谷 健⁴⁾、新田 孝作⁵⁾

1) 東京女子医科大学 臨床工学部、2) 東京女子医科大学 臨床工学科、3) 東京女子医科大学 医療安全推進科、

4) 東京女子医科大学 血液浄化療法科、5) 東京女子医科大学 腎臓内科

○Suzuki Makiko¹⁾, Ishimori Isamu¹⁾, Murakami Jun¹⁾, Sakai Motohiro¹⁾, Hanahusa Norio⁴⁾, Terasaki Jin³⁾, Itiba Shingo²⁾, Tsuchiya Ken⁴⁾, Nitta Kousaku⁵⁾

1) Tokyo Women's Medical University Department of Clinical Engineering

2) Tokyo Women's Medical University Department of Clinical Engineering

3) Tokyo Women's Medical University Department of Patient Safety manager

4) Tokyo Women's Medical University Department of Blood Purification Therapy

5) Tokyo Women's Medical University Department of Nephrology

O11-5 COVID-19陽性患者に対する血液透析

～タブレット端末を用いた取り組み～

Hemodialysis for COVID-19 positive patients -Tablet initiatives-

○種山 かよ子(たねやま かよこ)¹⁾、日高 敬介¹⁾、藤川 大吾¹⁾、高室 昌司¹⁾、山下 昭二²⁾、守矢 英和³⁾、石岡 邦啓⁴⁾、日高 寿美⁴⁾、小林 修三⁴⁾

1) 医療法人沖繩徳洲会 湘南鎌倉総合病院 臨床工学科、2) 医療法人沖繩徳洲会 湘南鎌倉総合病院 看護部、

3) 医療法人沖繩徳洲会 湘南鎌倉総合病院 総合内科、

4) 医療法人沖繩徳洲会 湘南鎌倉総合病院 腎臓病総合医療センター

○Taneyama Kayoko¹⁾, Hidaka Keisuke¹⁾, Fujikawa Daigo¹⁾, Takamuro Syouji¹⁾, Yamasita Syouji²⁾, Moriya Hidekazu³⁾, Isioka Kunihiro⁴⁾, Hidaka Sumi⁴⁾, Kobayasi Syuuzou⁴⁾

1) Shonan kamakura general hospital department of clinical engineering

2) Shonan kamakura general hospital nursing department

3) Shonan kamakura general hospital comprehensive internal medicine

4) Shonan kamakura general hospital kidney disease and transplant center

座長：荒川 昌洋(地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 臨床工学科 技術科長)
星子 清貴(特定医療法人あかね会 土谷総合病院 診療技術部)

O12-1 新人 CE の教育に対するプリズマフレックスの有用性

The utility of Prisma Flex for the education program of the freshman clinical engineer

○椿野 雄弥(つばきの ゆうや)

紀南病院

○Tsubakino Yuya

Kinan Hospital

O12-2 透析室における、業務と臨床研究の両立と継続のための支援

Maintaining System for balancing and continuing work and clinical research in dialysis rooms

○田口 小百合(たぐち こゆり)、森石 みさき、松田 政二、真島 菜々子、小田 まや、広本 美智子、土谷 晋一郎

特定医療法人あかね会 中島土谷クリニック 透析センター

○Taguchi Koyuri, Moriishi Misaki, Matsuda Seiji, Mashima Nanako, Oda Maya, Hiromoto Michiko, Tsuchiya Sinichirou

Nakajima Tsuchiya Clinic Dialysis Center

O12-3 当院の Network Attached Storage を用いた情報共有システムの構築

Construct an information sharing system using Network Attached storage

○長岡 剛史(ながおか つよし)¹⁾、森石 みさき¹⁾、高橋 秀宜¹⁾、真島 菜々子¹⁾、小田 まや¹⁾、松田 政二¹⁾、西野 佳代²⁾、土谷 晋一郎¹⁾

1) 特定医療法人あかね会 中島土谷クリニック 透析センター、

2) 特定医療法人あかね会 中島土谷クリニック 情報管理部

○Nagaoka Tsuyoshi¹⁾, Moriishi Misaki¹⁾, Takahashi Hidenori¹⁾, Mashima Nanako¹⁾, Oda Maya¹⁾, Matsuda Seiji¹⁾, Nishino Kayo²⁾, Tsuchiya Shinichirou¹⁾

1) Nakajima Tsuchiya Clinic Dialysis Center

2) Nakajima Tsuchiya Clinic Information Management Department

O12-4 ACCESS を用いた CE 業務の効率化

Efficiency of CE work using ACCESS

○黒岩 実(くろいわ みのる)¹⁾²⁾、前田 憲志¹⁾、小澤 裕子²⁾、吉崎 重仁³⁾、中嶋 俊介¹⁾、伊井 友昭¹⁾

1) 医療法人有心会 大幸砂田橋クリニック、2) 医療法人有心会 砂田橋クリニック、

3) 医療法人有心会 大幸砂田橋フランチクリニック

○Kuroiwa Minoru¹⁾²⁾, Maeda Kenji¹⁾, Ozawa Yuuko²⁾, Yoshizaki Sigehito³⁾, Nakashima Syunsuke¹⁾, Ii Tomoaki¹⁾

1) Medical corporation Yuusinn-kai Daikou Sunadabashi Clinic

2) Medical corporation Yuusinn-kai Sunadabashi Clinic

3) Medical corporation Yuusinn-kai Daikou Sunadabashi burannti Clinic

O12-5 写真を用いた CHDF 回路凝固の客観的評価への取り組み

Approaches to objective evaluation of CHDF circuit coagulation using photography

○木村 竜希(きむら りゅうき)¹⁾、鈴木 勘太¹⁾、江間 信吾²⁾、水口 智明¹⁾、中島 芳樹¹⁾、加藤 明彦²⁾

1) 浜松医科大学医学部附属病院 医療機器管理部、2) 浜松医科大学医学部附属病院 血液浄化療法部

○Kimura Ryuki¹⁾, Suzuki Kanta¹⁾, Ema Shingo²⁾, Mizuguchi Toshiaki¹⁾, Nakajima Yoshiki¹⁾, Katou Akihiko²⁾

1) Department of Medical Engineering, Hamamatsu University Hospital

2) Blood Purification Unit

座長：山本 裕子(東京医科歯科大学 医学部附属病院 ME センター)
高根 麻央(JCHO札幌北辰病院 ME部)

O13-1 カンボジア日本友好血液浄化センターのスタッフに対する透析液清浄化に関する教育
Education on dialysate cleansing for staff of Cambodia Japan Friendship Blood Purification Center

○瀧澤 亜由美(たきざわ あゆみ)¹⁾²⁾³⁾、安部 貴之¹⁾²⁾³⁾、小久保 謙一²⁾、兵藤 透³⁾、川西 秀樹³⁾、石森 勇¹⁾、村上 淳¹⁾、峰島 三千男¹⁾、花房 規男¹⁾、土谷 健¹⁾

1) 東京女子医科大学 臨床工学部、2) 日本血液浄化技術学会 国際委員会、
3) NPO 法人いつでもどこでも血液浄化インターナショナル

○Takizawa Ayumi¹⁾²⁾³⁾、Abe Takayuki¹⁾²⁾³⁾、Kokubo Kenichi²⁾、Hyodo Toru³⁾、Kawanishi Hideki³⁾、Ishimori Isamu¹⁾、Murakami Jun¹⁾、Mineshima Michio¹⁾、Hanafusa Norio¹⁾、Tuchiya Ken¹⁾

1) Department of Clinical Engineering, Tokyo Women's Medical University
2) International Committee, Japanese Society for Technology of Blood purification
3) NPO Ubiquitous Blood Purification International

O13-2 ラオスにおける JSTB 国際委員会の活動と展望
Activities and Prospects of JSTB International Committee in Laos

○安部 貴之(あべ たかゆき)¹⁾²⁾³⁾、瀧澤 亜由美¹⁾²⁾³⁾、松原 弘和²⁾³⁾、小久保 謙一²⁾³⁾、兵藤 透³⁾、川西 秀樹³⁾、石森 勇¹⁾、村上 淳¹⁾、新田 孝作⁴⁾、土谷 健⁴⁾

1) 東京女子医科大学 臨床工学部、2) 日本血液浄化技術学会 国際委員会、
3) NGO いつでもどこでも血液浄化インターナショナル、4) 東京女子医科大学 腎臓病総合医療センター

○Abe Takayuki¹⁾²⁾³⁾、Takizawa Ayumi¹⁾²⁾³⁾、Matsubara Hirokazu²⁾³⁾、Kokubo Kenichi²⁾³⁾、Hyodo Toru³⁾、Kawanishi Hideki³⁾、Ishimori Isamu¹⁾、Murakami Jun¹⁾、Nitta Kosaku⁴⁾、Tsuchiya Ken⁴⁾

1) Department of Clinical Engineering, Tokyo Women's Medical University
2) International Committee of the Japanese Society for Technology of Blood purification
3) NGO Ubiquitous Blood Purification International
4) Department of Medicine, Kidney Center, Tokyo Women's Medical University

O13-3 タンザニアにおける血漿交換の技術支援
Technical support for plasma exchange in Tanzania

○種山 かよ子(たねやま かよこ)¹⁾²⁾³⁾⁴⁾、高室 昌司¹⁾、佐藤 勉²⁾、中川 加央里³⁾、日高 寿美⁴⁾、小林 修三⁴⁾

1) 医療法人沖繩徳洲会 湘南鎌倉総合病院 臨床工学科、
2) 医療法人沖繩徳洲会 湘南鎌倉総合病院 臨床検査科、
3) 医療法人沖繩徳洲会 湘南鎌倉総合病院 看護部、
4) 医療法人沖繩徳洲会 湘南鎌倉総合病院 腎臓病総合医療センター

○Taneyama Kayoko¹⁾²⁾³⁾⁴⁾、Takamuro Syouji¹⁾、Satou Tutomu²⁾、Nakagawa Kaori³⁾、Hidaka Sumi⁴⁾、Kobayasi Syuuzou⁴⁾

1) Shonan kamakura general hospital department of clinical engineering
2) Shonan kamakura general hospital clinical laboratory
3) Shonan kamakura general hospital nursing department
4) Shonan kamakura general hospital kidney disease and transplant center

O13-4 当院におけるインドネシア血液透析技術支援事業

Hemodialysis technical support project for Indonesia at our hospital

- 西久保 祐次(にしくほ ゆうじ)¹⁾²⁾、小野 信行²⁾、鈴木 牧子³⁾、中島 正一²⁾、浦部 大策³⁾、東 治道⁴⁾

- 1) 社会医療法人雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンター 臨床工学室、
2) 社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 臨床工学室、3) 社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 国際事業部、
4) 社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 腎臓内科

- Nishikubo Yuji¹⁾²⁾, Ono Nobuyuki²⁾, Suzuki Makiko³⁾, Nakashima Masakazu²⁾, Urabe Taisaku³⁾, Higashi Harumichi⁴⁾

- 1) Department of Clinical Engineering, St. Mary's Healthcare Center
2) Department of Clinical Engineering, St. Mary's Hospital
3) Department of international cooperation, St. Mary's Hospital
4) Department of Nephrology, St. Mary's Hospital

一般演題 14 [急性血液浄化・CART]

4月18日回 8:30~9:30 (第4会場)

座長：小島 萌(東海大学医学部附属大磯病院 診療協力部 臨床工学技術科)
西江 和夫(川崎医科大学総合医療センター MEセンター)

O14-1 CRRT 管理に ACT プロトコルを使用して

Using ACT protocol for CRRT management

- 神原 圭佑(かんばら けいすけ)

医療法人 住友別子病院

- Kambara Keisuke

Sumitomo bessi hospital

O14-2 集中治療領域における持続的血液浄化装置の遠隔監視システム

Remote monitoring system of continuous blood purification in intensive care

- 坂下 浩太(さかした こうた)¹⁾、塚本 功¹⁾、松田 真太郎¹⁾、土屋 陽平¹⁾、廣勢 健二¹⁾、杉山 圭²⁾、渡辺 裕輔²⁾、川邊 学³⁾、高木 洋典⁴⁾、高沢 直人⁴⁾

- 1) 埼玉医科大学国際医療センター ME サービス部、2) 埼玉医科大学国際医療センター 血液浄化部、
3) 埼玉医科大学 保健医療学部、4) 株式会社日立システムズ 研究開発本部 研究開発センタ

- Sakashita Kota¹⁾, Tsukamoto Isao¹⁾, Matsuta Shintarou¹⁾, Tsuchiya Youhei¹⁾, Hirose Kenji¹⁾, Sugiyama Kei²⁾, Watanabe Yusuke²⁾, Kawabe Manabu³⁾, Takagi Hironori⁴⁾, Takazawa Naoto⁴⁾

- 1) Department of Medical engineer, International Medical Center, Saitama Medical University
2) Department of Blood Purification, International Medical Center, Saitama Medical University
3) Faculty and Health & Medical Care, Saitama Medical University
4) Hitachi Systems, Ltd.

O14-3 当院での落差式 CART と KM-CART における有効性、安全性の比較検討

Comparison of effectiveness and safety in general presentation, head type CART and KM-CART

- 兵庫 功太郎(ひょうご こうたろう)

医療法人社団協友会 彩の国東大宮メディカルセンター

- Hyogo Kotaro

Sai-no-Kunito Omiya Medical Center

O14-4 難治性腹水を合併する血液透析患者に対して

腹水濾過濃縮再静注法 (CART) と HD の併用が有効であった 1 例

A hemodialysis patient with refractory ascites treated successfully by cell-free and concentrated ascites reinfusion therapy (CART) in combination with HD: A case report

○神戸 幸司(かんべ こうし)¹⁾、丸岡 由衣¹⁾、細野 ひかる¹⁾、黒川 大樹¹⁾、船橋 嘉夫²⁾、大石 秀人²⁾

1) 小牧市民病院 臨床工学科、2) 小牧市民病院 腎臓内科

○Kambe Koshi¹⁾, Maruoka Yui¹⁾, Hosono Hikaru¹⁾, Kurokawa Daiki¹⁾, Funahashi Yoshio²⁾, Oishi Hideto²⁾

1) Department of Clinical Engineering Komaki City Hospital

2) Department of Nephrology, Komaki City Hospital

O14-5 CART 用装置 (M-CART) によるワンパス濃縮の有効性

Effectiveness of one-pass concentration using CART equipment (M-CART)

○佐藤 翔平(さとう しょうへい)¹⁾、緒方 良輔¹⁾、坂東 直紀¹⁾、小松 崇俊¹⁾、大西 芳明¹⁾、田中 克哉¹⁾、友成 哲²⁾、高山 哲治²⁾、曾我部 正弘²⁾³⁾、岡久 稔也²⁾³⁾

1) 徳島大学病院 診療支援部 臨床工学技術部門、2) 徳島大学病院 消化器内科、

3) 徳島大学大学院医歯薬学研究部 地域総合医療学

○Sato Shohei¹⁾, Ogata Ryosuke¹⁾, Bando Naoki¹⁾, Komatsu Takatoshi¹⁾, Ohnishi Yoshiaki¹⁾, Tanaka Katsuya¹⁾, Tomonari Tetsu²⁾, Takayama Tetsuji²⁾, Sogabe Masahiro²⁾³⁾, Okahisa Toshiya²⁾³⁾

1) Department of Clinical Engineering, Division of Clinical Technology, Tokushima University Hospital,

2) Gastroenterology, Internal medicine, Tokushima University

3) Department of General Medicine and Community Health Science, Institute of Biomedical Sciences, Tokushima University Graduate School

O14-6 マルチリング型ローラーポンプの開発による CART 用装置の小型軽量化と自動処理

Downsizing, lightning of the weight, and automatic processing in CART equipment by the newly developed multi-ring-type roller pump unit

○岡久 稔也(おかひさ としや)¹⁾、曾我部 正弘¹⁾²⁾、高山 哲治²⁾

1) 徳島大学大学院医歯薬学研究部 地域総合医療学、2) 徳島大学病院 消化器内科

○Okahisa Toshiya¹⁾, Sogabe Masahiro¹⁾²⁾, Takayama Tetsuji²⁾

1) Department of General Medicine and Community Health Science, Institute of Biomedical Sciences, Tokushima University Graduate School

2) Gastroenterology, Internal medicine, Tokushima University

一般演題 15 [その他-1]

4月18日回 14:50~15:40 (第4会場)

座長：稲葉 光史(医療法人社団三友会 あけぼの病院 臨床工学科)

小野 裕明(一般社団法人朝倉医師会 朝倉医師会病院)

O15-1 活性炭の尿素、尿酸、クレアチニンの吸着特性

Adsorption characteristics of urea, uric acid and creatinine on activated carbon

○西村 銀馬(にしむら ぎんま)¹⁾、小林 こず恵¹⁾²⁾、小久保 謙一¹⁾²⁾、久保田 勝¹⁾²⁾

1) 北里大学 医療衛生学部 医療工学科 臨床工学専攻、2) 北里大学大学院 医療系研究科

○Nishimura Ginma¹⁾, Kobayashi Kozue¹⁾²⁾, Kokubo Kenichi¹⁾²⁾, Kubota Masaru¹⁾²⁾

1) Kitasato University School of Allied Health Sciences

2) Kitasato University Graduate School of Medical Sciences

O15-2 透析装置の監視機能と安全性に関する検討～メンテナンス記録から考える～

Study on monitoring function and safety of dialysis machine: Think from maintenance records

- 藤槻 綾(ふじつき あや)、伊豆元 勇樹、山岡 遼平、白石 朋香、荒谷 隆徳、瀬尾 知恵美、
林 勇介、豊田 昌充、宮本 照彦、川合 徹

医療法人 中央内科クリニック

- Fujitsuki Aya, Izumoto Yuki, Yamaoka Ryohei, Shiraishi Tomoka, Aratani Takanori, Seo Chiemi,
Hayashi Yusuke, Toyota Masamitsu, Miyamoto Teruhiko, Kawai Toru

Medical Corporation Chuounaika Clinic

O15-3 排液熱回収装置 NDK-SP による年間消費電力削減効果

Annual power reduction effect by waste heat recovery device NDK-SP

- 安藤 隆宏(あんどう たかひろ)¹⁾、柴田 昌典²⁾、河渡 恒延¹⁾、渡邊 達昭¹⁾、多和田 壽枝¹⁾

1) 医療法人光寿会 多和田医院、2) 医療法人光寿会 光寿会リハビリテーション病院

- Ando Takahiro¹⁾, Shibata Masanori²⁾, Godo Tsunenobu¹⁾, Watanabe Tatsuaki¹⁾, Tawada Hisae¹⁾

1) Medical corporation Kojukai Tawada Clinic

2) Medical corporation Kojukai Kojukai Rehabilitation Hospital

O15-4 当院での透析用 RO 装置ヒーター数の調整による電気代削減の取り組み

Efforts to reduce electricity bills by adjusting the number of heaters in the RO unit for hemodialysis at our hospital

- 赤星 知堯(あかほし ちあき)¹⁾、測上 裕斗¹⁾、柿本 苗世¹⁾、中野 友揮¹⁾、時任 義臣¹⁾、
岩本 ひとみ²⁾、大坪 義彦³⁾、古賀 伸彦⁴⁾

1) 社会医療法人天神会 新古賀クリニック 臨床工学課、2) 社会医療法人天神会 新古賀クリニック 法人本部、

3) 社会医療法人天神会 新古賀クリニック 循環器内科、4) 社会医療法人天神会 新古賀病院 循環器内科

- Akahoshi Chiaki¹⁾, Fuchigami Yuuto¹⁾, Kakimoto Mitsuyo¹⁾, Nakano Yuuki¹⁾, Tokitou Yoshiomi¹⁾,
Iwamoto Hitomi²⁾, Ootsubo Yoshihiko³⁾, Koga Nobuhiko⁴⁾

1) Social Medical Corporation Tenjinkai Shinkoga Clinic Clinical Engineer Division

2) Social Medical Corporation Tenjinkai Shinkoga Clinic Head Office

3) Social Medical Corporation Tenjinkai Shinkoga Clinic Cardiology

4) Social Medical Corporation Tenjinkai Shinkoga Hospital Cardiology

O15-5 透析患者監視装置の外装清拭におけるクロスの比較と装置周辺の汚染度調査

Comparison of the types of cloths used to wipe the surfaces of hemodialysis patient monitoring equipment and investigation of contamination around the system

- 田尻 光(たじり ひかる)¹⁾、源 早紀¹⁾、成富 さおり¹⁾、佐野 可奈²⁾、岩本 ひとみ³⁾、古賀 伸彦⁴⁾

1) 社会医療法人天神会 古賀病院 21 臨床工学課、2) 社会医療法人天神会 野伏間クリニック 臨床工学課、

3) 社会医療法人天神会 法人本部、4) 社会医療法人天神会 新古賀病院 循環器内科

- Tajiri Hikaru¹⁾, Minamoto Saki¹⁾, Naritomi Saori¹⁾, Sano Kana²⁾, Iwamoto Hitomi³⁾, Koga Nobuhiko⁴⁾

1) Social medical corporation Tenjinkai Koga Hospital 21

2) Social medical corporation Tenjinkai Nobusuma Clinic

3) Social medical corporation Tenjinkai Headquarters

4) Social medical corporation Tenjinkai Shinnkoga Hospital

座長：五十嵐 洋行 (医療法人社団清永会 天童温泉矢吹クリニック 臨床工学部)
平 ひとみ (特定医療法人あかね会 中島土谷クリニック)

O16-1 透析中腎臓リハビリテーションが運動耐容能、透析効率改善及び末梢循環保持に及ぼす有用性

Beneficial effects of rehabilitation during hemodialysis therapy on exercise tolerance, an improvement of dialysis efficiency and preservation of peripheral circulation

- 見世 健太郎(みせ けんたろう)¹⁾、有田 和子¹⁾、前田 勝利¹⁾、小田 弘明¹⁾、土井 盛博²⁾、正木 崇生²⁾

1)小田内科クリニック、2)広島大学病院 腎臓内科

- Mise Kentaro¹⁾, Arita Kazuko¹⁾, Maeda Katsutoshi¹⁾, Oda Hiroaki¹⁾, Doi Shigehiro²⁾, Masaki Takao²⁾

1) Oda Medical Clinic

2) Hiroshima University Hospital

O16-2 血清アルブミン値を透析患者の生命予後因子とした場合における生存日数と歩数の関係

Relationship between survival days and steps when serum albumin level is used as a prognostic factor for dialysis patients

- 近藤 隆司(こんどう たかし)

日立造船健康保険組合 因島総合病院

- Kondou Takashi

Hitachi Shipbuilding Health Insurance Society Innoshima General Hospital

O16-3 透析患者に対する通所リハビリテーションの役割についての考察状態が改善した一症例を通して

A Study on the Role of Day care with rehabilitation services for Dialysis Patients Through an improved case

- 森永 美加(もりなが みか)¹⁾、田中 秀憲²⁾、佐野 可奈³⁾、古賀 伸彦⁴⁾

1) 社会医療法人天神会 野伏間クリニック 通所リハビリテーション、

2) 社会医療法人天神会 野伏間クリニック 循環器内科、

3) 社会医療法人天神会 野伏間クリニック 臨床工学課、

4) 社会医療法人天神会 新古賀病院 循環器内科

- Morinaga Mika¹⁾, Tanaka Hidenori²⁾, Sano Kana³⁾, Koga Nobuhiko⁴⁾

1) Social Medical Corporation Tenjinkai Nobushuma Clinic Day care with rehabilitation,

2) Social Medical Corporation Tenjinkai Nobushuma Clinic Cardiology,

3) Social Medical Corporation Tenjinkai Nobushuma Clinic Clinical Engineering Division,

4) Social Medical Corporation Tenjinkai Shin-Koga hospital Cardiology

O16-4 新生会第一病院における在宅血液透析離脱症例の検討

Examination of withdrawal cases from home hemodialysis at Shinseikai Dai-ichi Hospital

- 金田一 彰洋(きんだいち あきひろ)¹⁾、鬼頭 伸幸¹⁾、川上 大¹⁾、森實 篤司¹⁾、三輪 八千代²⁾、太田 圭洋³⁾、小川 洋史³⁾

1) 社会医療法人 名古屋記念財団 新生会第一病院 臨床工学部、

2) 社会医療法人 名古屋記念財団 新生会第一病院 在宅透析教育センター、

3) 社会医療法人 名古屋記念財団 新生会第一病院 内科

- Kindaichi Akihiro¹⁾, Kitou Nobuyuki¹⁾, Kawakami Hiroshi¹⁾, Morizane Atsushi¹⁾, Miwa Yachiyo²⁾, Oota Yoshihiro³⁾, Ogawa Hiroshi³⁾

1) Social Medical Corporation Nagoya Memorial Foundation, Shinseikai Dai-ichi Hospital, Faculty of Clinical Engineering

2) Social Medical Corporation Nagoya Memorial Foundation, Shinseikai Dai-ichi Hospital, Home Dialysis Education Center

3) Social Medical Corporation Nagoya Memorial Foundation, Shinseikai Dai-ichi Hospital Internal Medicine

座長：近藤 隆司(日立造船健康保険組合 因島総合病院 臨床工学部門)
岩田 康伸(KKR高松病院 血液浄化センター)

O17-1 ハイブリッド HDF を長期間施行し

溶質除去効率の向上と自覚症状の改善を試みた一症例

A case in which long term hybrid HDF was performed to improve the solute removal efficiency and subjective symptoms

- 内田 賢太(うちだ けんた)¹⁾、宗実 淳志¹⁾、原田 義規¹⁾、三原 和樹¹⁾、真野 純¹⁾、山岡 慎二¹⁾、熊谷 純子²⁾、高橋 直子²⁾

1) 医療法人あかね会 大町土谷クリニック 透析室、2) 医療法人あかね会 大町土谷クリニック 内科

- Uchida Kenta¹⁾, Soumi Junji¹⁾, Harada Yoshiki¹⁾, Mihara Kazuki¹⁾, Mano Jun¹⁾, Yamaoka Sinji¹⁾, Kumagai Junko²⁾, Takahashi Naoko²⁾

1) Medical Corporation Akanekai Omatithuthiyaclinic Dialysis room

2) Medical Corporation Akanekai Omatithuthiyaclinic Internal medicine

O17-2 定圧濾過 Online HDF における濾過圧と物質除去との関連性

～ ABH-22PA での検討～

Relationship between filtration pressure and solute removal in constant-pressure predilution online hemodiafiltration (Study of ABH-22PA)

- 武内 崇(たけうち たかし)、鈴木 尚紀、仲村 悠、延命寺 俊哉、人見 泰正

特定医療法人 桃仁会病院 臨床工学部

- Takeuchi Takashi, Suzuki Naoki, Nakamura Yuu, Enmeiji Toshiya, Hitomi Yasumasa

Specific Medical Corporation Tojinkai Hospital

O17-3 血圧低下症例に対する少量頻回補充型血液透析濾過の臨床効果

Clinical Effects of Low-volume and Frequent Infusion Hemodiafiltration for Patients with Intradialytic Hypotension

- 兜 昭枝(かぶと あきえ)、鈴木 尚紀、仲村 悠、武内 崇、延命寺 俊哉、人見 泰正

特定医療法人 桃仁会病院

- Kabuto Akie, Suzuki Naoki, Nakamura Yuu, Takeuchi Takashi, Enmeiji Toshiya, Hitomi Yasumasa

Specific Medical Corporation Tojinkai Hospital

O17-4 I-HDF 療法における間歇的な逆濾過補充による抗ファウリング効果

Anti fouling effect on intermittent back filtrate Infusion Hemodiafiltration

- 渡辺 誠也(わたなべ まさや)

法政大学大学院 理工学研究科 応用化学専攻

- Watanabe Masaya

Department of Applied Chemistry Graduate School of Science and Engineering Hosei University

O17-5 各種血液浄化療法における体組成成分変化と血圧低下の関係性

The relation between Body composition change and low blood pressure in various blood purification therapies

- 干川 祐樹(ほしかわ ゆうき)¹⁾、大久保 淳¹⁾、岩田 詩紋¹⁾、山内 大輔¹⁾、桜沢 貴俊¹⁾、宮留 優也¹⁾、山本 裕子¹⁾、倉島 直樹¹⁾、内藤 省太郎²⁾

1) 東京医科歯科大学医学部附属病院 ME センター、2) 東京医科歯科大学医学部附属病院 血液浄化療法部

- Hoshikawa Yuki¹⁾, Okubo Atsushi¹⁾, Iwata Shimon¹⁾, Yamauchi Daisuke¹⁾, Sakurasawa Takatoshi¹⁾, Miyadome Yuya¹⁾, Yamamoto Hiroko¹⁾, Kurashima Naoki¹⁾, Naito Syotaro²⁾

1) Tokyo Medical and Dental University Medical Hospital

2) Tokyo Medical and Dental University, Medical Hospital

座長：佐久間 宏治(医療法人社団クレド さとうクリニック)
兼長 貴祐(医療法人社団仁友会 尾道クリニック)

O18-1 カテーテル先端形状の違いによる再循環評価

Recirculation evaluation based on the difference in catheter tip shape

- 佐々木 裕介¹⁾(ささき ゆうすけ¹⁾、金山 由紀¹⁾、間地 築¹⁾、野口 和樹¹⁾、小沢 俊喜¹⁾、
前田 直人¹⁾、森田 高志¹⁾、小川 智也²⁾、持木 彫人¹⁾、長谷川 元²⁾

1) 埼玉医科大学総合医療センター 臨床工学部、2) 埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科 血液浄化センター

- Sasaki Yusuke¹⁾, Kanayama Yuki¹⁾, Machi Kizuku¹⁾, Noguchi Kazuki¹⁾, Ozawa Tosiki¹⁾,
Maeda Naoto¹⁾, Morita Takasi¹⁾, Ogawa Tomonari²⁾, Motiki Erito¹⁾, Hasegawa Hajime²⁾

1) Saitama medical university saitama medical center faculty of clinical engineering

2) Saitama medical university saitama medical center department of nephrology & hypertension blood purification

O18-2 有効長の異なる血液浄化穿刺針の実血流量と回路内圧の検討

Examination of actual blood flow and circuit pressure of blood purification puncture needles with different effective lengths of needle

- 岡部 知徳(おかべ とものり)¹⁾、鏝田 晋治¹⁾、松田 泰佳¹⁾、星野 太郎²⁾、佐藤 順一²⁾、雨宮 守正²⁾

1) 日本赤十字社 さいたま赤十字病院 臨床工学技術課、2) 日本赤十字社 さいたま赤十字病院 腎臓内科

- Okabe Tomonori¹⁾, Yarita Shinji¹⁾, Matsuta Yasuka¹⁾, Hoshino Tarou²⁾, Satou Jyunichi²⁾,
Amemiya Morimasa²⁾

1) Saitama redcross hospital clinical engineer

2) Saitama redcross hospital nephrology

O18-3 超音波検査を用いた透析施行中における VA 血流機能評価の検討

Evaluation of VA blood flow function during dialysis using ultrasound

- 菊地 香奈子(きくち かなこ)¹⁾、川上 崇志¹⁾、吉田 友彦¹⁾、佐藤 貴仁¹⁾、三浦 國男¹⁾、
刈込 秀樹¹⁾、大崎 慎一²⁾、池田 重雄²⁾

1) 医療法人新都市医療研究会「君津」会 玄々堂君津病院 臨床工学科、

2) 医療法人新都市医療研究会「君津」会 玄々堂君津病院 外科

- Kikuti Kanako¹⁾, Kawakami Takasi¹⁾, Yosida Tomohiko¹⁾, Satou Takahito¹⁾, Miura Kunio¹⁾,
Karikomi Hideki¹⁾, Oosaki Sinito²⁾, Ikeda Sigeo²⁾

1) Medical corporation Sintosiiryokenkyuukai Gendokimitu hospital

2) Medical corporation Sintosiiryokenkyuukai Gendokimitu hospital Surgical

O18-4 レーザー血流計を用いた微小循環測定と上腕動脈血流、血管抵抗指数の関係性について

Relationships among microcirculation measurements conducted using a laser blood flow meter, brachial artery blood flow, and vascular resistance index

- 間地 築(まち きすく)¹⁾、佐々木 裕介¹⁾、金山 由紀¹⁾、角頼 祐美¹⁾、池田 敬太¹⁾、徳井 研太¹⁾、
森田 高志¹⁾、小川 智也²⁾、持木 彫人¹⁾、長谷川 元²⁾

1) 埼玉医科大学 総合医療センター 臨床工学部、2) 埼玉医科大学 腎・高血圧内科 血液浄化センター

- Machi Kizuku¹⁾, Sasaki Yuusuke¹⁾, Kanayama Yuki¹⁾, Kakurai Yumi¹⁾, Ikeda Keita¹⁾, Tokui Kenta¹⁾,
Morita Takashi¹⁾, Ogawa Tomonari²⁾, Mochiki Erito¹⁾, Hasegawa Hajime²⁾

1) Saitama medical university saitama medical center faculty of clinical engineering

2) Saitama medical university saitama medical center department of nephrology & hypertension blood purification

座長：安部 貴之(東京女子医科大学 臨床工学部)
新宅 究典(特定医療法人あかね会 土谷総合病院)

O19-1 入職2週間目からのバスキュラーアクセスエコー教育

Starting vascular access ultrasound training on the second week for freshman

○藤田 晃弘(ふじた あきひろ)、真崎 優樹、平山 遼一、花田 真一、下池 英明

医療法人 高橋内科クリニック

○Fujita Akihiro, Masaki Yuuki, Hirayama Ryouiti, Hanada Shiniti, Shimoike Eimei

Medical corporation Takahashi Internal Medicine Clinic

**O19-2 人工血管穿刺におけるエコー下穿刺の有用性
～ブラインド穿刺とエコー下穿刺の比較～**

Usefulness of echo use puncture for graft

○藤田 晃弘(ふじた あきひろ)

医療法人 高橋内科クリニック

○Fujita Akihiro

Medical corporation Takahashi Internal Medicine Clinic

O19-3 バスキュラーアクセスへの穿刺における重篤合併症の考察

Consideration on severe complications of vascular access cannulation

○藤田 晃弘(ふじた あきひろ)、真崎 優樹、平山 遼一、花田 真一、下池 英明

医療法人 高橋内科クリニック

○Fujita Akihiro, Masaki Yuuki, Hirayama Ryouiti, Hanada Shiniti, Shimoike Eimei

Medical corporation Takahashi Internal Medicine Clinic

O19-4 透析室看護師へのエコーガイド下穿刺教育と普及後の問題

Education of echo guided puncture for the nurse in dialysis room and the problems of after the spread

○濱田 あすか(はまた あすか)¹⁾、高橋 和也¹⁾、窪内 翼¹⁾、仙頭 正人¹⁾、大田 和道²⁾

1) 医療法人尚腎会 高知高須病院 臨床工学部、2) 医療法人尚腎会 高知高須病院 泌尿器科

○Hamada Asuka¹⁾, Takahashi Kazuya¹⁾, Kubouchi Tsubasa¹⁾, Sentou Masato¹⁾, Ota Kazumichi²⁾

1) Syoujinkai Medical Corporation Kochi Takasu Hospital Faculty of Clinical Engineering

2) Syoujinkai Medical Corporation Kochi Takasu Hospital Urology

O19-5 エコーガイド下穿刺教育の現状と課題

Echo-guided puncture education of current status and issues

○二上 章隆(ふたがみ あきたか)

医療法人あかね会 阿品土谷病院 透析室

○Futagami Akitaka

Medical corporation Akanekai Ajinatsuchiya Hospital

座長：関根 広介(亀田総合病院)

栗原 大典(地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立広島市民病院)

O20-1 牛血液実験系を用いた脱血特性推定式の算出ならびに臨床例への適用**In Vitro and In Vivo Evaluation of Blood Removal Characteristics of Dialysis Circuit**○小野 淳一(おの じゅんいち)¹⁾²⁾、白髪 裕二郎²⁾、小笠原 康夫¹⁾

1)川崎医療福祉大学 医療技術学部 臨床工学科、2)川崎医科大学附属病院 ME センター

○Ono Junichi¹⁾²⁾, Shiraga Yujiro²⁾, Ogasawara Yasuo¹⁾

1) Department of Medical Engineering, Kawasaki University of Medical Welfare

2) Medical Engineering Center, Kawasaki Medical School Hospital

O20-2 尿酸による体液量推測計算とバイオインピーダンス法との比較検討**Comparison of estimation of body fluid volume with uric acid and bioimpedance method**○山田 竜平(やまだ りょうへい)¹⁾、谷江 駿矢¹⁾、渡邊 瑤子¹⁾、齋藤 結花¹⁾、金子 沙織¹⁾、
布施 将太郎¹⁾、皆川 優¹⁾、笹川 繁¹⁾、中野 達也¹⁾、伊藤 孝仁²⁾

1)医療法人悠生会 片桐記念クリニック 透析室、2)医療法人悠生会 片桐記念クリニック 内科

○Yamada Ryouhei¹⁾, Tanie Shunya¹⁾, Watanabe Youko¹⁾, Saitou Yuka¹⁾, Kaneko Saori¹⁾,
Fuse Shoutarou¹⁾, Minagawa Yuu¹⁾, Sasagawa Shigeru¹⁾, Nakano Tatuya¹⁾, Ito Takahito²⁾

1) Katagiri Commemorative clinic Dialysis room

2) Katagiri Commemorative clinic Internal medicine

O20-3 DCS-100NX を用いた実血流量のモニタリング**Monitoring of actual blood flow using DCS-100NX**○岡村 直哉(おかむら なおや)¹⁾、平松 篤¹⁾、福田 幸大¹⁾、西村 将幸¹⁾、杉山 淳一¹⁾、市川 博章¹⁾、
佐々木 万祐²⁾、杉原 英男²⁾、佐藤 晴男²⁾、森實 篤司³⁾

1)社会医療法人 名古屋記念財団 東海クリニック 臨床工学科、

2)社会医療法人 名古屋記念財団 東海クリニック 内科、

3)社会医療法人 名古屋記念財団 新生会第一病院 臨床工学科

○Okamura Naoya¹⁾, Hiramatsu Atsushi¹⁾, Fukuda Koudai¹⁾, Nishimura Masayuki¹⁾, Sugiyama Junichi¹⁾,
Ichikawa Hiroaki¹⁾, Sasaki Mayu²⁾, Sugihara Hideo²⁾, Satou Haruo²⁾, Morizane Atsushi³⁾

1) Social medial corporation Nagoya memorial foundation Tokai clinic department of Clinical Engineering

2) Social medial corporation Nagoya memorial foundation Tokai clinic internal medicine

3) Social medial corporation Nagoya memorial foundation Shinseikai Daiichi Hospital department of Clinical Engineering

O20-4 日機装社製 DCS-100NX 体重変化における PRR 値の評価**Nikkiso Co., Ltd. DCS-100NX****Evaluation of PRR in body weight changes**○西村 将幸(にしむら まさゆき)¹⁾、加藤 一将¹⁾、平松 篤¹⁾、福田 幸大¹⁾、岡村 直哉¹⁾、杉山 淳一¹⁾、
市川 博章¹⁾、佐々木 万祐²⁾、佐藤 晴男²⁾、森實 篤司³⁾

1)社会医療法人 名古屋記念財団 東海クリニック 臨床工学科、

2)社会医療法人 名古屋記念財団 東海クリニック 内科、

3)社会医療法人 名古屋記念財団 新生会第一病院 臨床工学科

○Nishimura Masayuki¹⁾, Katou Kazumasa¹⁾, Hiramatsu Atsushi¹⁾, Fukuda Koudai¹⁾, Okamura Naoya¹⁾,
Sugiyama Junichi¹⁾, Itikawa Hiroaki¹⁾, Sasaki Mayu²⁾, Satou Haruo²⁾, Morizane Atsushi³⁾

1) Social Medical Corporation Nagoya Memorial Foundation Tokai Clinic, Clinical Engineering Department

2) Tokai Clinic Internal medicine

3) Shinseikaidaiiiti Hospital Clinical Engineering Department

O20-5 日機装社製血液量モニター BVplus の Δ BV と Ht の性能評価

Evaluation of Δ BV and Ht performance of Nikkiso blood volume monitor BVplus

- 服部 良多(はっとり りょうた)¹⁾、橋本 裕一¹⁾、蟹江 あずさ¹⁾、磯谷 香織¹⁾、杉本 拓弥¹⁾、
田中 裕樹¹⁾、白橋 揚子¹⁾、市川 博章²⁾、森實 篤司³⁾、長屋 敬⁴⁾

1) 医療法人新生会 十全クリニック 臨床工学部、2) 社会医療法人 名古屋記念財団 東海クリニック 臨床工学部、
3) 社会医療法人 名古屋記念財団 新生会第一病院 臨床工学部、4) 医療法人新生会 十全クリニック 内科

- Hattori Ryota¹⁾, Hashimoto Yuichi¹⁾, Kanie Azusa¹⁾, Isogai Kaori¹⁾, Sugimoto Takuya¹⁾,
Tanaka Yuki¹⁾, Shirahashi Yoko¹⁾, Ichikawa Hiroaki²⁾, Morizane Atsushi³⁾, Nagaya Takashi⁴⁾

1) Medical Corporation Shinseikai Juzen Clinic Faculty of Clinical Engineering
2) Social Medical Corporation Nagoya Memorial Foundation Tokai Clinic, Clinical Engineering Department
3) Social Medical Corporation Nagoya Memorial Foundation, Shinseikai Daiichi Hospital, Department of Clinical Engineering
4) Medical Corporation Shinseikai Juzen Clinic Internal Medicine

O20-6 日機装社製血液モニター「BVPlus・BV計」の有用性について

Usefulness of Nikkiso's blood monitor "BVPlus / BV meter"

- 岡田 瑠依(おかだ るい)、日向 一仁、名古屋 龍司、南 嘉継、伊達 敏行
医療法人社団腎愛会 だてクリニック

- Okada Rui, Himukai Kazuto, Nagoya Ryuuji, Minami Yoshitugu, Date Toshiyuki
Medical corporation Jinaikai Date clinic

一般演題21 [モニタリング-2]

4月18日回 10:50~11:50 (第7会場)

座長：岡本 裕美(東邦大学医療センター大橋病院 臨床工学部)

木船 和弥(特定医療法人松圓会 東葛クリニック病院 臨床工学部)

O21-1 InBodyS10 (BIA 法) を用いて迅速かつ安全に体液過剰状態を改善できた1症例

A case that was able to quickly and safely improve body fluid excess using
InBodyS10 (BIA method)

- 岡澤 圭祐(おかざわ けいすけ)¹⁾、若山 功治⁵⁾、塚田 三佐緒²⁾、石森 勇¹⁾、村上 淳¹⁾、花房 規男²⁾、
峰島 三千男³⁾、新田 孝作⁴⁾、土谷 健²⁾

1) 東京女子医科大学 臨床工学部、2) 東京女子医科大学 血液浄化療法科、3) 東京女子医科大学 臨床工学科、
4) 東京女子医科大学 第四内科、5) わかやま透析クリニック中野南台

- Okazawa Keisuke¹⁾, Wakayama Koji⁵⁾, Tukada Misao²⁾, Ishimori Isamu¹⁾, Murakami Jun¹⁾,
Hanafusa Norio²⁾, Mineshima Michio³⁾, Nitta Kousaku⁴⁾, Tsuchiya Ken²⁾

1) Tokyo Women's Medical University, Faculty of Clinical Engineering
2) Tokyo Women's Medical University, Department of Blood Purification Therapy
3) Tokyo Women's Medical University, Department of Clinical Engineering
4) Tokyo Women's Medical University, Fourth Internal Medicine
5) Wakayama Dialysis Clinic Nakano Minamidai

O21-2 透析モニター HD02 を用いた心機能スクリーニングの検討

Examination of cardiac function screening using dialysis monitor HD02

- 澤井 利昌(さわい としあき)¹⁾、浅井 寿教¹⁾、八木 一郎¹⁾、近藤 祐利¹⁾、南 陽介¹⁾、野村 優作¹⁾、
横山 逸男¹⁾、森實 篤司²⁾

1) 社会医療法人 名古屋記念財団 鳴海クリニック、2) 社会医療法人 名古屋記念財団 新生会第一病院

- Sawai Toshiaki¹⁾, Asai Toshinori¹⁾, Yagi Ichirou¹⁾, Kondou Yuuki¹⁾, Minami Yousuke¹⁾,
Nomura Yuusaku¹⁾, Yokoyama Itsuo¹⁾, Morizane Atsushi²⁾

1) Social Medical Corporation Nagoya Memorial Foundation, Narumi Clinic
2) Social Medical Corporation Nagoya Memorial Foundation, Shinseikai Daiichi Hospital

O21-3 フクダ電子社製ソムノタッチを用いた非侵襲的連続血圧モニタリングの検討

Study of noninvasive continuous blood pressure monitoring using FUKUDA DENSHI's Somnotouch

○大子 飛鳥(おおこ あすか)¹⁾、川上 崇志¹⁾、刈込 秀樹¹⁾、三浦 國男¹⁾、大崎 慎一²⁾、池田 重雄²⁾

- 1) 医療法人新都市医療研究会「君津」会 玄々堂君津病院 臨床工学科、
- 2) 医療法人新都市医療研究会「君津」会 玄々堂君津病院 外科

○Ogo Asuka¹⁾, Kawakami Takasi¹⁾, Karikomi Hideki¹⁾, Miura Kunio¹⁾, Osaki Siniti²⁾, Ikeda Sigeo²⁾

- 1) Gengendo kimitu hospital
- 2) Gengendo kimitu hospital

O21-4 透析量モニタにおける初期吸光度と血中尿素窒素・尿酸との関係について

Relationship between initial absorbance and blood urea nitrogen and uric acid in dialysis volume monitor

○前田 純(まえだ じゅん)¹⁾、新田 華代¹⁾、岩瀬 太一²⁾、堀田 修平²⁾、井芹 慎二³⁾、浅井 一晃⁴⁾、柴田 昌典⁴⁾

- 1) 一宮市立市民病院、2) 医療法人光寿会 光寿会春日病院、3) 医療法人光寿会 坂下クリニック、
- 4) 医療法人光寿会 光寿会リハビリテーション病院

○Maeda Jun¹⁾, Arata Hanayo¹⁾, Iwase Taichi²⁾, Hotta Syuhei²⁾, Iseri Shinji³⁾, Asai Kazuaki⁴⁾, Shibata Masanori⁴⁾

- 1) Ichinomiya municipal hospital
- 2) Medical corporation Koujyukai koujyukai Kasugai Hospital
- 3) Medical corporation koujyukai Sakashita Clinic
- 4) Medical corporation koujyukai koujyukai Rehabilitation Hospital

O21-5 前希釈オンライン HDF における透析量モニタ DDM の測定精度に関する検討

Examination the accuracy of Dialysis Dose Monitor (DDM) in pre-dilution online hemodiafiltration

○中井 歩(なかい あゆむ)¹⁾、丸山 航平¹⁾、御厨 翔太¹⁾、富樫 紀季¹⁾、市川 公夫¹⁾、神山 貴弘²⁾、鈴木 淳司²⁾、吉本 宏²⁾、高澤 賢次¹⁾³⁾

- 1) 独立行政法人地域医療機能推進機構 東京山手メディカルセンター 臨床工学科、
- 2) 独立行政法人地域医療機能推進機構 東京山手メディカルセンター 腎臓内科、
- 3) 独立行政法人地域医療機能推進機構 東京山手メディカルセンター 心臓血管外科

○Nakai Ayumu¹⁾, Maruyama Kohei¹⁾, Mikuriya Shota¹⁾, Togashi Kazuki¹⁾, Ichikawa Kimio¹⁾, Kamiyama Takahiro²⁾, Suzuki Atsushi²⁾, Yoshimoto Hiroshi²⁾, Takazawa Kenji¹⁾³⁾

- 1) Division of Clinical Engineering, Japan Community Healthcare Organization Tokyo Yamate Medical Center
- 2) Division of Nephrology, Japan Community Healthcare Organization Tokyo Yamate Medical Center
- 3) Division of Cardiovascular surgery, Japan Community Healthcare Organization Tokyo Yamate Medical Center

O21-6 透析除水量および生体電気インピーダンス測定機器種が測定結果に及ぼす影響

Influence of dialysis water removal and bioelectrical impedance measurement device types on measurement results

○江間 信吾(えま しんご)¹⁾²⁾、長末 鉄平²⁾、鈴木 勘太²⁾、木村 竜希²⁾、田仲 飛鳥²⁾、加茂 裕美¹⁾²⁾、水口 智明²⁾、長谷川 俊彦²⁾、加藤 明彦¹⁾

- 1) 浜松医科大学附属病院 血液浄化療法部、2) 浜松医科大学附属病院 医療機器管理部

○Ema Shingo¹⁾²⁾, Nagasue Teppei²⁾, Suzuki Kanta²⁾, Kimura Ryuuki²⁾, Tanaka Asuka²⁾, Kamo Hiromi¹⁾²⁾, Mizuguchi Toshiaki²⁾, Hasegawa Toshihiko²⁾, Katou Akihiko¹⁾

- 1) Blood Purification Unit, Hamamatu University School of Medicine Hospital
- 2) Medical Device Management Department, Hamamatsu University of Medicine Hospital

座長：加藤 泰之 (医療法人沖縄徳洲会 鎌ヶ谷総合病院)

上野 幸司 (医療法人社団医弘会 かわしま内科クリニック)

O22-1 酸系洗浄剤の中和に必要なアルカリ量の検討

Examination the necessity of alkali for neutralization of acid detergent

○ 児玉 健一郎 (こだま けんいちろう)

医療法人宝生会 PL 病院

○ Kodama Kenichiro

Medical corporation Hoshokai PL Hospital

O22-2 理論値透析液 Ca 濃度 2.625mEq/L 液による Ca マスバランス

Theoretical value Dialysate Ca concentration 2.625mEq/L solution Ca mass balance

○ 長谷川 寛政 (はせがわ ひろまさ)、伊達 敏行、南 嘉継

医療法人社団腎愛会 だてクリニック

○ Hasegawa Hiromasa, Date Tosiya, Minami Yositeru

Medical corporation Jinaikai Date clinic

O22-3 バイオフィームに対する過酢酸系除菌洗浄剤ステラケアの洗浄効果

Detergency effect of Stella Care on Biofilm

○ 山田 一貴 (やまだ かずき)¹⁾、久保田 明洋¹⁾、五条 敏和¹⁾、天野 裕之²⁾、天野 滋²⁾

1) 医療法人社団天成会 天野医院 臨床工学課、2) 医療法人社団天成会 天野医院 泌尿器科

○ Yamada Kazuki¹⁾, Kubota Akihiro¹⁾, Gojo Toshikazu¹⁾, Amano Hiroyuki²⁾, Amano Shigeru²⁾

1) Amano Clinic Clinical Engineer division

2) Amano Clinic Urology department

O22-4 除錆機能付加型炭酸カルシウム溶解剤サンフリー SN の使用経験とその評価

The usage experience and quality evaluation of calcium carbonate solubilizer SanfreeSN added rust removal function

○ 中原 秀之 (なかはら ひでゆき)¹⁾、石田 拓弥¹⁾、近藤 祐利¹⁾、西村 将幸¹⁾、小熊 博康¹⁾、
飯田 喜康²⁾、森實 篤司³⁾

1) 社会医療法人名古屋記念財団 平針記念クリニック 臨床工学部、

2) 社会医療法人名古屋記念財団 平針記念クリニック 内科、

3) 社会医療法人名古屋記念財団 新生会第一病院 臨床工学部

○ Nakahara Hideyuki¹⁾, Ishida Takuya¹⁾, Kondo Yuki¹⁾, Nishimura Masayuki¹⁾, Oguma Hiroyasu¹⁾,
Iida Yoshiyasu²⁾, Morizane Atsushi³⁾

1) Social medical corporation Nagoyakinen foundation Hirabarikinen clinic

2) Social medical corporation Nagoyakinen foundation Hirabarikinen clinic internal department

3) Social medical corporation Nagoyakinen foundation Shinseikai First hospital

O22-5 透析液濃度のエラー検知システムの構築

Built the error detection system for dialysate concentration

○ 山田 祐史 (やまだ ゆうし)

東京女子医科大学 臨床工学部

○ Yamada Yushi

Tokyo women medical university

O22-6 据付後4年間経過した透析用水供給配管内部の評価

Evaluation of the piping used for hemodialysis water supply 4 years after replacement of the water treatment equipment

○岩田 詩紋(いわた しもん)¹⁾、大久保 淳¹⁾、桜沢 貴俊¹⁾、板垣 紋子¹⁾、山本 裕子¹⁾、岡戸 丈和²⁾

1) 東京医科歯科大学医学部附属病院 ME センター、2) 東京医科歯科大学医学部附属病院 血液浄化療法部

○Iwata Shimon¹⁾, Ohkubo Atsushi¹⁾, Sakurasawa Takatoshi¹⁾, Itagaki Ayako¹⁾, Yamamoto Hiroko¹⁾, Okado Tomokazu²⁾

1) Medical Engineering Center, Medical Hospital of Tokyo Medical and Dental University

2) Hemopurification center, Medical Hospital of Tokyo Medical and Dental University

一般演題23 [その他-2]

4月18日(日) 15:10~15:50 (第7会場)

座長: 栗原 佳孝(橋本クリニック/北里大学大学院)

伊豆元 勇樹(医療法人 中央内科クリニック)

O23-1 アフェレーシス療法に対する透析業務支援システム『STEP II』の使用経験

Experience of using STEP II, a dialysis business support system for apheresis therapy

○石川 正敏(いしかわ まさとし)¹⁾、石田 大賀¹⁾、新 典雄¹⁾、加藤 政雄¹⁾、長谷川 みどり²⁾、坪井 直毅²⁾、湯澤 由紀夫²⁾

1) 藤田医科大学病院 血液浄化センター、2) 藤田医科大学病院 腎臓内科

○Ishikawa Masatoshi¹⁾, Ishida Taiga¹⁾, Nii Norio¹⁾, Katou Masao¹⁾, Hasegawa Midori²⁾, Tuboi Naotake²⁾, Yuzawa Yukio²⁾

1) Fujita health university hospital blood purification center

2) Fujita health university hospital Kidney medicine

O23-2 遠赤外線治療器フィラピー®の使用経験

Experience using far infrared therapy device Philapy®

○迫野 豊(さこの ゆたか)¹⁾、内 久敏¹⁾、山本 康平¹⁾、兼長 貴祐¹⁾、村上 健太¹⁾、細谷 唯¹⁾、宮迫 保江¹⁾、下岡 和貴¹⁾、吉田 美奈子²⁾、久傳 康史²⁾

1) 医療法人社団 仁友会 尾道クリニック 臨床工学部、2) 医療法人社団 仁友会 尾道クリニック 内科

○Sakono Yutaka¹⁾, Uti Hisatoshi¹⁾, Yamamoto Kouhei¹⁾, Kanenaga Takahiro¹⁾, Murakami Kennta¹⁾, Hosoya Yuui¹⁾, Miyasako Yasue¹⁾, Sitaoka Kazutaka¹⁾, Yosida Minako²⁾, Kyuudenn Yasuhumi²⁾

1) Medical Corporation Jinyuukai Onomichi Clinic Faculty of Clinical Engineering

2) Medical Corporation Jinyuukai Onomichi Clinic Internal Medicine

O23-3 尿素の吸熱反応を利用した針穿刺痛軽減用局所冷却パッドの試作と評価

Regional cooling pad with endothermic reaction of urea to decrease pain for the needle insertion

○苗村 潔(なえむら きよし)、秋本 和哉、市川 陽南子、田中 秀憲、横田 萌

東京工科大学 医療保健学部 臨床工学科

○Naemura Kiyoshi, Akimoto Kazuya, Ichikawa Hinako, Tanaka Hidenori, Yokota Moe

Tokyo University of Technology

O23-4 データベースソフトを用いた穿刺振り返りアプリの作成とUX評価

Creating a Puncture Reflection App with Database Software and UX Evaluation

○佐藤 諒(さとう りょう)¹⁾、一噌 登史紀¹⁾、佐藤 憲¹⁾、服部 圭介¹⁾、田中 和彦¹⁾、須田 雅一²⁾

1) 医療法人健正会 須田医院 臨床工学課、2) 医療法人健正会 須田医院 内科

○Sato Ryo¹⁾, Issu Toshiki¹⁾, Sato Ken¹⁾, Hattori Keisuke¹⁾, Tanaka Kazuhiko¹⁾, Suda Masakazu²⁾

1) Medical Corporation Kenseikai Suda Medical Clinic Department of Clinical Engineering

2) Medical Corporation Kenseikai Suda Medical Clinic Department of Internal Medicine

座長：橋口 誠一(国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院 臨床工学科)
白石 理(医療法人 住友別子病院 診療部 臨床工学室)

O24-1 当院における透析排水管理の現状

Current situation of dialysis drainage management in our hospital

- 竹内 貴大(たけうち たかひろ)、栗原 大典、竹内 修三
地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立広島市民病院 CE センター
- Takeuchi Takahiro, Kurihara Daisuke, Takeuchi Shuzo
Hiroshima City Hiroshima Citizens Hospital CE Center

O24-2 開院後4年間にわたる除錆過酢酸系洗浄剤キノーサン PA-remo 及び塩素系洗浄剤ダイラケミ L-100X の使用経験

Experience of using the derusting peracetic acid cleaning agent, Kinosan PA-remo, and the chlorine cleaning agent, Daila-chemi L-100X, over the 4-year period since the inauguration of our clinic

- 戸塚 浩平(とつか こうへい)¹⁾、島口 豊¹⁾、金子 和史³⁾、鈴木 隆司³⁾、黒澤 範夫⁴⁾、岸 雄一郎²⁾
1) 医療法人さくら 鶴瀬腎クリニック 血液浄化部、2) 医療法人さくら 鶴瀬腎クリニック 腎臓内科、
3) 医療法人さくら さくら記念病院 血液浄化部、4) 医療法人さくら さくら記念病院 腎臓内科
- Totsuka Kouhei¹⁾, Shimaguti Yutaka¹⁾, Kaneko Kazusi³⁾, Suzuki Takasi³⁾, Kurosawa Norio⁴⁾, Kisi Yuuitirou²⁾
1) Medical Corporation Sakura Tsuruse zin clinic
2) Medical Corporation Sakura tsurusezinnkurinikku zinnzounaika
3) Medical Corporation Sakura sakurakinennbyouinn ketsuekizyoukabu
4) Medical Corporation Sakura sakurakinennbyouinn zinnzounaika

O24-3 透析用水・透析液の残留塩素偽高値を経験して

Experience of false high of residual chlorine in dialysis water and dialysate

- 高橋 佳奈(たかはし かな)¹⁾、杉村 文¹⁾、磯崎 利恵¹⁾、新谷 真史¹⁾、石川 浩太¹⁾、坂上 奈美子¹⁾、松本 恵子¹⁾、福岡 和秀¹⁾、石津 勉²⁾
1) 三豊総合病院 臨床工学科、2) 三豊総合病院 内科
- Takahashi Kana¹⁾, Sugimura Aya¹⁾, Isozaki Rie¹⁾, Niiya Masafumi¹⁾, Ishikawa Kouta¹⁾, Sakagami Namiko¹⁾, Matumoto Keiko¹⁾, Fukuoka Kazuhide¹⁾, Ishizu Tutomu²⁾
1) Mitoyo general hospital department of clinical engineering
2) Mitoyo general hospital department of internal medicine

O24-4 排水基準の適応を目的とした防錆型次亜活性水の使用経験

Use experience of Rust prevention type Activated hypoxia for the purpose of the adaptation of the waste water standard

- 南 伸治(みなみ しんじ)、上田 尚志、川村 侑嘉、白日 香織、長谷川 廣文
医療法人社団日翔会 生野愛和透析クリニック 臨床工学部
- Minami Shinji, Ueda Takashi, Kawamura Yuka, Shirakusa Kaori, Hasegawa Hirofumi
Ikuno-Aiwa Hospital, Hemodialysis Center

O24-5 ポータブル水質計による透析排水中和処理装置の検証

Verification of dialysis wastewater neutralization treatment equipment by portable PH meter

- 中村 慶史(なかむら けいし)、加藤 将司、吉谷 和剛、石塚 麻帆、末松 良太、和佐 めぐみ、岩崎 徹、中西 裕治
医療法人社団慧誠会 岩崎内科クリニック
- Nakamura Keishi, Kato Masashi, Yoshitani Kazutaka, Ishizuka Maho, Suematu Ryota, Wasa Megumi, Iwasaki Tooru, Nakanishi Yuuzi
Iwasakinaika Clinic

O24-6 透析排水の pH モニタリング調査

Dialysis drainage pH monitoring survey

- 人見 友啓(ひとみ ともひろ)、水戸 陸人、鈴木 翔太、鈴木 一裕
医療法人援腎会 すずきクリニック
- Hitomi Tomohiro, Mito Rikuto, Suzuki Shota, Suzuki Kazuhiro
ENJINKAI SUZUKI CLINIC

英語演題 1

4月17日 11:10~11:50 (第8会場)

座長：前田 兼徳(医療法人社団兼愛会 前田医院)
松原 弘和(医療法人 田中泌尿器科医院)

OE1-1 金属腐食ポンプ部品と液停止時間が透析液ラインの清浄度にあたる影響

Effect of the metal corrosion in pump parts and the stop time of flow on the cleanliness of dialysate lines

- 中村 実(なかむら みのる)¹⁾³⁾、横田 伸一³⁾、木村 主幸⁴⁾、岡山 雅哉¹⁾、小林 陽介¹⁾、
柴田 晴昭¹⁾、萩原 誠也²⁾、名和 伴恭²⁾
1) 医療法人 萬田記念病院 診療部 ME、2) 医療法人 萬田記念病院 腎臓内科、
3) 札幌医科大学医学部 微生物学講座、4) 北海道科学大学 大学院医療工学専攻
- Nakamura Minoru¹⁾³⁾, Yokota Shin-ichi³⁾, Kimura Kazuyuki⁴⁾, Okayama Masaya¹⁾,
Kobayashi Yosuke¹⁾, Shibata Haruaki¹⁾, Seiya Hagiwara²⁾, Nawa Tomoyasu²⁾
1) Departments of ME, Manda Memorial Hospital
2) Nephrology
3) Department of Microbiology, Sapporo Medical University School of Medicine
4) Graduate School of Health Sciences, Hokkaido University of Science

OE1-2 生物発光式エンドトキシン計の検体注入におけるシリンジ注入とピペット注入の比較試験

Comparative study on syringe and pipette sample injections using Bioluminescence Endotoxin Analyzer

- 品川 隼一郎(しながわ しゅんいちろう)¹⁾、成富 さおり¹⁾、大西 貴康¹⁾、源 早紀¹⁾、松田 康平¹⁾、
高橋 建佑¹⁾、佐野 可奈²⁾、岩本 ひとみ³⁾、古賀 伸彦⁴⁾
1) 社会医療法人天神会 古賀病院 21、2) 社会医療法人天神会 野伏間クリニック、3) 社会医療法人天神会 法人本部、
4) 社会医療法人天神会 新古賀病院
- Shinagawa Shunichirou¹⁾, Naritomi Saori¹⁾, Ohnishi Takayasu¹⁾, Minamoto Saki¹⁾, Matsuda Kouhei¹⁾,
Takahashi Kensuke¹⁾, Sano Kana²⁾, Iwamoto Hitomi³⁾, Koga Nobuhiko⁴⁾
1) Social Medical Corporation Tenjinkai koga Hospital 21
2) Social Medical Corporation Tenjinkai Nobusuma Clinic
3) Social Medical Corporation Tenjinkai Houjinhonbu
4) Social Medical Corporation Tenjinkai Shinkoga Hospital

OE1-3 長期透析患者に On-line HDF+ リクセル併用を施行した 1 症例

A long-term hemodialysis patient treated by on-line hemodiafiltration (HDF) + Lixelle: A case report

- 加藤 亜輝良(かとう あきら)¹⁾、浦辺 俊一郎¹⁾、深澤 桃子¹⁾、松沢 翔平¹⁾、栗井 阿佐美¹⁾、
兵藤 透¹⁾、北村 真²⁾、飛田 美穂²⁾、倉田 康久²⁾、小久保 謙一³⁾
1) 医療法人財団倉田会 えいじんクリニック、2) 医療法人財団倉田会 くらた病院、3) 北里大学 医療衛生学部
- Kato Akira¹⁾, Urabe Shunichiro¹⁾, Fukazawa Momoko¹⁾, Matsuzawa Shohei¹⁾, Kurii Asami¹⁾,
Hyodo Toru¹⁾, Kitamura Makoto²⁾, Hida Miho²⁾, Kurata Yasuhisa²⁾, Kokubo Kenichi³⁾
1) Eijin Clinic
2) Kurata Hospital
3) Kitasato University School of Allied Health Sciences

OE1-4 低心機能維持透析患者における I-HDF の効果

Outcomes of Intermittent Infusion Hemodiafiltration in Patients With Cardiac Hypofunction on Maintenance Hemodialysis

○齋藤 慎(さいとう まこと)¹⁾、神宮 宏臣¹⁾、大山 裕亮²⁾、田中 俊之²⁾、塩野 昭彦²⁾

1) 公立富岡総合病院 臨床工学科、2) 公立富岡総合病院 泌尿器科

○Saito Makoto¹⁾, Jingu Hiroomi¹⁾, Oyama Yusuke²⁾, Tanaka Toshiyuki²⁾, Shiono Akihiko²⁾

1) Public Tomioka General Hospital Departments of Clinical Engineering

2) Public Tomioka General Hospital Departments of Urology

英語演題2

4月17日(日) 13:20～14:10 (第8会場)

座長：張 同輝(医療法人やまびこ会 福岡東ほばしらクリニック)

浦辺 俊一郎(医療法人財団倉田会 えいじんクリニック)

OE2-1 シャントマッサージによる PTA 間隔についての検討

Study of PTA interval by shunt massage

○荒谷 隆徳(あらたに たかのり)、伊豆元 勇樹、山岡 遼平、藤槻 綾、白石 朋香、瀬尾 知恵美、林 勇介、豊田 昌充、宮本 照彦、川合 徹

医療法人 中央内科クリニック

○Aratani Takanori, Izumoto Yuki, Yamaoka Ryohei, Fujitsuki Aya, Shiraiishi Tomoka, Seo Chiemi, Hayashi Yusuke, Toyota Masamitsu, Miyamoto Teruhiko, Kawai Toru

Medical Corporation Chuounaika Clinic

OE2-2 繰り返し発生する表在化動脈穿刺部の瘤に対する対応とその後

Management of the patient who suffered from superficialized access artery pseudoaneurysm

○瀧澤 亜由美(たきざわ あゆみ)¹⁾、鈴木 雄太¹⁾、安部 貴之¹⁾、石森 勇¹⁾、村上 淳¹⁾、花房 規男²⁾、峰島 三千男¹⁾、土谷 健²⁾、新田 孝作³⁾

1) 東京女子医科大学 臨床工学部、2) 東京女子医科大学 血液浄化療法科、3) 東京女子医科大学 第四内科

○Takizawa Ayumi¹⁾, Suzuki Yuta¹⁾, Abe Takayuki¹⁾, Ishimori Isamu¹⁾, Murakami Jun¹⁾, Hanafusa Norio²⁾, Mineshima Michio¹⁾, Tuchiya Ken²⁾, Nitta Kousaku³⁾

1) Department of Clinical Engineering, Tokyo Women's Medical University

2) Department of Blood Purification, Tokyo Women's Medical University

3) Fourth Department of Internal Medicine, Tokyo Women's Medical University

OE2-3 バスキュラアクセス留置用カテーテルの先端構造における生体模擬回路を用いた血液流量と再循環率の基礎検討

Basic study of blood flow and recirculation rates at the end of an indwelling vascular access catheter using a vessel model

○佐藤 幸博(さとう ゆきひろ)¹⁾、柳澤 克哉¹⁾、栗原 佳孝²⁾、小林 こず恵²⁾、小久保 謙一²⁾

1) IMS グループ 板橋中央総合病院、2) 北里大学 医療衛生学部

○Sato Yukihiko¹⁾, Yanagisawa Katsuya¹⁾, Kurihara Yoshitaka²⁾, Kobayashi Kozue²⁾, Kokubo Kenichi²⁾

1) Itabashi Chuo Medical Center

2) Kitasato University School of Allied Health Sciences

**OE2-4 初心者を対象としたエコーの流量測定評価
—FUJIFILM FC1-X(自動)と Hitachi-Aloka Medical α7(手動)の比較—
Flow measurement evaluation by ultrasonic diagnostic equipment for beginners
— Comparison of FUJIFILM FC1-X (automatic) and Hitachi-Aloka Medical α7 (manual)—**

○安部 貴之(あべ たかゆき)¹⁾、鈴木 雄太¹⁾、石森 勇¹⁾、村上 淳¹⁾、花房 規男²⁾、峰島 三千男¹⁾、
新田 孝作³⁾、土谷 健²⁾

1) 東京女子医科大学 臨床工学部、2) 東京女子医科大学 血液浄化療法科、3) 東京女子医科大学 腎臓内科

○Abe Takayuki¹⁾, Suzuki Yuta¹⁾, Ishimori Isamu¹⁾, Murakami Jun¹⁾, Hanafusa Norio²⁾,
Mineshima Michio¹⁾, Nitta Kosaku³⁾, Tuchiya Ken²⁾

1) Department of Clinical Engineering, Tokyo Women's Medical University

2) Department of Blood Purification, Kidney Center, Tokyo Women's Medical University

3) Department of Medicine, Kidney Center, Tokyo Women's Medical University

**OE2-5 当院におけるエコー下穿刺時のプローブ清浄度の検証
Testing of probe cleanliness when performing echo-guided cannulation at our hospital**

○西久保 祐次(にしくぼ ゆうじ)¹⁾²⁾、上村 祐輝²⁾、保坂 理恵³⁾、佐藤 茂²⁾、中島 正一²⁾、
松井 礼⁴⁾、東 治道⁵⁾

1) 社会医療法人 雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンター 臨床工学室、

2) 社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 臨床工学室、

3) 社会医療法人 雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンター 透析室、

4) 社会医療法人 雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンター 透析内科、

5) 社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 腎臓内科

○Nishikubo Yuji¹⁾²⁾, Uemura Yuki²⁾, Hosaka Rie³⁾, Satou Shigeru²⁾, Nakashima Masakazu²⁾,
Matsui Rei⁴⁾, Higashi Harumichi⁵⁾

1) Department of Clinical Engineering, St. Mary's Healthcare Center

2) Department of Clinical Engineering, St. Mary's Hospital

3) Dialysis Unit, St. Mary's Healthcare Center

4) Department of Dialysis, St. Mary's Healthcare Center

5) Department of Nephrology, St. Mary's Hospital

英語演題3

4月18日回 8:30~9:20 (第8会場)

座長：長沼 俊秀(大阪市立大学医学部 泌尿器科)

齋藤 慎(公立富岡総合病院 臨床工学科)

**OE3-1 NV ポリマーを用いた急性血液浄化用のヘモフィルタ(SNV)の
溶質除去性能と血球付着評価**

**Evaluation of solute removal performance and blood cell adhesion of hemofilter (SNV) using
NV polymer for continuous renal replacement therapy**

○栗原 佳孝(くりはら よしたか)、植木 駿一、小林 こず恵、小久保 謙一、小林 弘祐、久保田 勝
北里大学大学院 医療系研究科

○Kurihara Yoshitaka, Ueki Shunichi, Kobayashi Kozue, Kokubo Kenichi, Kobayashi Hirotsuke,
Kubota Masaru

Kitasato University Graduate School of Medical Sciences

OE3-2 透析液に付加した一酸化窒素による血液透析膜の表面の抗血栓性の改善

**Both suppression of blood coagulation on the surface of a dialysis membrane using a nitric
oxide-containing dialysate**

○小林 こず恵(こばやし こずえ)¹⁾²⁾、佐藤 真帆¹⁾、吉田 裕平²⁾、小久保 謙一¹⁾²⁾、久保田 勝¹⁾²⁾

1) 北里大学 医療衛生学部 医療工学科 臨床工学専攻、2) 北里大学大学院 医療系研究科

○Kobayashi Kozue¹⁾²⁾, Sato Maho¹⁾, Yoshida Yuhei²⁾, Kokubo Kenichi¹⁾²⁾, Kubota Masaru¹⁾²⁾

1) Kitasato University School of Allied Health Sciences

2) Kitasato University Graduate School of Medical Sciences

OE3-3 大膜面積ヘモダイアフィルタの大量前置換 Online HDF における有効性の検討

Evaluation of the effectiveness of hemodiafilters with large membrane area in high volume pre-dilution on-line HDF

- 浦辺 俊一郎(うらべ しゅんいちろう)¹⁾、松沢 翔平¹⁾、加藤 亜輝良¹⁾、深澤 桃子¹⁾、加藤 基子¹⁾、
檜山 英巳¹⁾、栗井 阿佐美¹⁾、兵藤 透¹⁾、倉田 康久²⁾、小久保 謙一³⁾

1) 医療法人財団倉田会 えいじんクリニック、2) 医療法人財団倉田会 くらた病院、3) 北里大学 医療衛生学部

- Urabe Shunichiro¹⁾, Shohei Matsuzawa¹⁾, Kato Akira¹⁾, Fukazawa Momoko¹⁾, Kato Motoko¹⁾,
Hiyama Emi¹⁾, Kurii Asami¹⁾, Hyodo Toru¹⁾, Kurata Yasuhisa²⁾, Kokubo Kenichi³⁾

1) Eijin Clinic

2) Kurata Hospital

3) Kitasato University School of Allied Health Sciences

OE3-4 単純血漿交換施行時の新鮮凍結血漿使用量の違いによる非溶血性副作用の発生頻度

The relationship between the incidence of adverse events and amount of fresh frozen plasma as replacement fluid during plasma exchange

- 桜沢 貴俊(さくらさわ たかとし)¹⁾、大久保 淳¹⁾、岩田 詩紋¹⁾、板垣 紋子¹⁾、山本 裕子¹⁾、
岡戸 丈和²⁾

1) 東京医科歯科大学医学部附属病院 ME センター、2) 東京医科歯科大学医学部附属病院 血液浄化療法部

- Sakurasawa Takatoshi¹⁾, Ohkubo Atsushi¹⁾, Iwata Shimon¹⁾, Itagaki Ayako¹⁾, Yamamoto Hiroko¹⁾,
Okado Tomokazu²⁾

1) Medical Engineering Center, Medical Hospital of Tokyo Medical and Dental University

2) Hemopurification Center, Medical Hospital of Tokyo Medical and Dental University

OE3-5 血液凝固因子の補充を必要としない血漿交換療法の有害事象

Adverse events in plasma exchange therapy that do not require blood coagulation factor replacement : A case series

- 今田 寛人(いまだ ひろひと)、山本 麻菜、小松 千里、奥田 真吾、松島 安幸、隅田 昌之
広島赤十字・原爆病院 臨床工学課

- Imada Hirohito, Yamamoto Asana, Komatsu Chisato, Okuda Shingo, Matsushima Yasuyuki,
Sumida Masayuki

Clinical Engineering department, Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic-bomb Survivors Hospital

英語演題4

4月18日回 10:10～10:50 (第8会場)

座長：テレシア マリア トジ ピオ(特定医療法人あかね会 中島土谷クリニック)
徳田 勝哉(医療法人 原三信病院)

OE4-1 高齢の血液透析患者に対する運動療法が身体機能と外来通院能力に与える効果： ランダム化比較試験

Effects of intradialytic exercise for elderly patients: a randomized controlled trial

- 矢部 広樹(やべ ひろき)¹⁾、河野 健一²⁾、石川 友美子³⁾、山口 慶子³⁾、畦倉 久紀³⁾

1) 聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 理学療法学科、

2) 国際医療福祉大学成田保健医療学部理学療法学科、3) さなるサンクリニック

- Yabe Hiroki¹⁾, Kono Kenichi²⁾, Ishikawa Yumiko³⁾, Yamaguchi Yoshiko³⁾, Azekura Hisanori³⁾

1) Department of physical therapy, School of Rehabilitation Sciences, Seirei Christopher University

2) Department of physical therapy, International university of health and welfare at narita

3) Sanaru Sun Clinick

OE4-2 血液透析患者の透析中の自律神経活動変化とうつ状態の関連

Relationship between changes in autonomic nervous activity during dialysis and depression in dialysis patients

○黒田 沙織(くろだ さおり)、良知 弘務、野口 緑、瓜田 倫子、戸川 証、榛葉 俊一

社会福祉法人恩賜財団 静岡済生会総合病院

○Kuroda Saori, Rachi Hiromu, Noguchi Midori, Urita Noriko, Togawa Akashi, Shinba Toshikazu

Shizuoka Saiseikai General Hospital

OE4-3 ミャンマーにて長期使用したエンドトキシン補足フィルタの エンドトキシンチャレンジテストによる性能評価

Evaluation performance of Endotoxin Retentive Filters for a long time period tested by endotoxin challenge test in Myanmar

○佐藤 幸博(さとう ゆきひろ)¹⁾、Kaung Myat Mg M²⁾、Min Thi Khant²⁾、Soe Wint Mon²⁾、
Myo Min Oo²⁾、Pyae Phyoo Kyaw²⁾、鬼頭 尚也²⁾、浦辺 俊一郎³⁾、小林 こず恵³⁾、
小久保 謙一³⁾

1) IMS グループ 板橋中央総合病院、2) ミャンマーユタニ、3) 北里大学 医療衛生学部

○Sato Yukihiro¹⁾、Kaung Myat Mg Mg²⁾、Min Thi Khant²⁾、Soe Wint Mon²⁾、Myo Min Oo²⁾、
Pyae Phyoo Kyaw²⁾、Kito Naoya²⁾、Urabe Shunichiro³⁾、Kobayashi Kozue³⁾、Kokubo Kenichi³⁾

1) Itabashi Chuo Medical Center

2) Myanmar Yutani Co., Ltd.

3) Kitasato University School of Allied Health Sciences

OE4-4 ミャンマーにおける透析技術の海外活動に参加した経験

Experience in participating in overseas activities for dialysis technology in Myanmar

○星子 清貴(ほしこ きよたか)¹⁾、ピオ テレシア マリア トジ²⁾、川西 秀樹³⁾

1) 特定医療法人あかね会 土谷総合病院 診療技術部、2) 特定医療法人あかね会 中島土谷クリニック 看護部、
3) 特定医療法人あかね会 土谷総合病院 人工臓器部

○Hoshiko Kiyotaka¹⁾、Pio Theresia Maria Toji²⁾、Kawanishi Hideki³⁾

1) Tsuchiya General Hospital Clinical Engineering Division, 2) Nakajima Tsuchiya Hemodialysis Center nursing department,

3) Tsuchiya General Hospital Artificial Organs & Surgery

英語演題5

4月18日回 13:30~14:10 (第8会場)

座長: 小久保 謙一(北里大学 医療衛生学部)

栗原 佳孝(橋本クリニック/北里大学大学院)

OE5-1 循環血液量変化に対するカーブフィッティングによる血液透析症例の検討

Evaluation of hemodialysis patients using curve fitting for change in blood volume during hemodialysis

○田中 智之(たなか ともゆき)¹⁾、川久保 芳文¹⁾、重松 武史²⁾、山本 英則³⁾、西村 治彦⁴⁾

1) 大阪滋慶学園、2) 宮本クリニック 臨床工学科、3) おおうみクリニック、4) 兵庫県立大学 応用情報科学研究科

○Tanaka Tomoyuki¹⁾、Kawakubo Yoshifumi¹⁾、Shigematsu Takeshi²⁾、Yamamoto Hideronori³⁾、
Nishimura Haruhiko⁴⁾

1) Osaka Jikei College

2) Department of Clinical Engineering, Miyamoto Clinic

3) Oumi Clinic

4) Graduate School of Applied Informatics, University of Hyogo

OE5-2 JMS 社製レーザー血流計「ポケットLDF」使用時に用いる保護フィルムの検討
Study of protective film by using lower limb blood flow monitor “POCKET LDF” (JMS Co.,Ltd.)

○林 勇介(はやし ゆうすけ)、伊豆元 勇樹、山岡 遼平、藤槻 綾、白石 朋香、荒谷 隆徳、
瀬尾 知恵美、豊田 昌充、宮本 照彦、川合 徹
医療法人 中央内科クリニック

○Hayashi Yusuke, Izumoto Yuki, Yamaoka Ryohei, Fujitsuki Aya, Shiraishi Tomoka,
Aratani Takanori, Seo Chiemi, Toyota Masamitsu, Miyamoto Teruhiko, Kawai Toru
Medical Corporation Chuounaika Clinic

OE5-3 透析室で quick SOFA を使用した報告
Report using quick SOFA in dialysis room

○徳田 勝哉(とくだ かつや)
医療法人 原三信病院 看護部

○Tokuda Katsuya
Harasanshin Hospital

OE5-4 PD から PD・HD 併用療法への変更による体重管理、 β 2MG レベルおよび貧血の改善
Improvement of weight management, β 2MG level and anemia by changing from PD to PD・
HD hybrid therapy

○深澤 加奈子(ふかさわ かなこ)¹⁾、深澤 瑞也²⁾
1) 山梨大学医学部附属病院 ME センター、2) 山梨大学医学部附属病院 泌尿器科

○Fukasawa Kanako¹⁾, Fukasawa Mizuya²⁾
1) University Of Yamanashi Hospital MEcenter
2) University Of Yamanashi Hospital, Urology

A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for writing or drawing.

抄 録

大会長招聘講演

特別講演

特別企画

教育講演

大会長特別企画

広島酒造り

山岡 洋(やまおか ひろし)
賀茂鶴酒造株式会社

日本酒造りは先人たちの知恵が集積したものです。先人たちにとって発酵はまさに神がかりの現象でしたが、巧みに微生物をコントロールする低温殺菌(火入れ)や微生物汚染防止を防ぐための三段仕込みなど今の科学でも納得できる手法を確立していました。

【日本酒業界と輸出の現状】

日本酒業界は、酒類の多様化、人口減少、若者の酒離れなど多くの要因で最盛期の出荷数量の約1/4となるなど、需要の右肩下がりに歯止めがかからない厳しい状況にあります。

一方、日本酒の輸出は、数量、金額ともに毎年着実に増加してきていますが、出荷量全体の5%程度に過ぎず業界の苦境を救うまでには至っていません。

【広島酒造り】

かつて広島県は兵庫県、京都府に次ぐ生産量でした。今でも東広島市にある西条は7つの酒蔵がごく狭い範囲に集まっている全国でも稀有な場所です。ここでは日本最大の日本酒の祭り“西条酒まつり”が毎年開催され、2日間で全国から24万人もの人が集まります。

また広島県が“吟醸酒”発祥の地でもあります。これは先人たちの酒造技術の確立と人材の育成があったからです。これを成し遂げたのは現在の吟醸造りの基礎を築き広島杜氏を育成した三浦仙三郎、吟醸用に高度の精米を可能とした精米機を開発した佐竹利市、その技術を県内に普及させた橋爪陽などの先人たちです。

【酒造りの人材育成】

かつては杜氏集団が全国各地に存在し、その中で人材育成が行われていました。しかし、杜氏集団は一部を除いて崩壊の危機にあります。今では社員杜氏もしくはオーナー自身が杜氏となっている蔵が多数あります。

酒造りは感性の世界でもあり、杜氏になるには知識、経験、統率力だけでなく“感性”も重要な資質です。画一的な酒を造るのであればマニュアルで対応できますが、それ以上の思いを込めた品質にしようとするならば感性が必要になります。酒造りは麹菌や酵母などの微生物を使いこなすことであり、杜氏にはその微生物たちの声なき声を感じる事が求められます。

【酒造りの衛生管理】

酒造りには多くの格言が残されています。その中の一つに“掃除に始まり掃除に終わる”というのがあります。つまり、昔からいわゆる5Sを徹底してきた世界です。ただ、食品工場での昨年6月からのHACCPの義務化に対しては、これまでの管理に加えてそれらを厳格に記録することが求められています。

抄 録

シンポジウム

日本・台湾合同企画

パネルディスカッション

ワークショップ

委員会企画

ベーシックセミナー

企業コラボセッション

SY1-1

VAIVT 分野における
医療スタッフの役割

○廣谷 紗千子(ひろたに さちこ)
医療法人社団 蒼紫会 森下記念病院

【はじめに】当院では2018年4月から臨床工学技士(ME)、看護師(Nrs)、医師(Dr)による VA チームを編成し、初診再診外来、透析室、血管造影室、手術室での VA 管理業務を実践している。今回は VAIVT 分野における ME の役割について検討したのでこれを報告する。

【方法】初診再診外来患者および当院維持透析患者の VA スクリーニングエコー検査は、Dr 同席のもと ME が施行し、VAIVT 必要性の検討および治療対象部位の確認を Dr とともに行う。VAIVT の際には ME が直接介助役、及び術中エコーのプロープ保持役を務める。

【結果】外来診察での VAIVT 必要性判断の時点から ME が診断の場に参加することにより、各症例の問題点、今後の観察ポイント等の把握ができた。VAIVT の際には直接介助役として使用物品の準備(シース・ガイドワイヤー・カテ通水などの前処置、造影剤ラインの接続と繋ぎ変え、エア抜き、インデフレーターへの造影剤充填など)を担当することで、臨床工学技師として習熟している機器操作手技を一手に担当し、効率の良い安全な治療を進めることができた。術中エコーの際には日頃からトレーニングをおこなっている「エコー画面の的確な描出」の技術が順調な操作の進行と良好な治療結果に貢献できた。

【考察】機器の取り扱いに習熟している ME が VAIVT に参加することにより、Dr は治療法のストラテジー構築とカテ操作に集中することができ、安全確実な治療を進めることができている。ME およびディカルスタッフが VAIVT に参加するにあたって慎重にすべきことは、現行で制定されている法律や規定を順守すること、そして新しい医療に対する正しい知識と技術を習得することである。一方積極的に推進すべきは、他職種との連携であろう。他職種から与えられた情報に対して ME はそれを自己の参考とし、さらに ME として特性ある知識と発想を加えた考察をも他職種と共有することによって、理想的なチーム医療が行えるものである。

SY1-2

ダブルライセンスにおける
VAIVT 関連業務

○原 正彦(はら まさひこ)、沼岡 興治、宮島 さや子、
向山 佳宏、蒲谷 堯
南千住病院 VA センター

近年、透析患者の高齢化、糖尿病性腎症や長期透析患者の増加に伴い、バスキュラーアクセス(VA)トラブルが問題視されている。自己血管に乏しく、新たに良好な VA 作製、維持、管理することが容易ではないことから、現存の VA 温存は極めて重要である。そのため、VA トラブルの早期発見、早期治療による VA 閉塞の防止に心がけておくことが主流となっている。この環境を支えているのが、今では、VA 管理である。

私自身、今から11~12年前に所属していた施設にて、当時 Dr から VA エコーを導入することを求められ、ダブルライセンスであった事も相まって、すぐにエコー下 Vascular Access Interventional Therapy (VAIVT) に従事したのが始まりである。

VAIVT へ従事したことから、VAIVT 前の術前評価を超音波で施行する事で、以前は、血管造影による狭窄径を主としたサイズ評価から、非侵襲的な超音波診断へと移り変わり、詳細な定量的、形態、質の評価が可能になった。VAIVT でも Dr への情報提供と手技業務を共有することで、デバイス選択、アプローチ部位の決定にも役割を果たしている。

しかし、すべて VA エコーで網羅することは困難な場合があるため、バックアップとして、血管造影による透視は確保しておくべきであることなどからも多職種による連携は重要である。

ダブルライセンスかつ専門性の認定などスキルが向上することは、VA への見える化が浸透し、Dr からの信頼も増すことで、VAIVT 業務へ貢献できていると考える。

臨床工学技士(CE)としても、Dr からの指示の基に生命維持管理、保守を業とし、機器に対する深い知識と病態の理解を有していることで、チーム医療へ貢献をしている。また、Dr による侵襲的治療の介助に特化できるのは CE の強みであることから、積極的に VAIVT 業務などに参加することで、更なるスキルアップと共にチーム医療へ貢献を目指したいと考える。

A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for writing or drawing.

日本血液浄化技術学会雑誌
第29巻 Supplement, 2021

2021年3月18日発行

発行人：一般社団法人 日本血液浄化技術学会
山家 敏彦

編集：第47回日本血液浄化技術学会学術大会・総会
大会長 宮本 照彦

制作：第47回日本血液浄化技術学会学術大会・総会
大会事務局

印刷・製本：株式会社セカンド <https://secand.jp/>
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>